

第七十五回帝國議會
衆議院

所得稅法改正法律案外三十件委員會議錄(速記)第五回

付託議案

所得稅法改正法律案(政府提出)(第七號)
法人稅法案(政府提出)(第八號)
特別法人稅法案(政府提出)(第九號)
配當利子特別稅法案(政府提出)(第一〇號)
外貨債特別稅法中改正法律案(政府提出)(第一號)
相續稅法中改正法律案(政府提出)(第二號)
建築稅法案(政府提出)(第三號)
礦區稅法案(政府提出)(第四號)
臨時利得稅法中改正法律案(政府提出)(第一五號)
營業稅法案(政府提出)(第一六號)
地租法中改正法律案(政府提出)(第一七號)
酒稅法案(政府提出)(第一八號)
清涼飲料稅法中改正法律案(政府提出)(第一九號)
砂糖消費稅法中改正法律案(政府提出)(第二〇號)
砂糖消費稅法中改正法律案(政府提出)(第二一號)
揮發油稅法中改正法律案(政府提出)(第二二號)
物品稅法案(政府提出)(第二三號)
遊興飲食稅法案(政府提出)(第二四號)
取引所稅法中改正法律案(政府提出)(第二五號)
通行稅法案(政府提出)(第二六號)
入場稅法案(政府提出)(第二七號)
印紙稅法中改正法律案(政府提出)(第二八號)
骨牌稅法中改正法律案(政府提出)(第二九號)
狩獵法中改正法律案(政府提出)(第三〇號)
明治四十四年法律第四十五號中改正法律案(砂糖消費稅物消費稅等ノ徵收ニ關スル件)(政府提出)(第三一號)
大正九年法律第五十一號中改正法律案(內地臺灣又ハ樺太ヨリ朝鮮ニ移出スル物品ノ內國稅免除ニ關スル件)(政府提出)(第三二號)
支那事變特別稅法及臨時租稅增徴法廢止法律案(政府提出)(第三三號)
營業收益稅法廢止法律案(政府提出)(第三四號)
資本利子稅法廢止法律案(政府提出)(第三五號)
法人資本稅法廢止法律案(政府提出)(第三六號)
臨時租稅措置法中改正法律案(政府提出)(第三七號)
地方稅法案(政府提出)(第四七號)
地方分與稅法案(政府提出)(第四八號)
府縣制中改正法律案(政府提出)(第四九號)
市制中改正法律案(政府提出)(第五〇號)
町村制中改正法律案(政府提出)(第五一號)
北海道會法中改正法律案(政府提出)(第五二號)
北海道地方費法中改正法律案(政府提出)(第五三號)
地方分與稅分與金特別會計法案(政府提出)(第五四號)

會議

昭和十五年二月十九日(月曜日)午後一時四十五分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 堀切善兵衛君

理事小山倉之助君 理事濱野徹太郎君

理事木村 淺七君 理事高橋熊次郎君

理事小笠原三九郎君 理事立川 平君

理事河野 密君

長野 高一君 山本 条吉君

成島 勇君 池本甚四郎君

中島彌國次君 中村三之丞君

內藤 正剛君 長野 長廣君

愛野時一郎君 川崎 克君

津倉 龜作君 渡邊玉三郎君

櫻井兵五郎君 澤田 利吉君

伊藤 五郎君 宮本雄一郎君

船田 中君 池田七郎兵衛君

上田 孝吉君 山川賴三郎君

豐田 收君 森 肇君

森田 福市君 板谷 順助君

西川 貞一君 瀧澤 七郎君

小見山七十五郎君 鈴木 英雄君

田万 清臣君 松永 義雄君

佐竹 晴記君 石坂 繁君

道家齊一郎君 青木 作雄君

藤本 捨助君 北 勝太郎君

武田德三郎君

二月十七日委員石井德久次君辭任ニ付其ノ補闕トシテ宮本雄一郎君ヲ議長ニ於テ選定セリ

二月十七日

政府出資特別會計法案(政府提出)、地方稅法案(政府提出)、地方分與稅法案(政府提出)、府縣制中改正法律案(政府提出)

出、市制中改正法律案(政府提出)、町村制中改正法律案(政府提出)、北海道會法中改正法律案(政府提出)及北海道地方費法中改正法律案(政府提出)ノ審査ヲ本委員ニ付託セラレタリ

出席國務大臣左ノ如シ

大藏大臣 櫻内 幸雄君

內務大臣 兒玉 秀雄君

出席政府委員左ノ如シ

內務省地方局長 挾間 茂君

內務書記官 三好 重夫君

大藏政務次官 木村 正義君

大藏參與官 松田 正一君

大藏省主稅局長 大矢半次郎君

大藏書記官 田中 豐君

大藏書記官 山田 義見君

大藏書記官 池田 勇人君

營繕會計局理事 松隈 秀雄君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

所得稅法改正法律案(政府提出)

法人稅法案(政府提出)

特別法人稅法案(政府提出)

配當利子特別稅法案(政府提出)

外貨債特別稅法中改正法律案(政府提出)

相續稅法中改正法律案(政府提出)

建築稅法案(政府提出)

鑛區稅法案(政府提出)

臨時利得稅法中改正法律案(政府提出)

營業稅法案(政府提出)

地租法中改正法律案(政府提出)

酒稅法案(政府提出)

清涼飲料稅法中改正法律案(政府提出)

砂糖消費稅法中改正法律案(政府提出)

織物消費稅法中改正法律案(政府提出)

揮發油稅法中改正法律案(政府提出)

物品稅法案(政府提出)

遊興飲食稅法案(政府提出)

取引所稅法中改正法律案(政府提出)

通行稅法案(政府提出)

入場稅法案(政府提出)

印紙稅法中改正法律案(政府提出)

骨牌稅法中改正法律案(政府提出)

狩獵法中改正法律案(政府提出)

明治四十四年法律第四十五號中改正法律案(砂糖消費稅織物消費稅等ノ徵收ニ關スル件)(政府提出)

大正九年法律第五十一號中改正法律案(內地臺灣又ハ樺太ヨリ朝鮮ニ移出スル物品ノ內國稅免除ニ關スル件)(政府提出)

支那事變特別稅法及臨時租稅增徴法廢止法律案(政府提出)

營業收益稅法廢止法律案(政府提出)

資本利子稅法廢止法律案(政府提出)

法人資本稅法廢止法律案(政府提出)

臨時租稅措置法中改正法律案(政府提出)

地方稅法案(政府提出)

地方分與稅法案(政府提出)

府縣制中改正法律案(政府提出)

市制中改正法律案(政府提出)

町村制中改正法律案(政府提出)

北海道會法中改正法律案(政府提出)

北海道地方費法中改正法律案(政府提出)

地方分與稅分與金特別會計法案(政府提出)

堀切委員長 ソレデハ是カラ開會致シマス、先ヅ櫻内大藏大臣ヨリ御説明ヲ願ヒマス、

櫻内國務大臣 當委員會ニ御付託ニ相成リマシタ地方分與稅分與金特別會計法案提出ノ理由ハ本會議ニ於テモ申上ゲマシタ通

リデアリマシテ、地方分與稅法ニ依リ地方團體ニ分與致シマスル地方分與稅ノ分與金ハ、各年度間ヲ調整シテ分與スルコトト相成ツテ居リマスル所、是ガ爲ニハ地方分與稅分與金ニ關スル歳入歳出ヲ一般會計ト區分シテ經理スルノヲ適當ト認メマシテ、特別會計設置ニ關スル本法律案ヲ提出致シマシタ次第デアリマス、何卒御審議ノ上御協賛アラシコトヲ願ヒマス

堀切委員長 間モナク內務大臣ガ御出ニナリ、ヤハリ地方稅提案ノ理由ヲ御説明ニナル答デアリマスガ、其ノ内、森君、大藏大臣ニ對シテ御始メニナツテ居ツテハ如何デス、サウシテ內務大臣ガ御見エニナツタナラバ説明ヲ聽クコトニ致シマス

森委員 大藏大臣ニ一寸伺ツテ見タイノデアリマスガ、前回ノ時ニ中村君ノ質問ニ對シテ御答ニナリマシタ、中村君ノ御問ニナツタコトニ對シテ、ヨリ以上ノ御答ヲ御與ヘニナツタト私見テ居リマスガ、其ノ御演說ノ中ニ、二回マデ昭和十五年度ノ豫算ハ極メテ必要ノモノダケヲ計上シテアルノデアルト云フコトヲ大層御力説ニナツテ、ソレデ此ノ案ヲ提出シタノダト云フコトヲ御話ニナツテ居ルノデアリマス、他ノ一方ニ至ツテハ、但シ實行上何等カ節約シ得ベキモノガアルナラバ、其ノ節約ヲヤラウト思フ、繰延ベ得ベキモノガアルナラバ繰延ベテ行カウト、斯ウ云フ御話ガアツテ居ルヤウデアリマス、言葉ハ違フカモ知レマセヌガ、サウ云フ意味ヲ御述ニナツテ居リマス、一寸言葉尻ヲ捉ヘルヤウデスガ、此處ニ付テノ大臣ノ御意向ヲ伺ヒタイト思フノデス、昭和十五年度ノ豫算ハ前內閣ニ於テ之ヲ編成サレテ、現內閣成立日淺クシテ之

ニ手ヲ著クル追ガナカッタ、ソレデ十分目
ガ通サレテ居ナイカラ、實行ニ當ツテ必要
ナ仕事ハシヨウト斯ウ仰シヤルノガ本意デ
アルノカ、或ハ此ノ豫算ハ洵ニ立派ナ豫算
デ、良ク出來テ居ル、總デニ於テ實行ガ出
來ルガ、信念ヲ茲ニ出シタト仰シヤル方ニ
重キヲ置イテ御説明ヲ伺ツタ方ガ宜シイノ
カ、此ノ點ヲ伺ツテ置キマス

○櫻内國務大臣 今回前内閣ニ於テ編成致
シマシタ豫算ヲ踏襲致シマシタノハ、大體
ニ於テ此ノ豫算ガ適當ニ編成サレタト考ヘ
マシテ踏襲致シタ譯デアリマス、即チ言葉
ヲ換ヘテ言ヘバ、緊急已ムヲ得ズシテ計上
サレタモノトシテ承認ヲ致シタ譯デアリマ
ス、勿論若シ相當ノ期間ガアリマスレバ、
之ニ再檢討ヲ加ヘ、十分ナル調査ヲ致シマ
シテ提出致スベキ筈デアリマスケレドモ、
何分ニモ其ノ餘白ガアリマセヌノデ、大體
ヲ調ベテ、大體ハ緊急已ムヲ得ザルモノ
デアルト認メテ、之ヲ引繼イデ提案ヲ致シ
タ譯デアリマス、併シ其ノ實行ニ當リマシ
テハ出來ルダケ節約シ、繰延ト云フ事柄ニ
付キマシテハ、經濟界ノ實情ガ若シモ許ス
ヤウナ事態ガ參リマシタナラバ、ソレハ繰
延モ或ハ必要カト思ヒマスガ、現在ニ於キ
マシテハ出來ルダケ節約ヲ致シマシテ、慎
重ニ豫算ノ實行ガ出來マスヤウニ致シタイ、
斯様ニ考ヘテ居ルデアリマス、殊ニ基準
單價ニ付キマシテモ、比較的安イ單價ガ見
積ツテアルノデアリマシテ、此ノ儘實行
ヲ致スニ付キマシテモ相當苦心ヲ致サナケ
レバ其ノ實行ガ難カシイノデアリマシテ、
出來ル限リ節約ヲシテ豫算ノ實行ヲ致シタ
イ、同時ニ節約ハ出來ルダケ多ク節約ヲシ
テ參リタイ、斯様ナ精神ヲ持ツテ居ルノデ

アリマス
○森委員 前回ノ御答モ其ノ通りデアツタ
ノデアリマス、ソレデ理窟トシテ申述ブレ
バ、現在ノ昭和十五年度ノ豫算ニ對シテハ、
十分ノ信念ヲ御持ニナツテ居ナイノダ、一
應見テ宜カラウト思ツテ出スニハ出シタケ
レドモ、實行ノ途上ニ於テハ相當之ニ手ヲ
加ヘル覺悟ガアル、斯ウ云フ決意ヲ御持チ
ニナツテ居ルヤウニ伺ツタ方ガ正シクハナ
イカト思フノデアリマスガ、何レデアリマ
スカ
○櫻内國務大臣 此ノ豫算ヲ通シテ、之ヲ
實行ガ出來ヌモノトハ考ヘテ居リマセヌ、
ドウシテモ實行シナケレバナラス、若シモ
御協賛ヲ願フコトガ出來レバ實行シナケレ
バナラヌト思ツテ居リマス、併シ御承知ノ
通り、非常ニ大キナ豫算デアリマスシ、又
此ノ歳出豫算ヲ使ヒマス結果トシテ、經濟
界ニ及ボス所ノ影響ト云フコトモアリ、旁
致シマスノデ、此ノ豫算ヲ實行致シマスニ
當リマシテハ、十分ナル注意ヲシテ、物價
騰貴ヲ起サナイヤウニ、又經濟界ニ影響ヲ
及ボサナイヤウニ、同時ニ物トモ見合ツテ、
サウシテ出來ル限リ一般ノ財界ニ影響ヲ及
ボサナイヤウニ此ノ豫算ヲ實行シテ行クト
云フコトガ大切ナ事柄デアルト思ツテ居リ
マス

政府ハ曩ニ我國現在ノ財政經濟ノ狀態ニ即
應スル稅制ヲ確立整備スル爲、中央地方ヲ通ズ
ル稅制ノ一般ノ改正ヲ行フコトヲ致シマシテ、
昨春來稅制調査會ヲ開イテ慎重審議ヲ重ネ、
改正案ノ大綱ヲ決定致シタノデアリマス、
此ノ中、地方稅制ノ改正ニ付キマシテハ、
其ノ目標ヲ、主トシテ地方稅負擔ノ均衡
ヲ圖ルコト及ビ地方團體財政ノ基礎ノ確立
ヲ期スルコト、並ニ稅制ノ簡易化ヲ圖ルコ
トノ三點ニ置キマシタ、而シテ此ノ目的ヲ
達成スル爲ニハ、地方稅制ノ根幹ニ於テ、
地方ノ獨立財源ヲ物稅本位ニスルコト及ビ
地方稅制ニ分與稅制度ヲ創設スルコトノ必
要ヲ認メ、之ヲ中心トシテ銳意攻究ノ上、茲
ニ是等諸法案ヲ提案致シタ次第デアリマス、
而シテ今回ノ改正ニ依ル地方稅體系ハ、之ヲ
直接課徵ニ依ル地方稅體系ト、間接課徵ニ
依ルモノトニ區分シテ御説明申上ゲルノガ、事
ノ明確ヲ期スル上ニ於テ適當カト存ジマス

先ツ地方團體ノ直接課徵スル獨立稅及ビ
附加稅制度ノ改正ニ付テ申上ゲマス、第
一ハ、收益稅タル地租、家屋稅及ビ營業
稅ノ制度ノ改正デアリマシテ、此ノ三稅
ハ舉ゲテ道府縣及ビ市町村ノ獨立財源ト
致シタノデアリマス、即チ地方團體財政ノ
基礎ヲ強化スルト共ニ、地方施設トノ關聯
性ヲ考慮シ、且ツ出來得ル限リ國ノ財源ト
地方ノ財源トノ區分ヲ明確ニスルコトヲ期
シマシテ、所得稅ヲ以テ中央財源ノ中心ト
スル半面ニ於テ、收益稅ヲ以テ地方財源ノ
中軸トスルコトヲ根本ノ建前ト致シマシ
タ、而シテ三收益稅ノ負擔ノ程度ハ、地
租ハ總テ有租地ニ對シ土地賃賃價格ヲ
標準トシテ百分ノ八程度ノ課稅ヲ目途ト
シ、家屋稅ハ家屋賃賃價格ヲ標準トシテ

百分ノ七程度ノ課稅ヲ目途トシ、營業稅
ハ現行ノ營業收益稅及ビ地方營業稅ヲ改廢
シテ、純益四百圓程度ヲ超ユル總テノ營
業ニ對シテ、營業ノ純益ヲ標準トシテ百
分ノ六程度ヲ課稅スルコトヲ致シマシ
タ、而シテ其ノ課徵形態ハ、負擔ノ公
平ヲ期スルガ爲ニ、分與稅及ビ附加稅ノ兩
者ヲ併用トスルコトヲ致シマシタ、即チ各
稅ノ四分ノ一ハ國稅ノ形式ヲ以テ課徵シ、
之ヲ其ノ儘道府縣ニ還元のニ分與シ、之ニ
對シ道府縣ハ國稅ト同額、市町村ハ國稅ノ
倍額ノ標準率ヲ目途トシテ附加稅ヲ課スル
コトヲ致シタノデアリマス、而シテ此ノ賦
課率ニ付テハ、將來地方團體財政上ノ彈力性
ヲ保持スル爲ニ、相當程度ノ伸縮性ヲ認メ
ルコトヲ致シマシタ、尤モ家屋稅ニ付テハ、
國ニ於テ家屋賃賃價格ノ調査ヲ致シマス關
係上、昭和十七年度ヨリ國稅ニ移スコトト
シ、ソレマデハ現行通り府縣稅ノ儘デ、適
當ノ措置ヲ講ジテ負擔ノ均衡ヲ圖ルコトト
致シマシタ、尙ホ營業稅ニ付テハ、社會政策
的見地ニ於テ純益四百圓未滿ノ營業ニ對シ
テ賦課スル現行地方營業稅ハ之ヲ廢止スル
コトトシ、又地租ニ付テハ、從前ノ如ク、
賃賃價格二百圓未滿ノ自作農地ニ對シ、自
作農保護ノ見地ヨリ國稅分ヲ免除シ、附加
稅ノ賦課ダケヲ認メルコトヲ致シタノデア
リマス

○堀切委員長 ソレデハ此ノ程度デ森君ニ
御待チヲ願ヒマシテ、内務大臣カラ地方稅
改正案ノ說明ヲ願ヒタイト思ヒマス
○兒玉國務大臣 御説明申上ゲマス、只今
本委員會ニ付託ト相成リマシタ地方稅制改
正ニ關スル法律案、即チ地方稅法案、地方
分與稅法案外五案ニ付キ一括シテ御説明申
上ゲマス、暫ク御聽取ヲ願ヒマス

第二ハ、市町村稅戶數割ノ廢止及ビ市町
村民稅ノ新設ノコトデアリマス、言フマデ
モナク、戶數割ニハ長所モアリ又短所モア
ルノデアリマスガ、現在デハ短所ノ方ガ強
ク現ハレテ居リ、地方稅負擔ノ過重ト不均
衡トノ中心ガ戶數割ニアルコトハ疑ヲ容レ
ナイ所デアリマシテ、現行地方稅制度ノ大

キナ缺陷ノ素因トナツテ居ルノデアリマス、隨テ地方税制ノ改正ニ當ツテハ、先ヅ以テ之ニ對シ根本的ナ整理ヲ斷行スルコトガ緊要ナデアリマス、而モ一面ニ於テ、戶數割ヲ此ノ儘存置シマスコトハ、所得稅ト税源ニ於テ事實上競合スルコトナリマスルシ、又今回ノ稅制改正案ニ於テハ、物稅ヲ地方ノ獨立財源ノ中心トシテ組立デントスルノデアリマスカラ、此ノ點ヲモ考慮ニ入レテ、茲ニ戶數割ハ之ヲ全廢スルコトト致シタノデアリマス、併シナガラ戶數割ノ持ツ長所ハ適當ノ方法ニ依ツテ地方稅制上ニ存置スルヲ必要ト認メマシタノデ、其ノ最モ大キナ長所デアアル市町村住民ノ負擔分任ノ精神ハ、市町村民稅ヲ認メルコトニ依リマシテ之ヲ存置シタノデアリマス、而シテ戶數割廢止後ノ市町村財政上ノ彈力性ヲ保タシムル爲ニハ、三收益稅ノ附加稅ノ賦課率ニ伸縮性ヲ認メルコトト致シタノデアリマス

第三八、主トシテ社會政策的見地ニ於テ

行フ雜種稅及ビ市町村特別稅ノ整理デアリマス、雜種稅ノ中ニハ稅質ノ適當デナイモノ、其ノ課率ノ高キニ失スルモノ等、相當整理ヲ要スルモノガアリマスノデ、昭和十二年以來臨時地方財政補助金ノ一部ヲ充當シテ、主トシテ社會政策的見地カラ、不合理ト認メラルモノハ概ネ廢稅若シクハ減稅サレテ來タノデアリマスガ、今回ノ改正ニ當ツテハ、是等ノ廢減稅ハ其ノ儘之ヲ廢減スルコトト致シマシタ外、更ニ財源ノ按配ニ依ツテ、自轉車稅ハ一般のニ之ヲ輕減シ、又國稅揮發油稅ノ稅率引上ノ關係ヲ考慮シテ、自動車稅ハ高率ノ部分ヲ輕減スル見込デアリマス、又市町村特別稅中有租地ニ對スル普通稅トシテノ段別割ハ之ヲ廢止スルコトト致シマシタ、以上ノ如ク雜種稅整理ノ實效ヲ期スルト共ニ、市町村財源充實ノ見地カラ、雜種稅ハ之ヲ二分シ、府縣獨立稅ハ船舶稅外七稅目ヲ法定シ、爾餘ノ稅目ハ總テ之ヲ市町村ニ委讓スルコトト致シマシタ、而シテ市町村獨立稅ハ、前ニ述ベマシタ市町村民稅ノ外ニ、舟稅以下七稅目ヲ法定シ、別ニ主務大臣ノ許可ヲ受ケ、法定以外ノ稅目ヲ起シテ市町村獨立稅ヲ賦課シ得ルコトト致シタノデアリマス

第四八目的稅制度ノ整備擴充デアリマス、合理的ナル地方財源充實ノ一方法ト致シマシテ、近時増加シツアル受益的性質ノ濃厚ナル地方共同施設ニ付テ、目的稅ノ賦課ヲ容易ナラシメルノ必要ヲ認メ、主トシテ都市ヲ對象トシテハ都市計畫稅ニ於テ、現行府縣稅分ノ約二分ノ一ヲ都市ニ委讓シ、又主トシテ農村ヲ對象トシテハ、水利事業ノ爲地租割若クハ段別割ノ賦課ヲ認メ、其ノ他ノ施設ニ付テハ共同施設稅ノ賦課ヲ認メルコトト致シタノデアリマス

次ニ地方稅制體系ノ第二問題デアリマスアル間接課徵形態トシテノ地方稅ニ屬スル地方分與稅制度ノ創設ニ付テ申上ゲマス、地方分與稅ハ、之ヲ還付稅ト配付稅ノ二種ト致シマシタ、還付稅トハ、一旦國稅トシテ徵收シ、之ヲ其ノ儘徵收地團體ニ還元交付スル分與稅ヲ謂ヒ、配付稅トハ一旦國稅トシテ徵收スルケレドモ、徵收地團體ニ關係ナク一定ノ標準ヲ以テ地方團體ニ配分交付スル分與稅ヲ謂フコトト致シタノデアリマス

第一ニ、還付稅ハ、曩ニ申述ベマシタ如ク、地方ノ獨立財源タル地租、家屋稅及ビ營業稅ノ三收益稅ニ付、其ノ道府縣財源ニ屬スル部分ノ二分ノ一ハ一旦國稅ノ形式ヲ以テ課徵シ、其ノ儘徵收地道府縣ニ還付スルモノデアリマシテ、主トシテ地方負擔ノ公平ヲ期スル爲ノ方便ナノデアリマス、而シテ還付稅ハ、之ヲ地方分與稅分與金特別會計ニ直接收入ノ上、年四回ニ分チ交付スルコトト致シマシタ

第二ニ、配付稅ニ付テ申上ゲマス、所謂地方財政ノ調整財源トシテ配分スル分與稅デアリマスガ、御承知ノ通り、今日ノ社會事情ニ於キマシテハ、地方財源ガ甚シク地域的ニ偏在シテ居ル關係上、獨立財源ニ依ル地方稅制ノ改正ノミニ於テハ、地方財源ノ偏在ヲ如何トモシ難ク、團體財政ノ基礎ヲ確立スルコトガ出來マセヌノデ、何等カ有効適切ナル方法ヲ以テ、地方財政ノ調整ヲ圖ルコトガ極メテ緊要ト存ズルノデアリマス、而シテ其ノ方策トシマシテハ、同時ニ地方自治トノ調和ヲモ考慮ニ入レマシテ、今回ノ改正ニ於テ地方稅制ノ中ニ此ノ配付稅

タル分與稅制度ヲ取入レタノデアリマス

次ニ配付稅ノ稅種ノ選擇及ビ充當割合デアリマスガ、稅種ハ地方團體全體ノ財政力ヲ強化スル爲、國稅中所得稅、法人稅等伸張性ノアル四種ノ稅ヲ選ンダノデアリマス、而シテ分與稅充當ノ割合ハ、平年度ニ於テ、所得稅及ビ法人稅ニ付テハ其ノ一割六分五厘五毛、遊興飲食稅及ビ入場稅ニ付テハ其ノ五割ト云フ一定割合トシテ、其ノ伸張性ヲ地方財政ニ反映セシムルコトト致シタノデアリマス

次ニ配付稅ノ道府縣及ビ市町村ニ對スル割振デアリマスガ、是ハ各、其ノ需要ノ程度ヲ算定致シマシテ、總額ノ百分ノ六十二ヲ道府縣配付稅トシ、總額ノ百分ノ三十八ヲ市町村配付稅ト致シタノデアリマス、此ノ配付稅ハ之ヲ年四回ニ分チマシテ、地方ニ分與スルコトト致シマシタ、而シテ市町村配付稅ハ、更ニ之ヲ課稅力及ビ財政需要ヲ標準ト致シマシテ、大都市配付稅、都市配付稅及ビ町村配付稅ノ三種ニ分チテ、分與スルコトト致シタノデアリマス

次ニ配付稅ノ分與ノ基準デアリマスガ、是ハ配付稅ニ依ル收入ガ、獨立財源ニ依ル收入ト併セテ、各地方團體ノ財政需要ニ即應スルコトヲ目的トシ、是ガ爲メ團體ノ課稅力ヲ示スモノ、及ビ財政需要ヲ示スモノ、此ノ二ツヲ標準トシテ、分與スルコトト致シタノデアリマス、而シテ課稅力ヲ示スモノト致シマシテハ、大體三收益稅ヲ以テ測定スル單位稅額ヲ用ヒマシテ、之ニ逆比例的ニ分與スルコトニ致シ、財政需要ヲ示スモノト致シマシテハ、人口ニ適當ノ考慮ヲ加ヘマシテ、之ニ比例的ニ分與スルコトト致シタノデアリマス、但シ課稅力ノ極メテ

豐富ト認メラルル團體ニ對シマシテハ、一定標準ヲ設ケテ、分與ノ制限ヲ爲スコトト致シタノデアリマス、尙ホ大都市以外ノ市及ビ町村ニ付キマシテハ、右ニ述ベマシタモノノ外ニ、配付税ノ一部ヲ、特別ノ事情アル團體ニ對シマシテハ、其ノ事情ヲ斟酌シテ分與スルコトニ致シテ居リマス

次ニ配付税ノ經理方法デアリマス、是ハ一般會計ヨリ新ニ設ケラレル分與金特別會計ニ繰入レテ經理致シマス、而シテ毎年度ノ分與額ハ、原則ト致シマシテ前々年度ノ配付税ノ收入額ニ依ルノデアリマスガ、地方財政ノ情況上、必要アル場合ニ於テハ之ヲ加減シ得ルコトト致シ、積立金又ハ借入金ノ方法ニ依リマシテ、年度間ノ調整ヲ圖ルコトト致シタノデアリマス

最後ニ經過的ノ措置デアリマス、地方税制上今回ノ如キ根本的改正ヲ加ヘマス場合ニ於キマシテハ、税制改正ニ因ル歳入ノ激變ヲ緩和スルノ必要ガアルト認メラレマスノデ、配付税ニ於キマシテハ當分ノ間、税制改正ニ因ル減收額ヲモ分與ノ基準ニ加ヘマシテ、五ヶ年度間ニ互リマシテ、遞増シ又ハ遞減シ、之ニ依リマシテ分與スルコトト致シタノデアリマス、尙ホ地方分與税ノ分與ニ付キマシテハ、以上述べマシタル如キ、其ノ基本的事項ハ、總テ之ヲ地方分與税法ニ規定シタノデアリマスガ、尙ホ此ノ法律施行上遺憾ナカラシムル爲ニ、重要ナ事項ヲ審議スル爲ニ、貴衆兩院議員ヲ主體ト致シマスル委員會ヲ設ケテ、分與ノ公正ヲ期スルコトト致シテ居リマス

尙ホ政府ハ、地方税法案ノ制定ヲ機會ト致シマシテ、直接課徴ノ地方税制度ノ簡易化ニ關シテモ、十分ノ考慮ヲ加ヘマシテ、税

法ニ全面的ナル整理改善ヲ加ヘルコトト致シマシタ、即チ地方税關係ノ各種法規ヲ、法案中ニ網羅統一スルコトト致シ、又從來勅令、省令等ノ中ニ定メラレテ居ル事項ト雖モ、法律中ニ規定スルヲ適當トスルモノハ、總テ之ヲ地方税中ニ取入レテ規定シテ居リマスルト共ニ、納税上又ハ徵稅事務上ニ於キマシテ不便ト考ヘラレマス事項ニ付、出來得ル限りノ改善ヲ加ヘ、又從來疑義ノ存スル事項モ、成ベク之ヲ明瞭ニ規定ヲ致シタノデアリマス、又地方税法案ノ制定ニ伴ヒマシテ、府縣制、市制、町村制、北海道會法及ビ北海道地方費法ニ付キマシテ、地方税法案ニ網羅シタ事項ハ之ヲ削除致シマシタ外、特ニ政府ハ地方行政及ビ財政ノ改善ヲ爲ニ、是等ノ法律中ニ必要ナ改正ヲ行フコトト致シマシタ、其ノ主ナル事項ノ一ハ、目的税制度ト同一趣旨ノ、受益者分擔金制度ヲ創設致シタコトデアリマシテ、其ノ二ハ、從來地域ニ依リマシテ經濟ヲ分別スル府縣ノ行政ニ關スル特例ヲ、廢止スルコトト致シタコトデアリマス

次ニ一言附加ヘテ申上ゲテ置キタイコトハ、今回ノ税制ノ根本的改正ヲ機會ニ、解決スルコトヲ適當ト認メマシテ、國費、地方費ノ負擔區分ノ是正ヲ爲ニ、二三ノ改正ヲ試ミルコトト致シタ點デアリマス、是ハ他ノ法令改正トノ關係モアリマスノデ、其ノ際ニ御説明申上ゲル管デアリマスガ、地方税制改正ニ付、不可分ノ關係ニアル地方財政問題デアリマスノデ、此ノ機會ニ於テ、其ノ改正事項ノ大要ヲ申上ゲタイト存ジマス

其ノ一ハ、現在市町村負擔ノ相當部分ヲ占メテ居リマスル小學校教員ノ俸給費ヲ、財

源關係ト教育上ノ見地カラ考慮致シマシテ、之ヲ道府縣費ノ負擔ニ移スコトト致シタノデアリマス

其ノ二ハ、現在義務教育費國庫負擔金ハ、八千五百万圓ノ定額デ支出サレテ居ルノデアリマスガ、之ヲ俸給費總額ニ對スル二分ノ一ノ定率トシテ、道府縣ニ交付スルコトニ改メタノデアリマス

其ノ三ハ、警察費連帶支辨金ノ支出割合ノ改正デアリマシテ、現在ハ東京、大阪其ノ府縣トノ間ニ、其ノ率ヲ異ニシテ居ルノデアリマスガ、之ヲ改メマシテ、東京府、大阪府ハ現行制度ノ儘ト致シマスガ、其ノ他ノ府縣ノ支出率ハ、之ヲ十分ノ三半ニ引上ゲルコトト致シタノデアリマス

其ノ四ハ、職業紹介法ニ依リマスル地方負擔金ハ、之ヲ全廢スルコトト致シマシタ最後ニ、今回ノ地方税制改正ニ伴ヒマスル地方財源總體ノ異動見込ヲ申上ゲマスルト、改正案ノ基礎ト致シマシタ地方税總額ハ、現行税制ニ依ル昭和十五年收入見込額デアリマシテ、其ノ額ハ約十億三千二百萬圓デアリマス、此ノ需要ヲ充タスベキ改正後ノ平年度ニ於キマスル收入見込額ハ、地方ノ獨立税及ビ附加税ニ於キマシテ約五億三千七百万圓、分與税ニ於キマシテ約四億五千二百萬圓、内還付税約一億二千五百萬圓、配付税約三億二千七百万圓、國費、地方費ノ負擔區分ノ改正其ノ他ニ依リマシテ約四千三百萬圓デアリマシテ、此ノ合計ハ約十億三千二百萬圓ト相成ルノデアリマス、尤モ改正當初ノ平年度ニ於キマシテハ、家屋税ノ經過規定及ビ舊法ニ依ル稅收入ガアリマス等ノ關係上、獨立税及ビ附加税ノ收入ハ約六億三千六百万圓トナリマシテ、

隨テ分與稅收入ハ約三億五千四百萬圓、内還付稅約七千七百萬圓、配付稅約二億七千七百萬圓トナル見込デアリマス

以上今回ノ地方税制ノ改正、竝ニ之ニ關聯致シマスル地方財政制度改正ノ大綱ヲ申述ベタル次第デアリマスガ、是等ノ諸法案ニ依リマシテ、現行地方税制及ビ財政ニ關シテ、改善スベキモノハ之ヲ改善致シ、整理減廢スベキモノハ之ガ整理減廢ヲ行ヒ得ルノデアリマシテ、斯クシテ地方團體ハ其ノ財政ノ事情ニ即應スル財源ヲ得、自治行政ノ發展振興ヲ期スルコトガ出來、又地方住民ハ其ノ負擔ガ合理化セラレ、地方更生ノ實ヲ舉グルコトガ出來ルト思惟スル次第デアリマス、尙ホ是等ノ法律案ハ之ヲ明年度ヨリ實施シタイト思ヒマスノデ、願クハ此ノ際速ニ御審議ノ上、御協賛アラシコトヲ切望シテ已マザル次第デアリマス

○堀切委員長 ソレデハ森君ニ引續キ大藏、内務兩大臣ニ對シ御質疑ノ願ヒマシテ、ソレガ終リマシタナラバ、中村君ヨリ内務大臣ニ對スル地方税ノ質問ノ留保ガアリマスカラ之ヲ許シマス——森君

○森委員 此ノ昭和十五年度ノ豫算ニ付テハ、基準單價ガ安キニ過グルト云フコトガ、今日ハ一般ノ常識ト相成ツテ居ルト申シテモ宜シイト思ヒマス、大藏大臣モ亦其ノ點御心配ノヤウデアリマス、此ノ點カラ考ヘマシテモ、十五年度豫算ノ現狀ノ儘ニシテ果シテ實行シ得ベキヤ否ヤ、ソコニ重大ナ問題ガ殘ルト思ヒマス、一面ニ於テハ從來政府事業トシテ地方等ニ行ハレテ居ル其ノ姿ヲ見テ、府縣營ノ事業、殊ニ下ツテ町村營ノ事業等ニ比較致シテ見マス、政府事業ハ如何ニモ贅澤ダト

云フ感ラ免レマセヌ、是ハ大臣モ御認メニナルダラウト思フ、無論良イ程良イコトハアリマセヌケレドモ、ソレ程マデニ參リマセヌデモ、其ノ事業ハヤツテ行ケルト思ハレルモノニ念ガ入ル、念ヲ入レテ非常ニ良ク造ラレルバカリデナク、ソレデモ豫算ガ餘ツテ參ルノデ、更ニ設計變更ト稱シテ同ジ仕事ノ繼足シヲヤツテ行クト云フ例ハ少クアリマセヌ、豫算ガ初メノ目標トシマシタモノダケヲ賄ヘバソレデ済ムト云フコトデ參リマスナラバ、年々相當ノ使ヒ餘シガ出テ來ナケレバナラスノデアリマス、又實際ニ於テハ其ノ年度ニ於テ爲シ遂ゲヨウト云フ目標ノ下ニ豫算ヲ計上シテ置キナガラ、少カラザル部分ガ次ノ年度ニ事業ト共ニ繰越サレテ居ルト云フ事實モ御否定ニハナルマイト思ヒマス、大藏大臣ハ會テ商工省ノ主トナリ農林省ノ主トナツテ、各省ノ豫算ノ實情ハ御承知ノ通りデアル、其ノ豫算ノ内容ニ互ツテ深く檢討致シテ見マス、例ヘバ助成費ノ如キニ致シマシテモ、モウ既ニ助成ノ目的ヲ達シテシマツテ居ルモノニ、依然トシテ舊態其ノ儘ノ助成費ヲ計上シテアルト云フヤウナ實例モアル、或ハ又助成既ニ其ノ效無シト見切ヲ付ケタモノニ對シテ、助成費ヲ依然トシテ續ケラレテ居ルト云フヤウナモノモ少クナイ、サウ云フコトヲ各方面カラ考ヘテ見ルト、基準單價ノ見積ガ安キニ過ギルト云フ心配ガアル、一面ニ於テ更ニ此ノ豫算ニハ其ノ古イ時代以來ノ持越シノモノ其ノ他ニ關シテ、本當ニ自分ノ臺所ヲ自分ノ金デ切盛リスル心ヲ以テ整理ヲ致シテ參リマスナラバ、相當整理ノ餘地ガアルト私ハ見ルノデアリマス、是ハ決シテ緊縮節約ヲ申スノデハナイ、必要ノ

仕事ハ無論爲サナケレバナラスガ、其ノ仕事ヲ爲スト致シテ、事實上此ノ豫算ニハ爲シ遂ゲ得ザル程ノ金ガ見積ラレテ居リ、一面ニ於テハ必要ナキモノマデモ計上サレテ居ル、斯ウ云フコトヲ私共ハ考ヘテ居ルノデアリマスガ、大藏大臣ハソレヲ御認メナリマスカ

○櫻内國務大臣 從來政府ノヤツテ居リマス仕事ガ非常ニ弛ミガアツテ、尙ホ少額ノ費用ヲ以テ爲シ得ルノニ、自然ニ放漫ニナツテ居ルヤウナ狀態ガアルガ、斯ウ云フ點ニ付テ認メルカ否カト云フコトガ第一點デアツタト思ヒマス、私ハ其ノ點ニ付キマシテハ、甚ダ遺憾デアリマスガ、十分ナル調査ヲ致シテ居リマセヌノデ、サウ云フモノガ多クアルカナイカハ存ジマセヌガ、中ニハ或ハモツト單價ヲ切下ゲ得ベキモノガアルノニ、切下ゲ得ナカツタ部分ガ無イトハ申サナイノデアリマス、現ニ軍需上ノ資材等ニ付キマシテ、軍部ノ人ガ當業者ニ懇談ヲシテ、サウシテ少カラズ値引ヲシタト云フコトモ聞イテ居リマスノデ、サウ云フヤウナ事柄ガアリ得ナイトハ申シマセヌケレドモ、今日總テノ物價ガ騰貴スル時代ニ於テ、單價ヲ上ゲズニヤルト云フ事柄ハサウ容易ナコトデハナイト思ヒマスガ、其ノ物資ノ量ハ大體見當ガ付イテ居ルノデアリマシテ、ソレ等ノ品物ニ對シテ値上ヲセズシテ、所謂此ノ豫算ニ盛ラレタル基準單價ニ於テ大體ヤリ得ルノデナカラウカト考ヘテ居ルノデアリマス、併シナガラ物價ハ御承知ノ通り始終變化ヲ致シマスノミナラズ、最近ニ於テハ非常ナ騰貴ヲ致シツツアルノデアリマサガ故ニ、假ニ此ノ豫算ガ昨年ノ八、九、十月頃ノ時價ニ依ツテ組立テラレテ居ルト

假定致シマシテモ、其ノ後ノ騰貴ト云フモノハ容易ナモノデアリマセヌ、指數ノ上カラ見マス、寧ロ一昨年ノ八、九月頃カラ昨年ノ八、九月頃マデニ於テ上ツタ物價指數ヨリモ、昨年ノ八、九月頃ヨリ今年ニ掛ケテ物價指數ガ多ク騰貴致シテ居ル譯デアリマスカラ、此ノ豫算ノ實行ハ非常ナル注意ヲ要スルノデアリマシテ、注意ノ仕方ニ依ツテハ或ル程度私ハ單價ガ低クトモ實行出來ルデハナカラウカト思ツテ居リマス、今ノ御話ノ政府ノ買上品竝ニ政府ガ民間ニ託スル所ノ物ガ比較的切詰メテナイト云フコトニ付キマシテハ、是ハ私只今何トモ申上ゲ兼ネルノデアリマシテ、唯本年度ノ豫算ノ實行ニ際シマシテハ、私其ノ點ニ付キマシテハ全力ヲ擧ゲテ國民ノ負託ニ背カナイヤウニ致シタイ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス

○森委員 大藏大臣トシテ只今私ノ申述ベタヤウニ、豫算ニ弛ミガアルノヲ御認メナリ、或ハ是デ以テヤリ切レナイ程ノ仕事ガアルノダト云フ風ナコトヲ茲デ御認メナル譯ニハ參リマスマイ、私ハ強ヒテ之ヲ御認メ下サルヤウニト申スノデアリマセヌ、併シ單價ガ安クテ困ルト云フ一面ニ相當ノ弛ミガ豫算ニアルト云フコトハ、是ハ大藏大臣トシテモ御考ニナツテ、此ノ後ノ豫算編成ニ當ツテハ力ヲ御盡シニナラナケレバナラスモノダト思フ、大藏大臣ガ若シ今ノ席ニオ居デニナラスナラバ、恐ラクハ私ト同様ノ意見ヲ御持チニナツテ居ルカモ知レスト思ヒマス、併シ私ハ之ニ付テ深く立入ツテ申ス譯デハアリマセヌガ、一面カラ申シマス、只今ハ單價問題ニ因ンデ考ヘテ見マシテ、低物價ト云フコトニ非常ニ重

キヲ置イテオ居デニナル、ソコデ私ハ舊イコトデアリマスガ、二十四年前ノ寺内閣ノ時代ヲ想ヒ起シテ見ル、アノ時ニハ米一升ノ値段ガ私ノ地方ノ長崎ニ於テサヘモ五十六錢五厘ヲ稱ヘタ、ソコデ遂ニアノ米騒動ト相成ツテ、全力ヲ盡シテ之ヲ抑ヘヨウトサレタ仲小路農商務大臣ハ遂ニ政治的ニ燒死ヲサレタ結果ト相成ツタノハ御承知ノ通りデアリマス、之ニ代ツテ生レタ原内閣ガ何ヲナサツタカ、私共ハ當時原内閣ニ同情ヲ持ツ一人トシテ非常ニ苦心ヲ致シマシタ、私ハ當時新聞社員ヲ致シテ居リマシテ、一日社説ヲ掲ゲテ、瓦トナツテ全キヨリモ玉トナツテ碎クルガ宜シイ、斯ウ書キマシテ、原内閣ノ前途ハ暗澹タルモノダト思ツテ心配ヲシテ居ツタ、アノ原内閣ガ成立致シマス、寺内閣二年バカリノ間ニ小出シニ小出シト出シテ行ツタ手當金ト云フモノモ、思切ツテアノ内閣ノ時代ニナツテ引上ゲタ、遂ニ約倍額ノ俸給ト爲シテ、之ヲ恒久化シタノガ當時ノ實際デアリマス、斯様ニナツテ參リマスルト、普通ノ常識ヲ以テ致シマスナラバ、却テ是デ以テ世間ノ物價ノ騰貴ヲ更ニ誘發致シ、或ハ物資ノ不足ヲ告ゲ、色々ノ問題ガ出ナケレバナラスノデアリマスガ、此ノヤウニシテ寧ロ思切ツテ俸給生活者ノ給料ヲ上ゲタ結果ドウナツタカト云フト、一般ノ民心モ安定致シ、同時ニ米價ノ如キハ寧ロ其ノ當時ノ値段ヨリ下ツテ安定ヲ致シタト云フ事實モアルノデアリマス、今日ニ於テモ大分石炭不足デ政府ハオ困リニナツタヤウデ、最近九州ノ方カラ炭坑地ノ町村長數名ノ者ガ參リマシタカラ、會ツテ話ヲ聽イテ見マス、マサカ嘘デハナカラウガ、九州ノ炭坑ニハ今ヤ

置場ガナイ程炭ガ積マレテ、坑内ニハ今掘ツタ所ノ炭其ノモノヲ外ニ出サナイデ置イテアル、是ハ最近ノコトデアル、サウ云フコトヲ言ツテ居ル、ドウ云フ譯デツレガイケナイノカ、ドウシテ石炭ト云フモノハ是程困ルカト云フコトニモ、ヤハリ此ノ物價政策ニ關係ガアリハシナイカ、近來ハ石炭ノ「カローリ」ガ惡イト云フコトヲ言ハレテ居リマスカラ、其ノ點ヲ尋ネテ見ルト、手ヲ入レサヘスレバ立派ナ「カローリ」ノ石炭ハ出來ルノダガ、出テ來タモノ、其ノ儘デモ相當ニ賣レルカラ此ノ儘ニシテアル、要スルニソコニ物價政策ト云フモノノ行詰リト申スカ何カアルノデハナイカ、何カ割切レナイモノガアルノデ石炭ガ出テ來ナイノデハナイカ、木炭ノ如キモ其ノ通りノ狀況デアツタガ、是ハ最近相當政府ハ御考慮ニナツテ居ルヤウデアル、或ハ又昨今非常ニ不足ヲ告ゲテ居リマス漁業者ノ使フ木綿ノ網絲デアリマスカ、之ニ付テハ價格ヲ公定シヨウトカスマイトカ只今御研究ノヤウデアルガ、其ノ公定價格ト云フモノヲ逆算シテ參リマス、工賃ト云フモノガ非常ニ安い値ニ落チテ參リマスルノデ、モウ網業者ハ製造ヲ止メタト云フ噂モアル、或ハ此ノ網業者ニ、應テ價格ノ公定ヲスルカラ、兎ニ角其ノ品物ハ當業者ニヤツテ置ケト誰ガ唆シタカハ知ラヌガ、兎ニ角信用シ得ベキ人カラ之ヲ勸メラレタ、サウシテ渡シテシマツタ所ガ、應テ現ハレテ來ルト云フ所ノ公定價格ハ到底工賃ハザル非常ニ無理ナルモノデアルト云フコトガハツキリ分ツタノデ、直チニ其ノ網絲ト云フモノハ引込メテシマツタ、サウスルト一面ニ於テハ閣相場ノ取引ガアツタト云フノ後ロヲ突カレ

タ、網業者ハ直チニ一緒ニナツテ尻ヲ突付クナラ突付イテ見タガ宜カラウト云フコトデ頑張ツテ參ツタノデ、遂ニ問題ニナラナカツタト云フ噂モアリマス、斯ウ云フコトガ到ル處ニアルノデアルカラ、私ハ必ズシモ此ノ基準單價ヲ安クサツタ方ガ宜シイト申スノデハナイ、滑カニシテ行カウト云フ爲ニハヤハリ引上グベキモノハ之ヲ引上ゲテ行キ、適正化シテ出デニナルコトガ必要デヤナイカ、サウナツテ參ルト普通ノ算盤デ行ケバ段々單價ガ上ツテ行ク管デアルガ、寧ロ圓滿ニ品物ガ出デ參リマス結果トシテ、單價ハ安ク相成ルカモ知レヌ、斯ウ云フコトモ考ヘラレルト私ハ思フノデアリマス、斯ウ云フコトヲ色々ノ方面ヲ研究シテ見マス、マダ相當政府トシテハ豫算實行ニ付テ御考ニナラナケレバナラヌ幾多ノモノガアル、殊ニ今精神總動員等ト言ツテ、色々國民ヲ御導キニナツテ居ルノデアリマスケレドモ、國ノ中央都市デアアル東京ニ於テ最モ高イ遊興稅ノ單價デアルト云フヤウナコトデ、ドウシテ範ヲ天下ニ示スコトガ出來マセウ、私ハ必ズシモココデ豫算論ヲ致スノデハアリマセヌ、茲ニ左程ノ大キイ稅ヲ國民ニ要求シテ行カウト云フ政府デアラナラバ、先ヅ自ラノ手ヲ清メ、足ヲ洗ツテ、ドウシテモ是デハイケナイト云フコトノ事實ヲ御示シニナツテ、ドウゾ之ニ向ツテ協力ヲセイト云フコトヲ御求メニナルナラバ、色々ノ手練手管ヲ御使ヒニナラナケレバ動カナイト云フヤウナ、左様ナ日本國民デハ私ハナイト思フ、茲ニ斯ウ云フ増稅案ヲ御出シニナルト云フナラバ、ナゼ初メモウ少シ此ノ豫算ニ關シテ御留意ニナラナカツタカ、斯ウ云フ感ジヲ私ハ持つテ居ルノデアリマスカ、

之ニ付テ何カ御意見ガアリマセウカ、
○櫻内國務大臣 物價政策ニ付テ森君カラ色々御話ガアリマシタガ、私大體ニ於テ御同意ヲ致ス者デアリマス、今日ノ物價政策ノ上カラ申シマス、全面的ニ適正價格ガ決定サレテ、勞銀其ノ他モ總テ或ル適正ナ賃金ニナツテ、サウシテ進ンデ行クニ非ザレバ、此ノ經濟界ガ全クノ順調ニナルコトハ容易デナイト思ヒマス、唯今日ハ所謂九・一八ノ停止令ニ依リマシテ一時停止サレテ居ル、サウシテ適正價格ガ拵ヘラレツツアリマスケレドモ、マダ出來ナイ、要スルニ下グベキモノハ下グ、又多少上グナケレバナラヌモノハ上グテ、サウシテ全面的ニ經濟界ノ調節ヲ取ルト云フ事柄ガ必要デアルト云フコトハ、私モ同様ニ考ヘルノデアリマス、隨テ是ハ商工省ニ於キマシテモ物價局ガ活動致シ、物價委員ト協力致マシテ、其ノ物價政策ニ對スル所ノ根幹ニ觸レテ今研究中デアリマスノデ、順次適正價格ノ問題ガ解決スルコトト思フノデアリマス、物價ノ安イコトヲノミ考ヘテ居ルノデハナカラウカト云フ御話デアリマスカ、勿論物價ヲ安ク致シマス上カラ申セバ、單ニ生産不可能ノヤウナ狀態ニ置キマスレバ、寧ロ逆作用ヲ起スノデアリマシテ、低物價ノ眞ノ目的ハ、要スルニ利潤ヲ餘リ多クセズシテ、サウシテ適正ナ價格デ、其ノ適正ナ價格ガ安ク出來ルト云フコトニナラナケレバナラヌモノト、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、寺内内閣ノ時ノ米騒動ノ御話モゴザイマシタ、又原内閣ノ時ノ實際ノ實情ニ付テ御話モゴザイマシタケレドモ、唯是ハ今日ノ如ク支那事變ノヤウナ事變ヲ構ヘテ居リマセヌノデ、物資ノ缺乏ハ現在ノ如ク來シテ

居ラナカツタノデアリマシテ、其ノ點ニ於テ少シ事情ノ異ルモノガアリマスケレドモ、大體ニ於テ兎ニ角生産ヲ滑カニシテ、サウシテ能ク需要ニ應ズルダケノコトガ出來レバ、自然ニ物價ガ下ツテ來ルト云フヤウナコトニ付キマシテハ、全ク同感デアリマス、九州ノ炭坑ノ御話モゴザイマシタガ、是ハ御説ノヤウナコトガ或ハアルカモ知レマセヌケレドモ、可ナリ今日ハ各方面トモ石炭ノ飢饉ニ依ツテ生産ガ非常ニ阻碍サレテ居ルノデ、全力ヲ注イデ是ガ解決ニ當ツテ居リマスノデ、九州ノ炭山ニ貯炭ガ餘程アルトハ考ヘマセヌガ、或ハ汽車ノ運搬ノ關係ヤラ、或ハ又値段ノ關係ト云フコトモアリマセウ、サウ云フヤウナ種々ノ事情ノ爲ニ、サウ云フコトガナイトモ限リマセヌノデ、サウ云フ點ニ付キマシテハ十分商工當局トモ協議シテヤツテ行キタイト思フノデアリマス、豫算ノ實行上ニ關シテ、是等ノ點ニ對シテドウ云フ風ナ方針ヲ執ツテ行クカ、ドウ考ヘルカト云フ風ナ御質疑デアリマスカ、私共ハ此ノ豫算實行ニ當リマシテハ、ドウシテモ物トノ見合ヲ致シテ、適當ニヤツテ行フコトガ必要デアルト考ヘテ居ルノデアリマシテ、其ノ點ニ付キマシテ、十分ニ注意シテ、今日ノ此ノ窮屈ナ狀態ヲ打開シテ行クヤウニ努メナケレバナラヌト思ツテ居リマス、唯今提案シテ居リマス所ノ豫算ヲ作リマス際ニ於キマシテモ、各省トノ間ニ隨分苦シイ折衝ヲシテ、漸ク茲ニ切詰メタト云フ譯デアリマシテ、軍部豫算ノ如キニ付キマシテモ、可ナリ切詰メテ豫算ヲ作ツタヤウナ譯デアリマシテ、此ノ豫算ヲ實行スル上ニ於キマシテハ、前ノ政府ニ於テモ可ナリ苦心ヲシテ作ツタモ

ノト私共ハ認メテ居ルノデアリマス、之ヲ踏襲致スニ付キマシテ、決シテ時間ガナイカラト云フ譯デハナク、大體ヲ眼ヲ通シテ、先ツ大體是デ宜カラウ、斯ウ云フ見透シデヤツタノデアリマスガ、併シ此ノ實施ニ當リマシテハ、更ニ一層細心ノ注意ヲ以テ進シテ行キタイト、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス

○森委員 是ハ私ノ私見デアリマスガ、私ハドナタノ御議論ヲ伺ツテ見テモ、ドウシテモ此ノ際ニ稅制改革ヲ行ハナケレバナラヌ、斯ウ云フノガ是亦一ツノ常識デアル、私ハ昨年ノ稅制改正案ノ最後ノ討論ノ時ニモ、一言此ノ點ヲ申述ベテ置イタノデアリマスガ、私ハ稅制度ノ如キモノハ民ノ信ヲ繋グニ足ルガ確ナモノデナケレバナラヌ、今日之ヲ定メテ明日之ヲ改メル近代ノ稅制度ノヤウナ改革ガ度々行ハレテハ、國民ハ一體何處ヲ見テ行ケバ宜イノカ、其ノ進ムベキ方途ニ迷フヤウナコトガアルダラウ、斯ウ考ヘル、サウ云フ見方カラ致シマスレバ、今果シテ此ノ稅制度ノ根本改革ヲ爲スベキ時期デアルカ、大藏大臣ノ御話ニ依ルト昭和十五年一箇年ノ進行ノ前途デサヘモ、確カヲ見透シハマダ御付キニナツテ居ナイ、サウ云フ時代、今ハ地盤頻リニ動搖シテ居ル、マダ固ツテ居ラヌ、動搖スル地盤ニ永久ノ建築ヲ造ルガ如キコトハ、是ハ良匠ノ選ブベキ仕事デハナイト私ハ思フ、斯ウ云フ點カラ云フト、寧ロ此ノ稅制度ノ根本改革ト云フモノハ之ヲ更ニ他日ニ譲ラレテ、茲ニ御掲ゲニナツテ居ルヤウナ色々ノ要求ガアルトスルナラバ其ノ四大原則ノ大體ヲ通シ得ルヤウニ、他ノ補修作業ヲ以テシテモ或ル程度ノ目的ハ達

セラレル、斯ウ私ハ考ヘテ居ルノデアリマスケレドモ、既ニ御提案ニナリマシタ以上之ヲ遺棄スル譯ニハ參リマセヌ、最早是ハ六箇十箇ノ議論デアリマセウ、斯ウ云フ場合ニ於テ増稅ニ依ル收入ノ中六億圓ト云フモノヲ臨時軍事費ニ御繰入ニナツテ、是ハ事變始ツテ以來ノ方針ヲ其ノ儘ニ執ツタノダト仰シヤレバソレマデノコトデアリマスガ、是ハ寧ロ六億圓其ノモノマデモ一般會計ノ方ニ留メテ置カレテ、之ヲ公債支辨ノ財源ニ充ツルナリ、利子拂ニ充ツルナリ、サウシテ今ハ軍事費ハ只管公債ニ依ツテ進シテ行クト云フ此ノ簡單ナ途ヲ御執リニナツタ方ガ却テ便利デハナイカ、是非トモ此ノ六億圓若クハ三億圓ト云フモノヲ増稅ノ度毎ニ臨時軍事費ニ御入レニナツテ、臨時軍事費全體カラ云ヘバ殆ド雀ノ涙ノヤウナモノヲ、強ヒテ之ヲ繰入レナケレバナラヌト言フノハドウ云フ譯デアルカ、之ニ對スル御意見ヲ伺ヒタイ

○櫻内國務大臣 稅制ヲ改革スルニ當ツテ、信ヲ民ニ繋グ信念ヲ以テ稅制ノ改革ヲシナケレバナラヌト云フ御意見ハ、洵ニ御尤モデアリマス、吾々ガ拳々服膺シナケレバナラスコトト思ヒマス、此ノ度ノ改正案ハ大體ニ於テ今日此ノ程度ノ改正ハ洵ニ已ムヲ得ザルモノトシテ提案致シタノデアリマスガ、森君ノ御話ノ如ク、今日ノ如キマダ其ノ財政狀態、經濟狀態ガ動搖シテ居ル時代ニ於テ之ヲ提案スルコト云フコトハ止メテ、是ガ一定ノ定ツタル所ノ經濟狀態ニナツタ時ニ、根本的ノ稅制改革ヲスルコトガ必要デナイカト云フ御意見ニ付キマシテハ、一應ハ私御尤モ思ヘルノデアリマス、併シナガラ此ノ稅制改革ノ問題ハ議會ノ決議ニ

モアリマシタ如ク、モウ昭和十二年以來ノ問題デアリマシテ、偶、此ノ事變ガ起リマシタノデ、今日マデ延ビ／＼ニナツテ居ル事柄デアリマス、若シ是ガ一年トカ二年トカデ此ノ問題ガ解決ヲシテ、支那事變ノ處理ガ決定スル、又東亞ノ新秩序モ定ツテシマフ、隨デ此ノ財政上ノ狀態ガ變化ヲシテ來ル、斯ウ云フ見透シガ付キマスレバ私御說ノ通りデ宜シイと思フノデアリマス、併シナガラ先日モ申シマシタ通り、支那事變處理其ノモノガマダ殆ド見透シガ付カヌト

言ツテ宜イト思ヒマス、假ニ新中央政權ガ出來マシテモ、而モ蔣介石政權ガ壞滅スルマデハ、ヤハリ此ノ戰時狀態ト云フモノガ繼續サレルモノト考ヘテ置カナケレバ間違フト思フノデアリマス、更ニ國際情勢ノ非常ニ變轉限リナキ有様ヲ顧ミマス云フト、容易ニ是ガ平常ノ時代ニハ還ラヌト思フノデアリマス、隨ヒマシテ國防充實ノ觀點カラ言ツテモ、生産擴充ノ觀點カラ言ツテモ、色々ナ觀點カラ見マシテ、容易ニ國帑ガ減少スルト云フヤウナ見透シガ付カヌノデアリマスカラ、サスレバ此ノ際ニ寧ロ増稅ヲスルト云フヤウナ事柄ガ適當デハナカラウカ、總テノ問題ヲ全部公債ニ俟ツト云フコトハ累ヲ子孫ニ貽スモノダト思ヒマス、ノミナラズ財政計畫ト致シテモ適當ナモノデアリマシテ、隨ヒマシテ多年ノ懸案デアツタ所ノ此ノ稅制改革ト云フモノヲ斷行スルノガ宜シカラウト考ヘラレマシテ、朝野ノ權威ヲ網羅シタ

稅制調査會等ニ於テモ、二十八回ノ多キニ互ツテ審議サレテ、サウシテ此ノ案ガ出來タノデアリマス、私入閣致シマシテ之ヲ見テ、大體ニ於テ是ハ繼承スベキモノデアルト考ヘマシタガ爲ニ、之ヲ提案シテ御審議

ヲ煩ハシテ居ルノデアリマスガ、私ハ此ノ増稅案ガ年々歳々變更サレテ行クベキモノトハ考ヘテ居ラナイノデアリマス、勿論經濟界ガ今日ノ如キ狀態デアリマスカラ、遠キ將來ニ於キマシテ、經濟上ノ事情ニ於テ更ニ増稅ヲスル必要ガアルカトモ思ヒマスケレドモ、大體ニ於テ此ノ程度ノ増稅ニ依ツテ、差當リハ此ノ財政ヲ調理シテ行クコトガ出來ルノデハナイカ、斯ウ信ジテ居ルノデアリマス

ソレデ六億圓ヲ何故ニ此ノ軍事費ニ入レテ居ルノカ、寧ロ是ハ軍事費ノ方ハ公債支辨ニ依ツテ、一般會計ノ方ニ於テ此ノ六億圓ヲ取ツテヤツタラ宜イデハナイカト云フ御話デアリマシタガ、是モ一ツノ見方デアリマシテ、必ズシモソレガ惡イノトハ申シマセヌ、既ニ一般會計ニ於テモ赤字公債ヲ發行スル場合デアリマスルガ故ニ、左様ナル豫算ノ編成ノ仕方ヲシテモ宜イト思ヒマスケレドモ、併シ一面カラ見マスルト此ノ軍事費ノ方ニ於テ今ノ六億圓ハ御承知ノ通り此ノ支那事變費トシテ増徴シタモノト、其ノ他ノモノノ一部トラ合セテ、其ノ約半分ヲ繰入レルコトニナツテ居ルノデアリマスガ、先ツソレ等ノ半額程度ノモノヲ軍事費ノ中ニ繰入レ、半額程度ノモノヲ一般會計ノ方ニ繰入レルト云フ事柄ハ適當デハナカラウカト、斯様ニ考ヘマシテ、今ノヤウニ決定シタヤウナ事情デアルノデアリマス

○森委員 私ハ今ノヤウナ浮動ノ際デアラカラ、寧ロ斯様ナ根本的ノ改革ハヤラナイデ、増稅等ノ必要ガアルナラバ、一部ノ補修作業ニ依ツテ之ヲ行フト云フコトガ途デハナイカト申上ゲテ居ルノデアリマスガ、今大藏大臣ハ前途ノ見透シガ付カヌカラ、今

ヤルノドト仰ツシヤルナラバ、是以上ハ私
ハ議論ニナリマスカラ差控ヘマス、唯是ダ
ケノ金ヲドウシテ年々何十億ノ借金ヲシテ
行ク其ノ仕事ノ中ニ繰入レナケレバナラ
ノカ、斯ウ云フ複雑ナ仕事ハシナクテ宜
ノデヤナイカ、何カソコニ斯ウシナケレバ
ナラヌ目標ヲ御持チニナルノデスカ、ソレ
ヲ一寸伺ヒタイ

○櫻内國務大臣 御承知ノ通り、事變以
來今日マデノ増税ハ軍事費ノ財源トスル建
前ノ下ニ行ツテ來タ關係ガアルノデアリマ
ス、隨ヒマシテ其ノ軍事費ヲ支辨スル建前
ニ依ツテ出來タ増税ハ、其ノ儘ヤハリ今回
ノ増税ニ於テモソレガ含シテ居ルノデアリ
マスガ故ニ、ソレダケノ費用ヲ軍事費ノ方
ニ繰入レルト云フコトニ致シタノデアリマ
ス、ソレカラ動搖ノ際ニ於テヤル必要ガナ
イト言ハレルノハ御尤モナ御意見デアリマ
スケレドモ、先刻モ申ス通り、先ツ當分經
費ガ容易ニ減ラナイト云フ情勢デアリマス
ノデ、其ノ減ラナイ場合ニ於テ、唯公債ナ
リ或ハ補修ノ瀾縫ノ方法バカリヤツテ居ツ
テハ決シテ適當ナモノデハナイ、斯ウ云フ
風ニ考ヘマシタノデ、此ノ際増税ヲ致スコ
トガ必要ナリト認メテ出シタ次第デアリマ
ス

○武田委員 其ノ問題ニ關聯シテ一寸御
伺シタイノデスガ、如何デスカ

○森委員 宜シウゴザイマス

○堀切委員長 武田君

○武田委員 只今森委員ノ質問ニ對スル大
藏大臣ノ御答辯ヲ承ツテ、私モ之ニ關聯シ
テ一二伺ツテ見タイト思フノデアリマス、
一體私ハ今度ノ税制改正ニ當リマシテ、四箇
條ノ目標ヲ御立テニナツテ、其ノ目標ニ依

ツテ改正案ヲ御立テニナツタト云フ御説明
デアリマシテ、實ハ私其ノ目標ニ付テ伺ツ
テ見タイト思ツテ居タノデアリマス、偶、今
森君ノ御質問ガ丁度其ノ點ニ觸レテ居ルノ
デアリマスルカラ、御許ヲ得テ此ノ機會ニ
伺ツテ見タイト思フノデアリマス、私モ斯様
ナ場合ニ根本的ノ税制改革ヲスルコトガ善
イカ惡イカト云フコトハ、當然此ノ委員會デ
深ク研究サルベキ問題デアルト思ツテ居ル
ノデアリマス、殊更ニ私が申上グルマデモ
ナク、七十三議會ノ時ニ税制ノ根本的改正
ノ必要アリヤ否ヤト云フ論ノアツタ時ニ、
當時ノ大藏大臣賀屋氏ハ斯ウ云フ状態ニナ
ツテ經濟ノ状態ガ非常ニ變化シテ動搖ヲ
シテ居ル、隨テ國民ノ所得ノ變化モ起ル場
合デアルカラ、税制ノ根本的改正ヲスルノ
ニハ適當ナラズ、斯ウ云フ御意見デ、其ノ
税制ノ根本的改正ヲ御否認ニナツタノデア
リマス、サウシテ第一回ノ増税ニ於テハ寄
附金ノ合理化ト云フヤウナ、寧ろ寄附金ヲ
國民カラ集メルノヲ合理化スル意味ニ於テ
増税ヲスルトマデ仰シヤツテ居タノデア
リマス、其ノ後前々大藏大臣ノ石渡サンモ、
亦是ハ公ノ議會ニ於ケル言論デアリマセ
ヌデシタガ、豫算內示會ノ時デシタカ、何
デシタカ、私質問ヲ致シタ場合ニモ、ヤハ
リドウモマダ税制ノ根本的改正ヲヤルノ時
機デナイト云フ、丁度賀屋元藏相ト同ジヤ
ウナ意味ヲ言ハレタノデアリマシタ、私ハ
其ノ時ニ考ヘマスルノニ、成程賀屋石渡兩
氏ノ仰シヤルコトモ至極尤モコトデアアル、
國民ノ財産ノ分配ニ非常ナ變動ノアル場合
ニ、ソレヲ中心トシテ税制ノ根本的改正ヲ
スルコトハ、成程困難ナ事デアラウ、併シ
ナガラ今ノ状態ナラバ、ソレデ宜イガ、愈、

此ノ戰爭ガ非常ニ長引イテ、軍費ガ非常ナ
多額ヲ要スルヤウナ場合ニナツテ、ドウシ
テモ公債ダケデハ支辨ガ困難デ、強ヒテ公
債ノミニ依ツテ居ルト云フコトニナレバ、
恐ルベキ「インフレ」ヲ誘致スルデアラウカ
ラ、サウ云フ場合ニハ大増税ヲシナケレバ
ナラヌ又時機ガ來ルデアラウ、サウ云フ場
合ニナレバ、ドウモ此儘繼ギ足シテ増税ヲ
スルコトハ出來ナイデアラウ、斯様ニ實ハ
考ヘテ居リマシタ、果シテ其後一年半モ經
ツテカラ、遂ニ今日ハ相當大増税ヲシナケレ
バナラヌ時機ニ達シテ居ルト思フノデアリ
マス、ソレ故ニ政府モ其ノ意味デ此ノ案ヲ
御提出ニナツタモノト思フノデアリマス、
隨テ今度ノ此ノ税制改正ノ四目標ノ中ニ、
政府ノ御説明ニ依ルト、負擔ノ均衡ヲ主ト
シテ御論ジニナル、又提案ノ理由書ノ中ニ
モサウ云フ意味ノコトガ書イテアリマスガ、
私ハ寧ろ今日相當多額ノ増税ヲシナケレバ
ナラヌ情勢ニナツタカラ、現在ノ税制其ノ
儘デハサウ多額ノ増税ハ爲シ得ナイノデ、
ソレヲ爲シ得ルヤウニ作リ變ヘナケレバナ
ラヌ必要ニ迫ツタノデハナイカ、斯様ニ考
ヘテ居ルノデアリマスガ、サウ云フ意味ニ
スルト、元ノ税制其ノ儘デハ多額ノ増税ハ出
來ナイ、相當多額ノ増税ヲスルニハ或ル程
度ノ改正ハ已ムヲ得ナイ、是ガ本税制案ヲ
御提出ニナツタ主ナル目的デアツテ、アト
ノ目標ハソレニ伴ツテ自然已ムヲ得ズシテ
ヤラナケレバナラヌ目標デアアル、斯様ニ私
ハ解シテ、此ノ税制案ノ審議ニ臨ンデ居ル
ノデアリマスガ、斯様ニ諒解シテ宜シイノ
デアリマセウカ、改メテ大藏大臣ノ御意見
ヲ承ツテ置キタイト思ヒマス

○櫻内國務大臣 増税即チ税ノ收入ノ増加
ヲ圖ルコトモ本税制ノ改正ノ一ツデアリマ
ス、又負擔ノ均衡ヲ圖ルト云フ事柄モ其ノ
目的ノ一ツデアリマス、又經濟政策トノ調
和ヲ圖ルコトト税制ノ簡易化、此ノ四ツハ一
括シテ今回ノ税制改正ノ目標ト致シテ居ル
ノデアリマス、負擔ノ均衡ニ付キマシテハ、
御承知ノ通り今回ノ改正ニ依リマシテモ、
相當收入ノアル人ニハ可ナリ多クノ負擔ヲ
願ヒ、又一般ノ大衆ノ方ニモ、從來免稅デ
アツタ方ノ方ニモ負擔ヲシテ戴キ、又小額
所得者ニ對シマシテモ、從來ヨリハ負擔ヲ
願ヒ、サウシテ從來甚ダ複雑デアツタ稅ヲ
簡易化シテ、一面ニ於テハ所謂租稅ノ彈力
性ヲモ考ヘマシテ、即チ比例稅率トシテ、
場合ニ依ツテハ彈力性ヲ發揮シ得ルト云フ
風ヲ建前デ、此ノ四ツノ目的ヲ全部綜合シ
テ、今回ノ増稅ヲ決定シタ譯デアリマス

○武田委員 今ノ大藏大臣ノ御答辯ハ、當
ラズ觸ラズノ御話デアリマシテ、ドウモ私
ハ斯様ナ劃期的ノ税制改正ヲ爲サルニ當ツ
テハ、一寸煮エ切ラヌヤウナ態度デハナカ
ラウカト思フノデアリマス、私ノ意見ヲ十
分ニ申スノニハ、十分ニ論議シテ見ナケレ
バナリマセスガ、關聯事項トシテ今申上ダ
ルニ適當デナイト思ヒマスノデ差控ヘマス
ガ、今大藏大臣ノ仰シヤル所ニ依リマスレ
バ、此ノ税制改正ニ掲ゲラタレ四目標ト云
フモノハ、オ互ニ綜合的ニ實行ノ出來ルモ
ノデアアルカノ如キ前提ノ下ニ御話ニナツ
タ、是ハ私ハ根本的ニ誤ツタ考ヘ方デハナ
カラウカト思フ、其ノ一ツ一ツノ目標ヲ見
レバ、何レモ結構デアリマスガ、性質上此
ノ四ツノ目標ト云フモノハ、必ズシモ一致
シナイ、或ル場合ニ於テハ相當矛盾ヲシテ
居ルノデアリマス、相當多額ノ増稅ヲ致サ

ントスル場合ニ於テハ、負擔ノ均衡ノミニ係ハツテ居ルコトハ出來ナイ場合ガアリマス、又經濟政策トノ調和ヲ圖ル場合ニ於テハ、負擔ノ均衡ヲ犧牲ニシナケレバナラス場合モアルノデアリマス、此ノ四目標ト云フモノハ、綜合的ニ實行ノ出來ルヤウナ、生易シイ目標デハナイノデアリマス、ソレ故ニ斯ウ云フ非常時ニ當ツテハ、此ノ稅制改正ノ衝ニ當ラントスル立案者ガ、四目標ノ中、ドレニ最大ノ重點ヲ置クカト云フコトヲ能ク考慮シテ、其ノ重點ヲ決メテ、其ノ重點トスル目標ヲ爲ニハ、多少ノ目標ヲ犧牲ニシナケレバナラスト云フ覺悟ヲ持ツテ、稅制ノ改正ニ當ラナケレバ、此ノ時局ニ對應シタ稅制ノ改正ハ出來ナイ、斯様ニ私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、端的ニ私ノ希望ヲ言フナラバ、今度ノ如キ增稅ノ程度デハ、此ノ稅制制度改正ノ眞意ニ合ハナイ、此ノ時局ニ對應出來ナイ、私ハ斯ウ云フ考ヲ實ハ持ツテ居ルノデアリマスガ、其ノ是非ハ姑ク措イテ、此ノ四ツノ目標ノ何レニ重點ヲ置イテ、之ヲ立案セラレタノデアルカト云フコトヲ、今一應伺ツテ置キタイと思ヒマス

○櫻内國務大臣 税金ヲ徵收致シマス上ニ於テハ、負擔ノ公平ト云フコトハ稅ノ生命トナルベキ所ノモノデアラウト思ヒマス、併シナガラ増稅ヲ致シマス際ニ、其ノ負擔ノ公平ヲ顧ミズシテ増稅ヲヤルト云フ事柄ハ——今武田君ノ御話デハ、增收ガ目的カ、負擔ノ均衡ガ目的カ、斯ウ云フ御話デアリマスガ、兎ニ角今回ハ相當ノ増稅ガ必要デアルノデアリマシテ、即チ稅ノ收入ノ増加ヲ圖ルコトヲ目的ト致スト同時ニ、其ノ目的ヲ達成致ノマス上ニ、負擔ノ均衡ト云フ

コトヲ頭ニ置イテ、即チ稅其ノモノノ精神ニ背カザルヤウニ徵收ヲ圖ツテ行ク、同時ニ簡易化ヲ圖リ、又經濟界ニ惡影響ヲ及ボサザルヤウニ注意ヲ拂ツテ行ク、斯ウ云フ建前デアアルノデアリマス

○森委員 會テ日露戰爭ノ當時デアツト思ヒマス、アノ時ニ戰時ノ必要ヲ賄フ爲ニト云フノ設ケラレタ稅ニハ、非常特別稅ノ名ガ付ケラレテ居ル、今回ノモノモ支那事變ノ爲ノ課稅デアルカラ、ソレヲ軍事費ノ方ニ入レルノダ、斯ウ云フ御説明ダケデハ、ドウモ是コソ割切レナイ、此ノ前支那事變特別稅ヲ設ケラレタ當時ノ氣持ハサウデアツタ、或ハ日露戰爭當時ノ如ク非常特別稅ノ如キモノデアアルナラバ、ソレデ理窟ガ立ツ、併シ今ハ制度ヲ恆久化シヨウトシテ居ラレル、臨時立法ノ形ヲ執ツテ居ルノハ極ク一部シカナイ、サウ云フ時デアアルナラバ、最早其ノ議論ハ成立タナイ、モット違ツダ建前デアリテ、ドウシテモ税金ヲ軍事費ニ入レナケレバナナイノダト云フ御説明ノ付ク途ガアルノデアリマセスカ、臨時立法ノ形デアリテ増稅シテ來タノダカラ入レルノダト仰シヤルコトハ、昨日マデハソレデ通ルガ、今日ハ通ラナイ、モウ少シ御説明願ヒタイ

○櫻内國務大臣 ソレハ豫算ノ編成ノ建前ガ、詰リ稅ヲ六億圓軍事費ノ中ニ入レタコトハ、ドウモ無意味デナイカ、斯ウ云フ御話デアリマス、成程是マデハ支那事變特別稅法ニ依ツタノデアアルカラ宜シイガ、根本的ノ稅制改革ヲ爲シタ曉ニ於テ、尙ホソレヲ存續シテ居ルノハ、無意味デナイカ、斯ウ云フ御話デアツタと思ヒマスガ、ソレハ御考ニ依リマシテハ、サウ云フ風ニ取ラレ

ルカモ知レマセスケレドモ、兎ニ角出來得ル限り軍事費ニ對シテモ、國民ガ負擔シテ行クト云フ觀念ヲ持チマスコトハ、斯ウ云フ場合ニ於テハ私ハ必要ナコトデハナカラウカト思ツテ、本年ハ此ノ豫算ニ計上スルコトニ私ハ同意致シタノデアリマス、將來此ノ問題ヲドウ云フ風ニヤツテ行クカト云フコトニ付キマシテハ、是ハ相當考慮ヲ拂フベキ必要ガアルカト思ヒマスケレドモ、本年ハ左様ナ狀態デアアルノデアリマス

○大矢政府委員 多少法制ノ技術的方面ニ關聯スル點ガアリマスカラ、此ノ際私カラモ補足的ニ御説明致シテ置キマス、此ノ度ノ稅制改正ニ依ツテ、平年度大體五億圓、初年度三億七千餘圓ノ增收ヲ得ルノデアリマスルガ、此ノ增收額ト、從來ノ支那事變特別稅法等ニ依ツテ增收ヲ得テ居ル額トヲ合セ、更ニ事實益金ノ一部ヲモ合セマシテ、六億圓ヲ臨時軍事費特別會計ノ方ヘ繰入レテ居リマス、是ハ大體事變以來ノ增稅ノ半額程度ニナツテ居ルト云フコトハ、此ノ前ニモ申上ゲテ置イタノデアリマス、サウ致シマシテ今回ノ增稅ハ、前ニモ申上ゲテ居リマシタ通り、支那事變モ長期建設ノ段階ニ入ツテ、稅制モ之ニ對應シテ整備シナケレバナラス、斯ウ云フノガ根本ニナツテ居ルノデアリマス、支那事變ハ長期建設ノ段階ニ入りマシタケレドモ、マダ終熄ノ時期ハ分リマセス、隨ヒマシテ今後何年デ此ノ臨時軍事費特別會計ガ打切ラレルカ、ソレハ今申上ゲラレナイと思フノデアリマス、一方ニ於テ國際間ノ情勢等ヲ考慮致シマス、國防ノ充實ト云フコトハ非常ニ大事デアリマシテ、隨ヒマシテ昭和十五年度ノ一般會計ニ於キマシテモ、其ノ國防充實

ノ爲ノ費用ガ相當多額ニ計上サレテ居リマス、而モ是ハ二三年ダケデ濟ムモノデハナイ、東亞ノ形勢、其ノ他世界ノ情勢ヲ見マスルト、是モ亦相當長期ニ互ツテ多額ノ支出ヲ要スルノデナカラウカト思ヒマス、其ノ他生産力擴充ヲ必要トスル方面ニ對シテモ、相當大キイ國費ヲ要スルノデアリマス、是等ノ費用ヲ全部歲入補填公債デ支辨スルノモ、刻下ノ財政上カラ見テ、當ヲ得ナイノデアリマシテ、隨テ一般會計ニ於テ是等ノ經費ノ増加スルノニ最モ對應シタ增收ヲ圖ラナケレバナラス、斯ウ云フコトニナツテ來ルノデアリマス、ソコデ今度議會デ度々要望セラレテ居リマシタ通り、中央地方ヲ通ジテ稅制ノ改正ヲヤラナケレバナラス、斯ウ云フ風ニナツテ參リマス、ドウモ戰費支辨ノ爲ニ從來二度モ三度モ繰返シタヤウナ繼ギハギノ增稅ヲヤレバ、益、稅制ヲ複雜化スル、同時ニ又所期ノ增收モ得ラレナイト云フ點ガアルノデゴザイマスカラシテ、隨テヤハリ此ノ稅制ノ簡易化カラ言ヒマシテ、又將來今ノ事變以上ニ大キナコトガ來ルカモ知レナイカラ、ソレニ備ヘル爲ニモ將來ノ稅制ニ彈力性ヲ持タセナケレバナラス、ソレ等ノ點ヲ考慮致シマス、ヤハリ稅制全般ニ互ツテ此ノ際改正ヲ加ヘナケレバナラス、其ノ場合ニ於キマシテ、戰費支辨ノ爲ノ臨時立法ヲ殘シテ置クノモ一ツノ方法カト存ジマス、併シ是ハ日露戰爭當時ト違ツテ、半年一年デ今後濟ンデシマフノデモナク、相當長期ニ互ル、或ハ臨時軍事費特別會計ノ方ガ相當減ツテ來ルカモ知レナイケレドモ、一般會計ノ方ノ歲出ハサウ著シク減ルコトモ豫想サレナイ、斯

ウ云フ點カラ考ヘテ見ルト、ヤハリ今後相當長期ニ互ツテ國費ガ膨脹シテ行ク、ソレニ對應スル稅制ヲ整備スル上ニ於キマシテハ、稅制ノ簡易化モ併セテ考ヘテ、此ノ稅制ヲ二本建ニシナイデ、一本建ニシテ置イタ方ガ宜イデハナイカ、斯ウ云フノガ大體ノ基礎觀念ニナリマシテ、稅制ヲ一本建ニシタ次第デアリマス

○森委員 私ノ伺ツタコトハ六億圓ヲ軍事費ニ繰入レナケレバナラヌ理由デアアルノデアリマスガ、只今マデノ御答辯デハマダ満足致シマセヌ、併シ繰返シテ此ノ事バカリ申上ゲル譯ニ參リマセヌカラ、私ハ此ノ點ニ付テハ満足シナイト云フコトヲ申上ゲテ置キマス、兎ニ角只今ノ御説明ヲ伺ツテ見テモ、四大原則ヲ御立テニナツテ居ル、私ハソレニ付テ質問シナカッタノデスガ、主稅局長自身御自白ニナツタカラ、ソレガ本當デアルト思フ、連モ前ノ稅制ヲアノ儘ニシテ補修作業ヲヤツテ行クノデハ增收ノ目的ガ達セラレナイト思ツタカラ、遂ニ制度ノ改革ニ及ンダ、是ガ本音デアアル、大體私ノ考ヘ方カラ申シマスレバ、軍事費ノ方ニ此ノ繰入ニナツテ居リマスモノヲ斯クマデシナケレバ軍事ガ進ンデ行カナイノダト云フヤウナコトヲ、或ル意味ニ於テ國民ニ悟ラシメヨウト云フ一ツノ手段トシテ之ヲ御執リニナツテ居ル、併シ日本國民ハソレ程シミツタレナモノデアアリマセヌカラ、サウ云フコトヲオヤリニナラヌデ、頗ル平明簡易ニ稅制ヲ立テテ行ク、財政ヲ建直サウト仰シヤルナラバ、斯様ナモノハ寧ロ一般會計ノ赤字ノ埋メニ御用ヒニナツテモ宜カラウシ、軍事費ハ寧ロ公債ニ依ツタ方ガ簡單デ宜クハナイカ、是ハ答辯ハ求メマセヌ、私ノ意同ダケヲ申上

ゲテ置キマス、ソレハ姑ク措キマス

ソレカラハ是ハ櫻井君ノ質問以來繰返サレタコトデアリ、委員長トシテモ突入ツタ御質問ガアツタノデアリマスカラ、私ハ先ヅ國民所得ノコトハ措キマスガ、茲ニ是ダケノ稅金ヲドウシテモ集メナケレバナラヌト考ヘラレル政府ノ唯一ノ目標ヲ伺ハナケレバナラヌ、其ノ目標ハ何デアルカ、何ヲ目當テニ是ダケヲ御見積リニナツタカ、或ハ稅制ノ改革ヲ企テ、段々ニ進ンデ行ツテアレニ幾ラ課稅シ、之ニ幾ラ課稅シ、或ハ新稅ヲ課スルトカ、色々計畫ヲヤツテ行ツタ所ガ、集メテ見タラ十億何千萬圓デ、五億一千万圓ノ増稅ニナツタ、斯ウ仰シヤルノデアラウカ、他ニ是ダケナケレバドウシテモイカスト云フ何等カノ目標ヲ御持チニナツテ居ルカ、私ハソレヲ一ツ伺ヒタイ

○櫻内國務大臣 此ノ増稅ヲ行ハズシテ參リマスレバ、要スルニ公債ノ増發ヲ致シマシテモ其ノ利息ガ更ニ利息ヲ生シテ行クヤウニナルト思ヒマス、ソレカラ又徒ニ公債ガ増加シテ行ツテ、國民ノ頭ノ上ニ於テモ非常ナ不安ヲ來ス、又其ノ負擔ヲ子孫ニ殘スト云フ事柄ハ、是ハ深ク考ヘナケレバナラヌコトデアリマス、併シナガラ此ノ公債ノ利息トカ、公債ノ元利償還ト云フモノヲ目標ニシテソナラバ増稅ヲシタカト仰シヤルト、左様デハナイノデアリマシテ、現在ノ經濟界ノ情勢、國民所得ノ情勢カラ顧ミテ、先ヅ此ノ程度ノ増稅ナラバ經濟界ニ不安ヲ與ヘルガ如キ事柄ハナイデアラウ、斯様ナル見地カラ此ノ案ガ作ラレタノデアリマス

○森委員 ドウモ只今ノ御答ハハツキリ致サナイヤウデアリマスガ、私共ハ國民ニ向

ツテ負擔ヲ要求スル場合ニ於テハ今日ノ經濟情勢トシテ或ハ消費力ヲ抑制スル、或ハ購買力ヲ抑ヘル、左様ナ意味デ増稅ヲ行ハレル部分モアルデアリマセウケレドモ、大體稅ヲ國民ニ求ムルト云フ氣持ハ、是ダケナケレバドウシテモ國ノ賄ヒガ付カヌノダ、ソレデ是ダケノ増稅ヲ行フノダ、ソレデ是ダケノ新稅ヲ起スノダト云フナラバ其ノ理窟ガ出テ來ル、只今御答ニ依ルト、ドウモ其ノ點ニ觸レテ來ナイ、唯フ拉里ノトヤツテ、アレニ課ケ、之ニ課ケテ、集計シテ見タラ是ダケニナツタト云フ御答ニシカ聞エナイノデアリマス、段々公債ガ殖エテ困ルカラ利子拂ニスルト仰シヤルガ、是ハ何カ一ツ立派ナ目標ヲ御決メニナツタラドウデスカ、サウ云フ譯ニ參リマセヌカ

○櫻内國務大臣 若シ理想的ニ申セバ一般會計ニ於テ要スル所ノ費用ダケハ全部國民ノ負擔ニ依ツテ、稅ニ依ツテ支辨スルコトガ理想デアリマス、赤字公債ヲ募ツテサウシテ一般會計ノ經費ヲ支辨シテ行クト云フコトデアレバ、實ハ是ガ餘裕アル國民ノ間ニ於テナラバソレハ私ハ採ラザル所デアアルト存ジマス、併シナガラ今日生産擴充ニモ費用ヲ要シ、又戰時資材等ヲモ供給シナケレバナラヌ、又總テノ方面ニ於テ非常ナ費用ガ要ル、其ノ時ニ經濟界ニ動搖ヲ與ヘルガ如キ稅ヲ取ルコトハ是ハ慎マナケレバナラヌノデアアルカラシテ、此ノ稅收入ノ目的ハ出來ルダケ多イ收入ヲ望ムノデアリマスケレドモ、先ヅ差當リ此ノ程度ナラバ經濟界ニモ大シタ影響ヲ及ボスマイ、此ノ見地カラ之ヲ定メタノデアリマス

○森委員 ドウモサウ云フ御説明ニナリマス

ナイヤウデアリマスガ、モツト率直ニ大臣ハ御答ナサツテハ如何デスカ、サウ云フコトデハナク、取り得ベキモノガアツタナラモツト御取リニナツタ宜カラウシ、赤字公債ヲ全減スルコトガ一番目標デナケレバナラヌ、縱シ幾年戰爭ガ續イテ參リマシテモ、聽テ此ノ事變ガ治マル時期ガ來ナケレバナラヌ、是ハ恒久的ノモノデアナイ、サウスルナラバ恒久的ノ財源ヲ國民ノ負擔ニ求メ、足ラザル所ヲ公債ニ求メテ、而シテ軍事費ト云フモノハ公債デ支辨シテオ居デニナツテ、後デ計畫ヲ立テタラ宜イト思フ、若シソレデモ満足出來ヌト仰シヤルナラバ、公債ノ利子ヲ支辨スル増稅ヲヤルト云フナラバソレデモ結構デアアル、私ハ決シテ今ノ増稅ガ高イトカ、國民ガ困ルトカ言ツテハ居ナイ、一言モサウ云フコトハ言ハナイ、唯之ヲナゼ一般會計ニ於テ赤字公債ヲ出ス時ニ、強ヒテ是ダケノ金ヲ申譯ノ軍事費ニ御入レニナリマスガ、ソコヲ御尋申シテ居ルノデアリマス、サウ云フコトヲヤツテ置イテ、國民カラ稅金ヲ徵ルト言ハレルガ、ソレデハ何カ徵ル目標ガナケレバナラヌト思フ、是ダケナケレバドウシテモ國費ガ賄ヘナイカラ徵ルノダト云フ理窟ガ何處カニナケレバナラヌト思ヒマス、何カヲ見合セテ斯ウヤツタノダト仰シヤルガ、何處ニ目標ガアルノデアアルカ、一體稅金ヲ幾ラ御徵リニナレバ御満足ニナルノデアアルカ、其ノ見込ガ立タヌ、一面ニ於テハ彈力性ノアル稅制ヲ執ツタカラト言ハレルガ、中島君ノ言ハレルヤウニ、明日モ増稅スルカモ知レヌ、明後日モ増稅スルカモ知レヌト國民ハ考ヘル、國民ノ方ガ無理カラヌコトヲ考ヘテ居ルト思フ、其ノ點政府ハモウ

少シハツキリ御説明ヲ願ヒタイ

○櫻内國務大臣 先刻來申上ゲマス通り、出來レバ赤字公債ナシニ濟ムダケノ程度ニ於テ負擔シ得ラレバ一番宜イノデアリマスガ、ソレハ今ノ狀態デハ出來ナイノデアリマスカラ、經濟界ニ影響ヲ及ボサザル範圍内ニ於テ増稅ヲシテ、稅ヲ納メテ戴キタイ、斯ウ云フノデアリマシテ、其ノ目標ガ或ハ公債ノ利子等償還ニ適合スルカドウカト云フコトモ考ヘナケレバナラヌノデアリマスガ、兎ニ角總テノ公債ノ利子モ増シ、利子ノ上ニ又利子ヲ積ツテ行クト云フヤウナヤリ方デハ經濟上甚ダ不安ヲ醸ス譯デアリマシテ其ノ點ニ於テ安心ノ行クヤウニシナケレバナラヌト云フコトモ含マレテ居リマスケレドモ、ソレヲ主眼トシテ今回ノ増稅ガ決定サレタ譯ニハアラズシテ、大體ニ於テ此ノ程度ノ負擔ヲシテモ經濟界ニ影響ヲ及ボサスト云フ程度ニ於テ増稅サレタモノデアリマス、今森君カラ、然ラバ何故ニ六億圓ト云フモノヲ軍事費ノ中ニ入レタノカト云フ御話デアリマシタガ、ソレハ先刻來申上ゲル通り、從來支那事變増稅、其ノ他ノ金ヲ軍事費ニ繰入レテ居リマシタノデ、ソレニ今回ノ増稅トヲ混合セテ、其ノ増稅ト其ノ以外ノ、或ル一部ノ費用トヲ混ゼマシテ、其ノ半額ヲ軍事費ノ方ニ繰入レ、半額ヲ一般會計ニ繰入レルヤウニ致シタ譯デアリマス、豫算ノ編成上寧ロ六億圓ヲ一般會計ニ繰入レテ全部公債支辨シタラ宜イデハナイカト云フ御話デアリマシテ、ソレモ一ツノ御議論デアリマスケレドモ、兎ニ角現在ノ國民ガ現在ノ軍費ノ一部分デモ負擔スルト云フ觀念ノ下ニ之ヲ繰入レルコトハ決シテ惡イトハ思ツテ居リマセヌ

○板谷委員 今ノ問題ニ關聯シテ一點ダケ

伺ヒマス、只今ノ森君ノ質問ニ對スル大藏大臣ノ御答辯ノ中ニ、現在ノ如キ人心ガ動搖シ、或ハ經濟界ノ動搖ノ場合ニ於テ、大増稅ヲ致スノハ時機デナイ、併シ支那事變處理ガ何時解決スルカ目鼻ガ付カナイ、ソレデ此ノ際増稅ヲ致シタノデアアル、斯ウ云フ御答辯ノヤウニ承ツテ居リマス、所デ率直ニ國民ガ頭ノ中ニ於テドウ云フコトヲ考ヘテ居ルカト申シマス、一體支那事變處理ノ全貌ガ明カデナイ爲ニ、前途ニ對スル相當ノ不安ヲ抱イテ居ル、吾々ハ先般議會ノ祕密會ニ於テ大體抽象的ニ御話ハ承リマシタケレドモ、國民ノ頭ニハ一向分ツテ居ラナイ、其ノ關係カラ國民ガ緊張シテ居ラナイ、國民精神總動員デ色々ナコトヲオヤリニナツテ居ルケレドモ、私ノ見ル所ニ依レバ、割合ニ緊張シテ居ラス、ソコデ國民ガ重稅ニ苦シンデ政府ガ怨府ニナルヤウナコトニナツテハ大變デアアル、ダカラ只今ノ森君ノ御話ノヤウニ、政府ガ國民ニ對シテ協力ヲ求メルナラバ、國民ガ氣持良ク納稅スルヤウニ其ノ手段ヲ御執リニナルコトガ爲政者ノ最モ努ムベキ責任デハナイカト私ハ考ヘル、ソコデ其ノ一部ハ軍事費ニ繰入レルト云フコトデアリマスガ、ソレハ現在ノ時勢ニ於テハ當然デアリマセウ、ソコデ國民ニ納得サセルト云フコトニ付テハ、支那事變處理ノ全貌ヲ政府ハ明ニナサル御意思ガアルノデアリマセウカ、其ノ點ヲ一ツ伺ツテ置キマス

○櫻内國務大臣 現在人心ノ經濟界ガ動搖シテ居ルケレドモ、増稅ヲスルト云フ風ナ今ノ御話デアリマシタガ、サウ云フ意味デハアリマセヌ、今日ノ狀態ガ即チ財政上當分ノ間、ココ數年ノ間ハ減少シナイ見透シデアル、即チ今一年經テバ必ズソレニ依ツテ經費ガ減少スル、或ハ二年經テバ必ズ支那事變ノ處理ガ全部済ンデ東亞ノ新秩序建設ガ完了スル、斯ウ云フ見透シガ付クナラバソレマデ待ツテ稅制ノ改革ヲシテモ宜シイノデアリマスケレドモ、先ヅココ數年ノ間ハ容易ニ國費ガ減ラナイト云フ見透シデアル以上ハ、何時マデモ繼續ハギノコトヲシテ居リマシテハ將來ニ累ヲ貽シマスノデ、此ノ際ニ於テ多年ノ懸案デアツタ稅制改革ヲヤツテ行キタイト云フノガ趣旨デアリマス、而シテ是ト同時ニ今御話ノ支那事變處理ニ關スル全貌ヲ明ニシテ、國民ニ之ニ對スル認識ヲ與ヘタラドウカト云フ御話デアリマスガ、私今直チニソレヲスツカリ明ニスルヤウナ時期ニ到達シテ居ルカ否カト云フコトハ判斷ニ苦シミマスガ、出來ルダケ速ニ其ノ大體ダケデモ天下ニ發表シテ行クヤウナ風ニアリタイモノダト考ヘテ居ルノデアリマス、恐ラク新政權デモ出來タラ順次發表スルヤウナ風ニ進ンデ行クノデハナカラウカト考ヘテ居リマス

○松永委員 一寸森サン竝ニ其ノ他ノ諸君ヨリ同ジヤウナ趣旨ノ御質問ガアリマシタノデ、後程之ヲ繰返シテ御質問スルコトモドウカト思ヒマスカラ此ノ際御答辯ヲ煩ハシタイト思ヒマス、要ハ今度ノ増稅ハ公債ノ利息ヲ支拂ツテ尙ホ餘リアル額ニ達スルモノデアルト云フヤウナ御答辯ガ大臣カラアツタノデアリマスガ、直截ニ私ノ御尋シタイコトハ、今度ノ増稅額ノ中ニハ購買力ノ吸收ニ付テ強ク見テ居ラレルカドウカト云フ點デアリマス、其ノ理由ハ周知ノコトデアリマシテ、昨年來通貨膨脹ガ非常ニ著シイ、他方ニ公債ノ消化力モ一昨年ニ比較シテ昨年ハ相當程度ニ行ツテ居ル、所ガ其ノ公債消化力ノ反面ニ於テ相當日本銀行カラノ貸出ガ増加シテ居ル、ソコニ通貨ノ上ニ非常ナ矛盾ガ出テ居ルノデハナイカ、而モ昨年日本銀行總裁ノ某新聞記者ニ對スル御話トシテ新聞記事ニ掲ゲラレテ居ル所ニ依リマス、最近非常ニ通貨ノ膨脹ヲ來シテ來テ、サウシテ限外發行ノ程度ガ中々停止シナイ、是ハ赤信號デアツテ、此ノ解決ノ爲ニハ發行準備ノ程度ヲ引上ゲルコトヲ以テ解決スベキカ、寧ロ是ハ警戒信號トシテ國民ニ教フベキモノデアアル、斯ウ云ツタ趣旨ノ記事ガ載ツテ居タノデゴザイマシテ、サウシテ其ノ後ニ於ケル——本年ニ入りマシタ一月中ニ於ケル發行額ヲ見マス、是亦極メテ憂慮スベキ額ニ達シテ居ルト云フコトハ、日々ノ經濟記事ニ掲ゲラレテアル通りデゴザイマス、ソレデ今日此ノ通貨ニ對シテドウ云フ風ニ處置シテ行クカト云フコトニ付キマシテハ、品物ヲウント製造シテ之ヲ賄ツテ行ケバ茲ニ成立ツダラウト云フ議論モゴザイマスガ、他方ニ通貨ノ方面カラ見マシテ購買力ヲ何トカシテ吸收シテ行クト云フコトモ一ツノ考デアラウ、然ラバ即チ稅金ト云フ側カラ見マシタ時、此ノ「インフレ」防止使命ト云フモノハ可ナリ重大デアルト私共ハ思フノデゴザイマスガ、恐ラクハ今度ノ増稅ノ中ニハ十分ニ此ノ購買力ノ吸收ト云フコトガ織込マレテ居ルコトト私ハ存ジマスガ、政府ニ於ケレマシテ今度ノ増稅額ノ意味ノ中ニ購買力ノ吸收ト云フコトヲ御考ニナツテ居ラレルカ、此ノ點ヲ御尋致シテ置キタイ

○櫻内國務大臣 今回ノ増稅ガ「インフレ」

阻止ニ對シテ多少ノ貢獻ヲスルモノデア
ト固ク信ジテ居ルノデアリマス、今ノ御話ノ
購買力ノ吸收ノ點デアリマスガ、是ハ奢侈
品其ノ他ニ付テモ非常ニ比較的多クノ増税
ヲ致シテ居リマスシ、又遊興飲食税其ノ他
ニ對シマシテハ、他ノモノヨリ更ニ多クノ
増税ヲ致シテ居リマス、隨テサウ云フ方面
ノ金ヲモ相當程度吸收シ得ルモノト考ヘテ
居ルノデアリマシテ、今回ノ増税ノ結果ト
致シマシテ購買力吸收ニ多少ノ貢獻ヲスル
モノト私共ハ信ジテ居ルノデアリマス

○堀切委員長 尙ホ此ノ際申上ゲテ置キマ
ス、先程森田福市君ヨリ適當ナ時期ニ於テ
議事進行ノ發言ヲ求メラレテ居リマスカラ、
此ノ際ニ一ツ發言ヲ願ツテ置キマス

○森田委員 私人事務當局ニ御願ガアリマ
スガ、今日參考資料ノ要求ニ對シテ御配リ
ニナツタモノノ中デ「過去三箇年間分課税
決定ニ異議申立者ノ數等此參考トナル詳細
表」ト云フモノヲ戴イタノデアリマス、所
ガ昭和十一、十二、十三年度ノ三種ノ所
得税ノ異議申立ノ如キノ件數ハ、僅ニ昭和
十一年度ガ二百七十二件、昭和十二年度ガ
百九十六件、昭和十三年度ハ百五十六件ト
ナツテ居ルノデス、恐ラク是ハ一ツノ稅務
署ノミニ付テモ此ノ位ノ異議ノ申立ハア
ル筈デアリマス、恐ラク此ノ參考資料ヲ御
作リニナルノニ問合セガ面倒デアツタカラ
カ、或ハ手許ニ有合セノ御作リニナツタ
カ、是ハ稅務監督局ノ審查委員會ニ掛ケラ
レタ件數デヤナイカト私ハ思フ、私ノ御尋
シテ居ルノハ、ソレハソコニ行クマデニハ
御承知ノ通りニ異議ノ申立モ澤山稅務署ニ
出ル、スルト稅務當局ハ成ベク之ヲ審查委
員會ニ掛ケナイヤウナ手段トシテ、誤謬訂

正ヲヤツタリ、或ハ減損更訂デ協議ヲ整ヘ
タリ、或ハ翌年度ノ徵税ノ際ニ妥協ショウ
ト云フヤウナコトデ取下ゲタリスルノガ此
ノ件數ノ殆下大部分ナノデス、ガカラシテ
是デハ參考ニナラヌノデス、本當ニ異議ヲ
申立テタ人ノ數ヲ御調ベニナツテ御配リ願
ハヌト參考ニモ何ニモナリマセヌ、此ノ重
大法案ヲ審議スルノニハ、當局ハ斯ウ云フ
參考資料ノ請求ニ對シテハ親切ナ本當ナコ
トヲ打明ケテ貰ハヌト資料ニナリマセヌ、
恐ラク是ハ私ガ言フヤウニ審查委員會マデ
持込シタ件數ヲ御書キニナツタモノト私ハ
思フ、ドウゾ親切ニ本當ノモノヲ御出シ願
ヒタイト云フコトヲ御願申上ゲテ置クノデ
アリマス

○大矢政府委員 此ノ件數ハ仰セノ通り
審查請求ヲナシタモノデ、審查委員會ニ付
議シタ件數デゴザイマス、實ハ此ノ資料ヲ
出スニ當リマシテ、私ハ餘リニ其ノ件數ノ
少ナイノニ不審ヲ抱イテ色々聽イテ見タノ
デアリマスガ、結局一例ヲ舉ゲマスレバ、第
三種所得税ノ決定通知ヲ出シテソレガ納税
者ノ手許ニ行キマス云フト、色々不審ノ
點ガアルノデ、東京市內ノ稅務署ノ如キハ
毎日數百人ノ人ガ來テ色々説明ヲ聽イテ行
ク、斯ウ云フヤウナ狀況デアリマス、其
ノ中ニハ書面デ問合セテ來タリ、或ハ又正
式ノ異議申立ノヤウナ手續ニ依ツテ來テ
居ル者モアルヤウデアリマス、數ガ隨
分澤山アリマスガ、色々是ハ説明致シマ
シテ、諒解ヲ得テ取下ゲルナラ取下ゲル、
或ハ稅務署デ相當誤謬ヲ訂正モ致シテ居
リマス、サウ云フ風ニ致シテ居リマシ
テ、結局解決セズシテ正式ノ審查委員
會ニ持チ出サレタモノノ數サウデアリマ

シテ、或ハ斯ウ云フ風ナ資料ヲ當委員會ニ
御配リスルト今ノ御質疑ノヤウナ疑問ガア
リハシナイカ、モウ少シ適確ナル資料ガナ
イカト實ハ係ノ者ニモ再三念ヲ押シタノデ
アリマスケレドモ、如何センサウ云フモノ
ハ各稅務署カラモ各監督局ニ詳シイ報告ガ
行ツテ居ナイ、隨テ主稅局ニ參ツテ居ナイ、
斯ウ云フ譯デアリマシテ、主稅局ノ統計年
報ニ毎年出テ居ル件數ヲ其ノ儘差上ゲタノ
デアリマスカラドウゾ御承知ヲ願ヒマス

○森田委員 今ノ主稅局長サンノ御話ハ能
ク分ツテ居ルノデアリマスガ、私ハ異議ノ
申立ハ一應誤謬ノ訂正ヲスル、減損更訂ヲ
ヤルニセヨ、何レニシテモ一應異議ノ申立
ト云フモノヲ取ツテ、後ニ妥協ヲシテ異議ノ
申立ヲ返ヘス、其ノ異議ノ申立ニ於テハ、
稅務署ノ受付簿ニ受付番號モ書イテアリ、
日ニチモ記シテアリマスカラ、稅務署デハ
明瞭ニ分ツテ居リマス、若シ間ニ合ハヌト
スルナラバ致シ方アリマセヌガ、本當ニ參
考ニサセテ貰フナラバ其ノ方ヲ集メテ貰ヒ
タイ、是デハチツトモ參考ニナラヌ、私共
ノ程度ノモノデハ必要ガナイノデス、年報
ニ載ツテ居ル程度ノモノナラ、何モ主稅局
カラ御配リ願ハナクモ、御話ノ通り毎年
出テ居ル問題デアリマス、私ガ必要ダト云
フノハ異議ヲ申立タ書面デ宜シイ、口頭ハ
口頭デハ分リマスマイカラ、書面デ異議
ノ申立ヲシタ後ニ、今言フ各種ノ條件デ妥
協ヲシテ取下ゲラシタモノノ件數ノコトデ
ス、初メカラ是ハ審查委員會ニ要求シタル
調査表トハ私ハ申上ゲテ居ラス、ソレデア
ルカラ隨テ異議ノ申立ト申シタノデアリマ
スカラ、調べラレル限り御調べ願ツテ出來
ルダケ早く御願致シマス

○森委員 大藏大臣ノ此ノ委員會ニ於ケル
御演說ノ一節ニ、稅制ノ簡易化ヲ圖ツテ、
茲ニ簡易平明ノ稅制案ヲ得タト云フコトヲ
申サレテ居ルヤウニ記憶シマス、私ノヤウ
ナ素人カラ見ルト簡易化ドコロデアリマ
セヌ、從來ノモノカラ比ベルト地方々々デ
ナイカラ、尙ホ甚ダ難解ノ稅制ダト私ハ思
ヒマス、併シソレハモウ論ジマセヌ、兎ニ
角政府ノ方針ハ此ノ際ニ於テ簡易化スルト
云フコトニアルト云フコトデアラナラバ、
斯ウ云フ機會ニコソ多年國民一部ノ要求デ
アツタ所ノモノヲ具體化シテ、地租ト家屋
稅ト營業稅ト云フモノヲ地方ノ費用ニヤラ
ウトシテ、其ノ儘ニ向フニ與ヘラレルノデア
ルカラ、ナゼ此ノ機會ニ——國稅ト云フ名
ハ御取リニナツテモ宜イ、或ハ國稅ト云フ
名思フ、簡單ニ地方ヲシテ其ノ稅ヲ取ラシ
メテ、サウシテ地方ヲシテ之ヲ使用セシメ
ルト云フ方針ヲ御執リニナルノデアルカ、
一應國稅トシテ取ツテ、特別會計マデ設ケ
テ其ノ中ニ繰入レテ、又向フヘ持ツテ行ク
ト云フコトハ、私ハ簡易化ドコロデアナイ、
エライ複雑デアルト思ヒマス、是ハドウ云
フ譯デアリマスカ

○櫻内國務大臣 御承知ノ通り、之ニハ大體
最高限度ヲ付ケテ居リマシテ、國デヤリマシ
テ、地方々々ニ於テ自由ニ出來ナイヤウニ大
體ナツテ居ルノデアリマス、即チ中央ニ於
テ決メタラ、要スルニ附加稅トシテ縣ニ於
テソレト同額、市町村ニ於テ其ノ倍額マデ
取ル、斯ウ云フ基準ヲ置イタノデアリマス、
ソレカラ特別會計ヲ設ケマシテ、サウシテ
之ヲ更ニ分與スル還付並ニ配付スルト云フ
コトニ致シマシタノハ、年々殘金ノヤウナ

狀態ニナルコトヲ避ケタイ、或ハ地方々々ノ狀況ニ照シ合セテ、サウシテ所謂人口若クハ擔稅能力ト云フモノヲ見合ツテ、適正ニ配分ヲ致シマシテ、各地方民ノ負擔ノ公平ヲ期スルト云フ趣旨ニ於テヤツタノデアリマス

○森委員 私ハソレヲ御尋シテ居ルノデハナイノデス、地方ニ御與ヘニナル金ト云フモノハ、是ハ二色デ行ク譯デス、地租ト家屋稅ト營業稅ト云フモノハ、一旦國庫ニ取上ゲテ置イテ、ソレヲ其ノ儘元ノ府縣ニ御還シニナルノダカラ、サウナサナクテモ宜イデヤナイカ、強ヒテ特別會計ヲ設ケテヤリタイト云フコトナラバ、配付稅ノ方カラオヤリニナツタ宜イ、此ノ還付稅ノ方ハ還付ナドト云フ名ヲ御付ケニナラヌデオヤリニナツタ宜イ、併シ唯國稅トシテ之ヲ徵收シテ府縣ノ附加稅ヲ認メヨウト云ツタヤウナ形デオヤリニナツテ居レバ、ソレモ一ツノ方法デハアリマセウガ、ソレナラバ府縣ガ四ヲ取り、市町村ガ六ヲ取ルト云フヤウニスレバ初カラ簡單ニナル、何カ他ニモウ少シ理由ガアリマスカ

○櫻内國務大臣 詰リ課稅標準ヲ全國的ニ統一シテサウシテ負擔ノ衡平ヲ圖ルト云フ上ニ於テ國稅トシテ全國的ニ之ヲ統制シテ行クコトガ宜イ、斯ウ云フ譯デアリマシテ、地方々々ニ之ヲ委シテ置クト云フコトヨリハ、國ニ於テ之ヲ統制シテ負擔ノ公正ヲ圖ツテ行キタイ、斯ウ云フ意味デアリマス、當リ前ナラバ地方デ取ツテ來タモノヲ其ノ儘還ス以上ハ、サウ云フ手數ヲヤル必要ハナイヤウデアリマスガ、事實ニ於テハ國ニ於テ之ヲ纏メテ統制シテ行カウ、斯ウ云フ建前デアリマス

○堀切委員長 森君、大藏大臣ハ三十分バカリ時間ヲ頂戴シタイト言ツテ居リマスガ

○森委員 モウ大藏大臣ニハ二ツバカリデス、私共ドウモソレモ斷ニ落チマセス、全國的ニ之ヲ統一シテ行カウト、ソレハ出來ル筈デアリマス、チヤント一ツノ規定ヲ御定メニナツテ、賃賃價格ノ調査方法ヲ決メラレ、之ニ對スル課稅ノ率ヲ御決メニナツタ以上ニ伸ビチヤイカヌゾト云フコトヲ抑ヘテ行カレテ、ソレダケ取レト仰シヤレバ各府縣ニ於テソレヲ超エテ取ルモノハナイ、素レテ行ク筈ハナイ、又今日ノ地租ナリ、營業稅ナリ家屋稅ナリト云フモノハ、ソナニ他ノモノヲ支辨シテ餘リアルヤウナ澤山ノモノデヤナイ、同時ニ府縣ナドモ左様ナモノデヤアリマセウカラ、何モ強ヒテ國稅トシテ徵收シテ、國ノ方ヘ取ツテ、更ニ縣ニ還サナクテモ、今日ノヤウニ委任事務ト云フモノハドシノ思ヒ切ツテ町村ニマデオヤリニナツテ居ル時代デアリマスカラ、寧ろ其ノ例ヲ履ンデ徵收ヲ府縣ニ託シテ、取ツタモノヲ其ノ儘府縣デ使フヤウニナサレテモ何モ不便モナケレバ不利モナイ、サウシテ行ツタ方ガ稅制ノ恆久化ニ餘程宜イデヤナイカと思フノデアリマスガ、ドウ云フ譯デアリマスカ

○櫻内國務大臣 是ハ手續上ノ問題デ、先刻申上ゲマシタヤウニ一律ニ統制シテ、課稅標準ヲ統一シテ負擔ノ衡平ヲ圖ルト云フ趣旨デアリマスガ、是ハ技術上ノ問題ガアリマスカラ政府委員カラ御答致マシス

○大矢政府委員 此ノ三稅ヲ全ク地方ニ委シテ置キマス、課稅標準ノ調査決定ニ於テ全國的ニ均衡ヲ得難イ點ガアル、隨テソレガ分與稅ノ配分ノ場合モ各地方團體ノ財

政力ヲ測定スルニ支障ヲ來スト云フ虞ガアリマスカラ、課稅標準ノ全國的統一ノ必要上政府ニ於テ課稅標準ヲ調査決定シタイト云フコトヲ考ヘタノガ一ツデアリマス、ソレカラ地租ニ於キマシテハ、特ニ地籍事務ト云フ大切ナ事務ガアリマシテ、是ハ獨リ徵稅ノ仕事バカリデハゴザイマセス、別ノ仕事ヲ持つテ居ル、重要ナ仕事デ、是ハ長年ノ間稅務署ニ於テヤツテ居ルコトデ價レテ居リマスカラ、是モ國ニ於テ課稅標準ヲ決定スル以上ハ、從來通り地籍ノ事務ハ稅務署ニ於テヤツタ方ガ宜カラウト、斯ウ考ヘタ次第デゴザイマス、隨テ是等地籍事務ノ整備、課稅標準ノ決定等ヲ致シテ居リマス關係上、地租ノ徵收事務ノ一部モヤハリ併セテヤツタ方ガ現實ノ事務ノ實際カラ云ツテ適切ニ行ク點ガアルト、斯ウ云フ風ニ考ヘタ次第デアリマス、一面ニ於キマシテ國稅ト致シマシテ居ルノト、地方稅ト致シテ居ルノト、是ハ一ツノ傳統的ノモノカ知リマセウガ、納稅者ノ心理狀態ニモ自ラ異ナル所ガアルノデヤナカラウカ、稅務ノ莊重性ト申シマス、其ノ點ニ於キマシテモ、私ハ納稅者ノ心理カラ言ツテ寧ろ一部ヲ國稅トシテ徵收シタ方ガ徵收ノ狀況、納付ノ狀況カラ云ツテ好結果ヲ得ラレルノデハナカラウカ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル次第デゴザイマス

○森委員 大藏大臣ノ之ニ關スル答辯ハ事務ノ方ニ御讓リニナリマシタカラ、此ノ問題ハ未決ノ儘後ニ主稅局長ニ御尋致シマス

モウ一ツ大藏大臣ニ御尋致シマス、相續稅ノ問題デアリマスガ、今回ノ相續稅ノ制度、アノ制度ニ依ツテ御徵收ニナリマス、一人ノ甲ナル者ガアツテ、死亡ヲシテソレ

ガ推定家督相續人ニ相續サセルコトニナル、其ノ場合ニ五十萬圓ナリ、二十萬圓ナリ現金デ其ノ儘持ツテ居ルト假定シマス、サウシテ之ニ相續稅ヲ課ケテ參リマス、高イ所デハ約三割ヲ超ユル稅ニナリマシテ、此ノ金ヲ持つテ居ツテ出ス人ハ、其ノ儘百萬圓持つテ居ツテ、三十萬圓稅金ヲ納メテ、アト七十萬圓殘スト宜イヤウナモノデスガ、相續財產ト云フモノハ、概ネ金ト云フヨリハ寧ろ物デアル、家デアリ、土地デアリ、其ノ他ノ株券デアルトカト云フヤウナ品物デアル、サウ云フモノデアルモノニ、政府ノ方デハ總テ評價シテ之ニ課稅ヲサレルト云フコトデアルカラ、實際上五十萬圓ノ値打ヨリナイ物デモ、評價ニ於テ百萬圓ト決定サレバソレバ納メナケレバナラヌ、斯ウ云フコトデ參リマス、一寸勘定シテモ三遍續イテ行ケバモウ其ノ家ハ潰レルト云フ結果ニナル、昔カラ長者三代續カズト云フケレドモ、實際潰レルカモ知レマセウ、我國ニ於テハ最モ必要ナルモノハ家族制度デアルト私ハ思ツテ居リマス、此ノ家族制度ノ尊重コソ今日ニ於テ最モ必要ナルコトデアルト思フ、特ニ見様ニ依ツテハ所謂家族制度ノ取潰シニ類スルヤウナ重稅ヲ課セナケレバナラヌト云フノハ、ドウ云フ譯デアルカ、縱シソレガ佛蘭西ヤ英吉利ニ流行シテ居ルトハ言ヘ、我國ト佛蘭西ヤ英吉利ヤ獨逸トハ立場ガ違フ、歴史ガ違フ、國民性ガ違フ、ドウ云フ譯デアリマス

ソレニ附加ヘテモウ一ツ伺ツテ置キタイコトハ、私ハズツ以前、濱口内閣ノ時デアツタカ、家屋稅ノ問題ガ出テ參リマシタ時分ニモ、卑見ヲ申述ベタ事ガアリマス

ガ、殊ニ我國ノ農山漁村ニ於ケル國民ノ頭
ニアル觀念のナ家ト、形ヲ備ヘタ邸宅トノ
間ニハ區別ガナシ、祖先ノ祭ト我家トハ
同ジヤウニ見テ居ル、サウシテ其ノ家ハ、
自分ガ贅澤ニ建築シタト云フ者モ中ニハア
リマセウケレドモ、多クノ者ハ何代カ續イ
テ持ツテ居ル家デアリマス、斯ウシテ者ニ
マデ、是非トモ租稅ヲ課ケナケレバナラヌ
カ、理窟ハ課ケル方ガ理窟デアリマセウ
ガ、家族制度ノ關係其ノ他ヲ考ヘルナラバ、
農山漁村ニ於ケル家屋稅ナドハ、寧ロヤラ
ナイ方ガ宜イノデハナイカ、私ハ斯ウ云フ
考ヲ、家族制度維持ノ關係カラ、地方的ニ
考ヘテ居ルノデアリマスガ、大藏大臣ノ御
所見ヲ承リタイ

○櫻内國務大臣 家族制度ヲ尊重スル我ガ
國體ト致シマシテハ、出來ルダケ此ノ相續
稅ノ問題ニ付テハ、考慮ヲ拂フベキ必要ガ
アルト思ヒマス、併シナガラ今日ノ國情カ
ラ申シマス、資產ノアル人ガ多少ノ負擔
ヲスルト云フ事柄ハ、已ムヲ得ザルコトデ
アルト思ヒマス、今回ノ増徴ガ約二三割程
度増徴ニナルノデアリマセウガ、其ノ稅ノ
増徴セラレタ範圍ニ付テ考ヘテ見マス、
マア五千圓乃至一萬圓程度ノ資產ヲ持ツ
テ居ル人ハ、恐ラク一%、百分ノ一位ノ稅金デア
リマス、ソレカラ十萬圓程度デ四%ノ稅金デア
リマス、四十萬圓程度ノ財產ノアル人デ、
初メテ一割ノ稅金ヲ負擔スルコトトナルノ
デアリマス、殊ニ更ニ家族控除ト云フ方法
ヲ以チマシテ、家族一人ニ對シテ千圓程度
ヲ控除スル所ノ途ヲ開イデアリマス、即チ
一萬圓程度ニ於テ一%ト云フヤウナ負擔ハ
シテ戴イテ宜イノデハナイカ、斯ウ云フ風ニ
考ヘラレルノデアリマス、殊ニ今ノ御話ノ

通り、現金ヲ持ツテ居ル資產者ガ、相續稅
ヲ拂フ場合ニハ、簡單デアアルガ、山林其ノ
他ヲ持ツテ居ル人ハドウデアアルカ、甚ダ困
ツタ狀態ニナルノデハナイカト云フ御話デ
アリマスガ、之ニ付テハ延納ノ制度ヲ設ケ
マシテ、大體ニ於テ長年ニ亙ツテ納付スル
ト云フ譯デアリマスカラ、ソレモ大シテ今
日以上不便ニナルト云フコトハ考ヘナイノ
デアリマス、或ハ物納ト云フ問題モ起ツ
テ、稅制調査會邊リニ於テモ種々研究サレ
タサウデアリマスガ、兎ニ角資產家カラ此
ノ程度ノ狀態デ出シテ貫フコト云フコトニ付
キマシテハ、マア宜イノデハナイカ、斯ウ
云フコトガ考ヘラレルノデアリマス

○森委員 此ノ問題ニ付テノ御答ハマダ滿
足致シマセウガ、此ノ程度ニ止メテ置キマ
ス、所得稅ノ問題デアリマスガ、不動産所
得ノ場合ニハ、百圓ヲ超エザルモノニハ課
稅セズト云フコトニナツテ居ル、是ハ基礎
控除ニサレルニシテモトナラニシテモ大シ
タコトハナイ、其ノ點ハドウデモ宜イトシ
テ、兎ニ角百圓マデ課稅シナイ、事業所得
ニ付テハ四百圓、勤勞所得ニ付テハ六百圓
ヲ控除スル、斯ウ云フコトニナツテ居リマ
スガ、此ノ控除若クハ不課稅ノ限度ヲ決メ
ラレタ目標ハ何處ニアルノデアリマスカ
ラ手續ノ方ガ主タル問題デアルト思ヒマス、

アトノ事業所得ト勤勞所得トノ關係ハ、事
業所得ニ付テハ要スルニ資本關係ガ幾分か
入ツテ來ルト思ヒマス、隨テ資本利得ニ依
ツテ得タル所得ニ對スル課稅ノ方ハ、
少シ多ク見テ宜カラウ、勤勞ノ方ハ即チ言
フマデモナク、働イテ食フノデアリマスガ
故ニ、其ノ點ハ一番考慮ヲ拂ハナケレバナ
ラス點デアアル、斯ウ云フ見地カラ致シマシ
テ勤勞所得ニ對シマシテハ六百圓ヲ控除ス
ル、ソレカラ事業所得ニ對シテハ四百圓ヲ
控除スル、斯ウ云フ風ニ決メタノデアリマ
ス

○森委員 此ノ問題ニ付テノ御答ハマダ滿
足致シマセウガ、此ノ程度ニ止メテ置キマ
ス、所得稅ノ問題デアリマスガ、不動産所
得ノ場合ニハ、百圓ヲ超エザルモノニハ課
稅セズト云フコトニナツテ居ル、是ハ基礎
控除ニサレルニシテモトナラニシテモ大シ
タコトハナイ、其ノ點ハドウデモ宜イトシ
テ、兎ニ角百圓マデ課稅シナイ、事業所得
ニ付テハ四百圓、勤勞所得ニ付テハ六百圓
ヲ控除スル、斯ウ云フコトニナツテ居リマ
スガ、此ノ控除若クハ不課稅ノ限度ヲ決メ
ラレタ目標ハ何處ニアルノデアリマスカ
ラ手續ノ方ガ主タル問題デアルト思ヒマス、

○森委員 ソレダストルト六百圓ト云ヘ
バ、十二箇月ニ割ツテ、一箇月五十圓ナ
デスガ、其ノ程度ノ人ダケヲ免稅シテ置ケ
バ、ソレデ宜シイト云フ御見込ガアルノデア
リマスガ、少クトモ勤勞所得者ニ於テハア
ルノデアアルカ、サウ云フ意味デアリマセ
ヌカ

○櫻内國務大臣 月ニ五十圓程度ノ人ニ課
稅ヲ致スト云フコトハ、其ノ負擔力ガ少イ
ノデアリマシテ、其ノ生活上ニ於テモ非常
ニ困ラレル、サウ云フ點カラ之ヲ控除致シ
タノデアリマス、果シテ從來ハ千圓以下ハ
免稅サレテ居ツタノヲ、何故ニ六百圓ニ下
ダカト申シマス、ソレハ要スルニ大衆ニ
於テヤハリ多少デモ斯ウ云フ機會ニ於テ負
擔ヲシテ戴クコトガ適當デアルト云フコト
ヲ考ヘマス同時ニ、ソレ等ノ人々ニ付キ
マシテモ、種々ナル除外例ヲ設ケマシテ、
家族控除ナドニ付テモ、從來ノ率ヨリハ多
ク致スコトニシマシテ、大體ニ於テ千圓以下
ノ人デ家族ノアル人ハ、サウ大シタ相違ガ
ナイト云フ程度ニ、目標ヲ置イテ決メタ譯
デアリマス

○森委員 昨今官吏其ノ他ノ給料生活者ノ
生活ト云フコトガ問題ト相成ツテ、俸給ノ
値上ヲスルカ、手當ヲ如何ニスルカト云フ
コトガ大きな問題トナリ、政府ノ皆サント
シテハ、上ガテハナラヌ、九・一八ト云フヤ
ウナコトヲ言ツテ抑ヘテ行カレル、其ノ爲
ニ國民ハ悲鳴ヲ上ゲルト云フノデ、最近ニ
色々御研究ノ結果、何程カノ手當ヲ與ヘル
ト云フコトニオヤリニナツタト云フコトガ
講ゼラレタ、又是ハ政府カラモ御聲明ニナ
ツタヤウダカラ其ノ通りデアリマセウ、サ
ウスルト七十圓程度ノ人デサヘモ生活ガ脅

威サレル、アノ手當ノ二圓ナント云フノハ問題ニナラヌデセウ、併シソレデモヤラヌヨリハ宜イダラウカラ、姑ク措クトシテ、サウ云フ時代ニ如何ニ負擔ノ普通化ヲ圖ルトハ言ヒナガラ、六百圓ノ人マデ増稅ノ案ニ入レナケレバナラヌト云フ理由ハナイヤウニ私ハ思フ、諸種ノ控除ガアルト仰シヤイマスガ、恐ラクハ七十圓ヲ給テ取ツテ居ル人ニモ同ジ控除ハアリマセウ、ソレト是トハ別問題デス、斯ウマデシナケレバナラヌ程國家ハ窮迫シテ居ルカト云フコトマデモ私ハ人ニ疑ハレルト思フ、普通化ハ宜シイケレドモ、餘リニ下ニ下リ過ギテ小所得者ノ生活ヲ脅威スルコトナリハシナイカ、其ノ點御懸念ニナリマセヌカ

○櫻内國務大臣 今回七十圓以下ノ人ニ對シテ二圓ノ手當ヲスル、是ハヤハリ家族手當デアリマス、家族ノ多イ人ガヤリ切レヌト云フ點ヲ考ヘマシテ行ツタノデアリマス、ソレデ七十圓程度ノ人デ家族ガアリマス場合ニハ、大體私ハ今回ハ免稅ニナルト思ヒマス、唯獨身ノ人デ六百圓以上ノ人ハヤハリ六百圓ヲ除イタ殘額ニ對シテ負擔ヲシテ戴クコトニナルノデアリマス、假ニ七十圓ト致シマスト年八百四十圓ニナリマスガ、即チ二百四十圓ニ對シテ負擔ヲシテ戴クノデアリマスカラ、サウ大シタ金額ニハナラヌト思ヒマス、若シ八百四十圓ノ場合ニ於テ家族ガ一人アツタト假定スレバ、凡ソ四十圓ニ對シテ課稅サレルノデアリマスカラ、モウ極メテ輕微ナモノニナリマス、假リニ是ガ百圓ノ人デアツタ場合ニ於テ、今日本全國ノ家族ノ人數ノ平均ハ三人位デアリマスガ、今度ハ妻マデ入レマシタカラ、妻マデ入レルト三人以上ニナルノデアリマス

ガ、三人ガ二百圓ヅツト見マスト六百圓、ソレニ六百圓加ハリマスカラ千二百圓マデハ免稅ニナルヤウナ結果ニ大體ガナルダラウト思ヒマス、隨ヒマシテ獨身ノ人デモ働イテ居ラレル方ハ八百圓ニナレバ二百圓ニ對シテダケ稅ヲ負擔シテ戴カナケレバナラヌコトニナリマスケレドモ、大體大衆ノ上ニ於テハ先ヅ負擔ノシ切レナイ程度デハナカラウト、斯様ニ信ジテ居リマス

○森委員 私ハ控除其ノ他ニ依ツテ負擔ガドウナルカ、負擔ノ重イ、輕イト云フコトヨリモ、斯様ナ生活狀態ノ人ニマデ國稅ノ負擔ヲサセナケレバナラヌ國情デアリマス、是程マデニオヤリニナラナクテモ國家ハマダ安泰ニ歩イテ行ク途ガアルノデアリマセヌカ、ソレヲ所謂負擔分任トハ言ハナイデ、普通化ト仰シヤルカモ知レマセヌガ、兎ニ角國家ノ負擔ノ一部ヲ負擔セシメヨウト云フ算盤ヲ立テテ、其ノ割出シカラ是非斯ウシテヤツテ行カナケレバナラヌト云ツテ免稅點ヲ下ゲル、若シクハ控除率ガ違フト仰シヤツテモ、兎ニ角六百圓以上ノ者ニハ稅金ガ課カルト見ナケレバナラヌ、ナゼ六百圓ト云フヤウナコトニ御止メニナツタノカト云フコト、ソレカラ如何ニ不動産ノ所得者ト云フモノニ致シマシテモ、百圓ノモノマデ課稅シナイト云フコトハ一體何ノ役ニ立ツノカ、事務上ノコトハ説明書ニモ書イテアリマスケレドモ、私共ハ必ズシモ事務上ノコトバカリデハナイ、何モ之ヲ課ケル上ニ於テサウ事務ノ方ガ違フトハ思ハヌ、課ケルナラ課ケラドウカ、併シ一樣ニ斯ウ云フ生活狀態ノコトマデモ考ヘテ、成ベク無理ガ行カナイヤウニト云フノデ控除點ヲ御設ケニナルナラバ、所得

稅モ事業所得モ、勤勞所得モ、只今ノ不動産所得モ皆六百圓ナラ六百圓ニ御切リニナツテ行クト云フコトノ方ガ却テ宜シクハナイカ、私ハ六百圓デ足リスト思ヒマスケレドモ、ソレデ足リルトシテモ三ツニ分ケル必要ハナイデヤナイカ、此ノ最低度ノ生活ヲヤツテ居ル人ハ、ソレガ土地持チデアラウト、ソレガ營業者デアラウト、サウ贅澤ヲシテ居ルノデハナイ、ヤツトヤツテ居ルノデアル、其ノ程度ハ勤勞所得者ト變リハナイ、其ノ點ヲ御説明願ヒタイ

○櫻内國務大臣 六百圓ニ下ゲマシタ點ニ付キマシテハ、稅收ノ關係モアリマスガ、ヤハリ斯ウ云フ事態ニ於キマシテ國民全體ニ於テ、大衆ニ於テ多少デモ負擔ヲシテ戴クト云フ事柄ハ、即チ全部ノ人ガ國民トシテ任務ヲ盡スト云フ上カラモ或ハ認メテ貰フコトガ出來ルデヤナイカト考ヘタノデアリマス、總テノモノノ控除ヲ一律ニシタラ宜イデヤナイカト云フ御話デアリマスガ、今回ノ稅ノ建前デハ負擔ノ公平ヲ期スル上カラ要スルニ負擔力ノ多イモノカラ多ク取ツテ、負擔力ノ少イ方カラ小額ノ負擔ヲシテ貰フト云フ建前デアリマシテ、此ノ不動産所得ハ財產カラ出ル所ノ利得デアリマス、ソレカラ勤勞所得ハ自ラ働イテ其ノ働キニ依ツテ得ル所ノ收入デアリマス、ソレカラ營業所得ノ中ニハ其ノ財產カラ生ズル利得ト勤勞ニ依ツテ生ズル利得ト二ツ合セタモノガ含マレテ居ルノデアリマス、即チ其ノ點ニ於テ不動産所得者ト、ソレカラ勤勞所得者ト、事業所得者トノ間ニ、多少ノ控除率ノ區分ガアツテモ然レバシト考ヘテ斯様ニ決定致シタヤウナ譯デアリマス

ケレドモ、大藏大臣御急ギノヤウデアリマスカラ、此ノ點デ大藏大臣ニ對スル質疑ハ止メマス

尙ホ續イデ、是ハ手續ノコトニナリマセウガ、主稅局長ニ御尋致シタイト思ヒマス、扶養家族ノ控除、アレハ從來所得ノ方デ控除シテ居ラレタデスガ、今度ハソレヲ稅額ノ方デ控除スルコトニ變ヘタヤウデアリマスガ、是ハドウ云フ譯デアリマス

○大矢政府委員 當初稅制調査會ニ主稅局試案トシテ提出致シマシタモノニ於キマシテハ、從來通り所得額カラ控除スルト云フ案デゴザイマシタ、從來扶養家族一人ニ付百圓控除シテ居タノヲ五割方擴大致シマシテ一人ニ付五百五十圓控除シヨウ、斯ウ云フ案デアツタノデゴザイマス、而シテ主稅局試案ニ於キマシテハ扶養家族ノ控除ハ事業所得ト勤勞所得ニ付テダケ見ヨウ、不動産所得ハ純粹ノ資產所得デ負擔力モ強イモノデアルカラ、扶養家族ノ控除ヲシナクテモ宜イデハナラカラウカ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居タノデアリマスガ、稅制調査會ニ於キマシテ大多數ノ御意見ハ我國農村ノ實情カラ見テ、不動産所得ニ付テモ扶養家族ノ控除ハ認メル必要ガアル、斯ウ云フコトデアツタノデアリマス、隨ヒマシテ最終ニ決定スル場合ニハ此ノ意見ニ基キマシテ不動産所得ニ付テモ扶養家族ノ控除ヲ認メルコトニ致シタ次第デアリマス、ソコデ不動産所得ナラ不動産所得、勤勞所得ナラ勤勞所得、ソレノミヲ持ツテ居ル人ニ付テハ何等面倒ハナイノデアリマスケレドモ、同一人ニ於テ不動産所得ヲ持ツテ居リ、勤勞所得ヲ持ツテ居ル、或ハ又更ニ事業所得マデモ持ツテ居ルヤウナ場合ニ於キマシテハ、其ノ百五十圓ノ控除ト云フモノ

ヲドノ所得カラスノカト云フノガ問題ニ
ナツテ來ルノデアリマス、從來ノ第三種所
得稅ニ於キマシテハ、所得ノ種類ニ依ツテ
別ニ稅率ノ差等ガナカツタノデアリマスガ
ラ宜シウゴザイマスガ、今度ノ分類所得
稅ニ於キマシテハ、所得ノ種類ニ依ツテ稅
率ガソレノ違ツテ居ル、隨テ同ジク百五
十圓控除致シマシテモ、稅額ニ於キマシテ
ハ不動産所得ノ場合ト、勤勞所得ノ場合ト、
事業所得ノ場合ト、ソレノ違フノデアリ
マスカラ、ドノ所得カラ百五十圓控除スル
カト云フコトハ餘程大キナ關係ガ出テ來ル
ノデアリマス、實際問題トシテ、是等數種
ノ所得ヲ併有シテ居ル場合ニ付キマシテ、
所得金額カラ控除スルコト云フノハ非常ニ煩瑣ナ
手數ヲ要シマスルノデ、再考致シマシタ結
果、百五十圓ニ對シテ各分類所得ノ稅率百
分ノ一〇、百分ノ八・五、百分ノ七・五、百
分ノ六ノ平均ニ近イ百分ノ八ト云フモノヲ
乘ジテ得タル額、即チ十二圓ヲ稅額カラ控除
スル、斯ウ云フ風ニ致シマスレバ、數種ノ
所得ヲ併有スル者ニ付テモ極メテ手續ガ
簡單ニナリ、納稅者ノ方ニ於キマシテモ幾
ラ控除サレルト云フコトガハツキリシテ來
ル、斯ウ云フコトニナリマス、又サウ改メ
ル結果ト致シマシテ、負擔力ノ最モ少イ勤
勞所得ニ於キマシテハ、所得金額カラ二百
圓引カレルト云フ結果ニナリマシテ、負擔
ノ事情カラ見テモ、寧ロ其ノ方ガ適當ダラ
ウ、斯ウ云フ風ニ考ヘマシテ、稅額控除ニ改
メタ次第デアリマス

○森委員 此ノ控除ノ申請ハ、假ニ勤勞所
得ヲ持ツテ居ル、不動産所得ヲ持ツテ居ル、
事業所得ヲ持ツテ居ル、サウ云フモノノ中
源泉課稅ヲスルモノガ三ツモ四ツモアルト

假定シタ時ニ、ドレニ付テ控除ヲ申請スレ
バ宜イコトニナリマスガ、何カ參考書ヲ御
出シニナツタヤウデアリマスガ、讀ム暇ガ
アリマセヌデシタカラ、御答願ヒマス

○大矢政府委員 源泉課稅ヲ致スモノノ
中、配當利子所得ニ付テハ扶養家族ノ控除
ハ認メテ居リマセヌ、結局勤勞所得ニ於テ
源泉課稅ヲスルモノト、ソレカラ事業所得、
不動産所得ヲ併セテ持ツテ居ル場合ニドウス
ルカト云フ問題ガ起ルト存ジマス、此ノ時
ニ於キマシテハ大體ニ於テ納稅者ノ申請ニ
依ルノデアリマスガ、勤勞所得ノ方カラデ
モ、又ハ事業所得ノ方カラデモ引クト云フ
風ニ致シタイト存ジテ居リマス、即チ是ハ
納稅者ノ選擇ニ依リマシテ、寧ロ自分ハ賦
課課稅ヲ受ケル方面カラ引イテ貰ヒタイト
云フコトデアレバ、ソレヲ認メル積リデゴ
ザイマス

○森委員 物品稅ノ問題デアリマスルガ、
物品稅ヲ今度新稅目トシテ御取入レニナツ
タヤウデアリマスガ、昨年モ一寸申上ダマ
シタガ、是ハ物品稅ダラウト思ヒマスガ、
兎ニ角今日必要デナイモノト思ハレルアノ
花環ト云フモノヲラスツカリ御取除ケニナツ
テ、御入レニナラナカツタヤウデアリマス
ガ、アレハドウ云フモノデスカ、殊ニ花環
ニ課稅スルトシタナラバ、ドレ位ノ稅額ガ
取レマスカ御伺致シマス

○大矢政府委員 葬式ノ場合ノ花環ニ付キ
マシテハ、昨年稅制委員會ニ於キマシテ御
說ガゴザイマシテ、私共十分考究シテ見タ
ノデゴザイマスガ、結論ト致シマシテ、人
ノ不幸ノ場合ニ、其ノ靈魂ヲ慰メル趣旨ニ
於キマシテ贈物スルモノニマデ物品稅ヲ課
稅スルノハ如何ダラウカ、斯ウ云フノガ根

本的ノ考デアリマシテ、此ノ度ハ之ヲ採用
スルノヲ見合セタ次第デアリマス、金額ガ
幾ラニナルカト云フコトハ實ハ餘リ詳シイ
調べハゴザイマセヌ、近頃ハ不幸ノ場合ニ
於キマシテモ、時局柄出來ルダケ花環ノ如
キハ遠慮シタイト云フコトヲ申出テ居ル人
モ相當アルヤウデアリマスカラ、或ハ將來
ニ於キマシテハ、從來ト多少異ツテ來ル點
モアラウカト存ジテ居リマス

○森委員 此ハ必ズシモソレハ葬儀ニノミ
使フモノト思ツテ居リマセヌ、現在ノ日本
ノ狀態デハ、慶弔共ニ之ヲ贈ル、左様ナ風
習ハ段々増シテ行キ、田舎ニマデ入り込
ンデ來テ、貰ツタモノハ始末ニ負ヘヌト云フ
ノデ困ツテ居ル、而モ是ハ何ニモナラヌ、
物ニ依ツテハ、人絹ヤ其ノ他羽二重ナド使
ツテアリマスカラ、使ヘマセウガ、多ク贈
物ニドン／＼贈ツテ來ルモノハ皆紙切レデ
アルカラ、使ツテシマツタラ何ニモナラヌ、
斯ウ云フモノヲ強ヒテヤル必要ハナイ、私
ハ慶弔ニ對シテ、五ニ相慶弔シ合フコトガ
イヤダト云フノデヤナイ、ソレヲヤルナラ
バ金デ以テヤル、金ナラバチヤント動イデ
行ケカラ役ニ立ツ、此ノ資材ノ足りナイ場
合ニ、斯様ナモノノ消費ハ御廢メニナツテ
宜イデハアリマセヌカ、唯昨年ハ私ハ軍人
ノ關係モアルカラト仰シヤツタカラ、ソレ
ナラ軍人ダケ御除ケニナツタラ宜カラウ、
ソレ位ノコトハ宜カラウト私ハ申上ダタ、
是ハ段々華美ヲ競フヤウニナツテ、昨今ノ
ヤウナ情勢デ行クト、花環ノ山ヲ爲スニ至
ルデアラウト思フ、併シ是ハ議論ハ致シマ
セヌ

モウ一ツ伺ヒマスガ、六百圓ノ基礎控除
ヲヤツテ、後ニ殘レルモノニ課スル稅額ト

云フモノハ非常ニ小サイモノガ出テ來ルト
思ヒマスガ、端金ナドガ出テ來タラドウナ
リマスガ、何錢何厘ト云フヤウナモノガ出
テ來ハシマセヌカ

○大矢政府委員 現在國庫出納金端數計算
法ト云フ法律ガゴザイマシテ、其ノ第二條
カニ依リマシテ、課稅標準ニ付キマシテ一
圓未滿ノ端數ガ出テ來タ場合ニハ、其ノ端
數ハ切捨テルコトガ出來ル、其ノ稅ノ種目
ハ命令デ指定スル、斯ウ云フコトニナツテ居
リマスノデ、或ハ此ノ命令ノ中ニ挿入致シ
マシテ、極メテ小額ナ分類所得稅ヲ源泉デ
徵收スルト云フヤウナコトハ避ケタラバト
考ヘテ居リマス

○森委員 先般此ノ席デノ御說明ニ、國債
其ノ他無記名債券ノ利子ノ問題ト課稅ノ問
題ノ時ニ、利子受領票ト云フモノヲ徵シテ
行クト云フ御話ガアツタノデスカ、若シソ
レヲ御取リニナルト云フコトデアラナラ
バ、是ハドウ云フ法律ノ根據ニ依ツテデア
リマスカ

〔委員長退席、小山委員長代理著席〕

○大矢政府委員 所得稅法ノ中ニ第七十八
條デ是等ノ告知義務ヲ規定ジ、又第八十條
デ利子支拂者ニ付キマシテ、命令ノ定ムル
所ニ依リ支拂調書ヲ提出スル義務ヲ負ハシ
テ居ルノデアリマス、何レモ其ノ詳細ハ命
令ヲ以テ定メルコトトナツテ居リマス

○森委員 內務大臣ニ御尋致シタイト思ヒ
マスガ、市町村民稅デアリマス、先程ノ御
說明ニモアツタノカモ知レマセヌガ、聽漏
ラシマシタ、全國ニ於ケル市町村民稅ノ賦
課總額ハ大體下ノ見當ニ御覽ニナツテ居ル
ノカ、更ニ其ノ中市ニ對スルモノガ幾ラニ
ナツテ居リマスガ、町村ノ方ハ幾ラニナツ

テ居リマス

○兒玉國務大臣 總額ハ五千万圓ト見積ツテ居リマス、今ドノ位ノ區分ニナツテ居リマスカ、政府委員カラ……

○扶間政府委員 稅額ハ今團體別ノハ調ベテ居リマスカラ、後刻御報告申上ゲマス

○森委員 是ハ文部省ノ關係ニ相成リマセウケレドモ、內務大臣ハ國務大臣トシテ御答出來ルト思ヒマスカラ伺ヒマスガ、教員俸給ダケヲ府縣ノ支辨ニ移サレテ、其ノ他ノ事務ハ現在ノ儘町村役場ヘ御殘シニナルガラウト思ヒマスガ、サウ云フ區別ヲ御立テニナル必要ガアルデアリマセウカ、教員俸給、教員ニ關スル事務全部ヲ府縣ノ方ヘ御移シニナルナラバ、其ノ機會ニ町村事務委任ト云フモノヲ御撤廢ニナル譯ニハ參リマセスカ

○兒玉國務大臣 文部大臣ガ見エテ更ニ詳細ク御説明申上ゲルカモ知レマセスガ、從來市町村デ最モ負擔ノ重ク感じテ居ルモノハ御承知ノヤウニ教育費デアリマス、隨ヒマシテ此ノ教育費ヲ府縣ノ方ニ移シマシテ俸給ノ支拂ヲ潤澤ナラシメルト云フ意味合デアリマス、此ノ小學教育ノ方ハ町村ト密接ナル關係ガアリマスノデ、之ヲ今府縣ニ取上ゲルト云フコトヨリハ、寧ロ町村ヘ置イテ從來通りニヤラシテ居ル方ガ地方ノ民情ニモ合シ、其ノ方ガ適當デハナイデアラウカ、斯ウ思ツテ現在ノ儘トシテ置クコトニナツテ居ルモノト考ヘマス

○森委員 今町村ノ方ニ於テハ國ノ委任事務ニ非常ニ弱ツテ居ル、是ハ內務大臣トシテモ特ニ御承知ノ筈デアル、ソレニ近頃、幾ラカノ助成費ヲ御與ヘニナツテ書記一名カ二名ヲ置カシメテ居ラレマスガ、左様ナコト

デ賄ヘル情勢デハナイ、今ヤ地方自治體ノ本然ノ事務ハソツチ除ケニシテ、全ク國ノ小使ニナツテ委任事務ノ爲ニバカリ働イテ居ルト云フ狀況ナデス、其ノ時ニ教員ノ支配權ト云フモノヲ府縣廳ニ與ヘ、更ニ此ノ教員俸給ノ問題マデモ舉ゲテ府縣廳ニ委シテ、ウルサイ後ノガラクタノ事務ト、サウシテ校舎其ノ他ノ建築負擔ノ問題ダケヲ町村ニ殘シテ置カレルト云フコトハ、私ハドウモ其ノ當ヲ得ナイト思フ、若シ今內務大臣ノ御話ニナツタヤウニ町村ト密接ナル關係ガアルト仰シヤルナラバ、是ハ教員ノ支配權ト言ヘバワカシイガ、モツト密接ナル關係ヲ持テルヤウニ町村ト教員トヲ結び付ケニナリ、而シテ今ノ租稅ノ配付モソレニ應ジテオヤリニナルコトニ依ツテ、義務教育費ノ此ノ教員ノ俸給額ハ全部市町村デ支拂フヤウニナスツタ方ガ餘程宜イト思フ、ソレガイケナイ、國家事務ダト仰シヤルナラ、全部根コソギ町村カラ御取リニナツタ方ガ簡單明瞭ダ、斯ウ思フノデアリマスガ……

○兒玉國務大臣 大體市町村ノ方ノ財政ノ模様ヲ見マスルト、今度ノ改正ニ依リマシテ、中々今ノ教員俸給マデモ持つテ行クト云フコトハ困難ナヤウニ感じテ居リマスシ又市町村ニ依リマシテハ教員俸給ノ支拂等ニ付テモ色々ノ問題モアリマスノデ、寧ロ是ハ府縣ニ移シタ方ガ教員優遇ノ途ヲ講ズル所以ニモナルデアラウ、唯其ノ事務ソレ自身ハ只今申上ゲマシタ通り町村ト密接ナル關係ガアルカラ、此ノ方ハ町村ニ於テ世話ヲシテ貰フ方ガ今日ノ實情ニ適シテ居ラウ、國ノ委任事務ガ殖エテ町村ガ困ツテ居ルト云フコトハ事實ダト思ヒマス、併シ國ノ委任事務デハアリマスルケレドモ、

一面ニ於テハヤハリ町村ト密接ナル關係ガアル事務ヲ處理スルコトニ相成ツテ居リマスルノデ、之ヲ全然切離シテシマフト云フ事柄ハ、事實困難ナコトガラウト思フノデアリマスルガ、今回ノ稅制ニ依リマシテ、幾ラカソレ等ノ點ニ付テ、極ク貧弱ナル町村ニ於キマシテハ相當財源ガ付與サレルヤウナ譯ニナリマスカラ、其ノ點ニ於テモ幾ラカ優遇ノ途ヲ講ゼラレマセウシ、又本年ノ豫算ニ於テ御審議ヲ願ツテ居リマスル市町村ノ吏員増加モ出來得ルト云フコトニナリマスレバ、市町村ノ仕事ハ從來ヨリハ幾ラカ樂ニナツテ行クノデハナイガラウカ、サバト言ツテ町村ガ非常ニ忙シクナリ、又將來トモ忙シクナルト云フ事柄ハ、十分認メテ居ル次第ナラデアリマス

○森委員 今度ハ內務大臣ノ御本務ニ關シテ御尋致シマス、只今御話ノ通りデ、地方ノ事務ガ國家ノ委任事務ノ爲ニ非常ニ繁劇ニナツテ來テ居ル、斯ウ云フコトハ御認メニナツテ居ラレ、今ヤ此ノ動イテ止マザル情勢デアリニ拘ラズ、敢テ稅制ノ改革ヲ爲シタ、而モ根本的ノ改革ヲ行ツタト云フ御説明デアリマス、然ラバ斯様ナ時ニ於テナゼ其ノ町村負擔ノ主タル原因ヲ成ス所ノ事務激増ト云フモノニ付テ考ヲ及ボサレテ、其ノ委任事務ノ整理ヲ先ゾオヤリニナラナケレバナラス、然ルニ此ノコトニ一切手ヲ著ケニナラナイデ稅制ノミノ改革ヲサレルト云フコトハドウモワカシイト思ヒマスガ、此ノ點ハ如何デアリマスカ

○兒玉國務大臣 御承知ノ通り今後ノ稅制整理ハ中央地方ヲ通ジテ一貫シタ整理ヲ致スコトニナツテ居リマスノデ、其ノ結果トシテ今回整理ヲスルコトニナツタノデアリ

マス、御承知ノ通り現在ノ地方稅制ト云フモノハ可ナリ構成ノ點カラ見マシテモ均衡ノ點カラ見マシテモ改正ヲ要スル點ガ多アルノデ、何レカノ時ニ之ヲ改正シナケレバナラスノデアリマス、今回ノ中央ノ稅制改正ニ伴ヒマシテ一貫シテ之ヲヤルト云フ事柄ハ今日ノ時局柄デモアリマスケレドモ適當ナ措置デアリ、之ニ依ツテ地方ハ有力ナル財源ヲ得マシテ地方ノ負擔ハ輕減セラレ、而シテ地方ノ施設ト云フモノハ之ニ依ツテ發達シテ行ク、斯ウ云フコトニナリマスルガ故ニ、此ノ際斷然之ヲ行フコトニ致シタノデアリマス、而シテ國ノ委任事務ヲ整理シナイデ稅バカリヤヤルト云フコトデアリマスガ、大キク申シマスレバ即チ地方制度ニ伴ツテ此ノ稅制ヲヤツタ宜イデヤナイカト云フ御議論ニモ相成ルコトデアリマスガ、是ハ一應ノ理想的ノ御議論ト思ヒマス、併シ地方ノ制度ナリ、又委任事務ノ問題ナリ之ヲ待タズシテ稅制ノミヲヤリマシタ點ハ、一日モ早く地方ニ有力ナル財源ヲ與ヘテ地方ノ發達ヲ促シテ行クト云フ事柄ガ緊急ノコトナリト考ヘマシテ、地方制度ノ問題ヲ第二ニ廻シマシテ取敢ヘズ此ノ稅制ノ改正ヲ行フト云フコトニ致シタノデアリマス

○森委員 私ハ地方制度ノ改革ノコトニマデ言及シタ譯デハアリマセス、私ハ地方ノ委任事務ダケハ此ノ際御整理ニナツタ宜カラウト云フコトヲ申上ゲタノデアリマスガ、モウ是以上申上ゲテモ仕方ガアリマセヌカラ私ノ希望トシテ申上ゲテ置クニ止マス、ソレカラ今度雜種稅ノ方ヲ大分御整理ニナリマシテ、府縣ノ獨立財源トシテ取ルベキモノ及ビ市町村ノ獨立財源トシテ徵收スベキモノヲ御決メニナリマシタコトハ

非常ニ私ハ贊成致シマス、結構ナコトデア
リマス、然ルニ市町村ノ獨立財源ノ方ニ昨
年カ一昨年ノ稅制改革ノ際ニ當ツテ、慥カ
アレハ止メラレタト思フガ小舟稅ガアリマ
ス、ソレヲ今ノ稅制ヲ見マス、府縣ニハ
二十噸以上ノ船舶稅ヲ認メラレテ、町村ニ
ハソレ以下ノモノヲ又生カシテ來ラレタヤ
ウニ感ズルノデアリマスガ、是ハドウ云フ
コトニナリマスカ

○**扶間政府委員** 船舶ニ付テノ課稅ハ船舶
法適用ノ二十噸以上、ソレカラ二十噸未滿
五噸以上ト分ケテ居リマシテ、二十噸以上
ノモノハ今度ノ府縣ノ獨立稅ト致シテ居リ
マス、ソレカラ二十噸未滿五噸以上ノモノ
ニ付テハ船舶稅トシテ市町村稅ヲ課稅シテ居
リマス、ソレ以下ノモノハ從前通り課稅ヲ
致シマセス

○**森委員** 最後ニ此ノ間大分議場デ問題ニ
ナツタヤウデアリマスガ、農村ナドニ於ケ
ル犬ニ付テデス、アレハ農村ノヤウナ家ノ
開放シノ多イ場所ニ於テハ、ヤハリ之ニ番
犬ト云フモノヲ使ハシメル方ガ宜シト思
フノデスガ、之ヲ又今度ハ地方ニ御許シニ
ナツタコトハドウ云フ譯デスカ

○**扶間政府委員** 別段方針ヲ變ヘタ譯デハ
ゴザイマセデ、今マデ雜種稅デ犬デゴザ
イマストカ、細カイ稅ヲ市町村ノ方ニ移讓
シタト云フダケノコトデゴザイマス

○**森委員** 是デ止メマスガ、私ハ其ノ方針
ヲ御變ヘニナツタ今マデノコトハ承知シテ

居ル、ナゼ此ノ拔本的ノ改革ヲヤラウト云
フ時分ニ、斯様ナモノヲ御改メニナルカ、
御撤廢ニナツタ方ガ宜カツタノデヤナイ
カ、強ヒテ之ヲ置カナケレバナラヌト云フ
何カ理由ガアリマスカ、斯ウ申上ゲタノデ
アリマス

○**扶間政府委員** 色々雜種稅ニ付テハ整理
ヲ致シタノデゴザイマスガ、此ノ程度ノモ
ノハ殘シテ置イテ差支ナイト思ツテヤツタ
ノデアリマス

○**森委員** 洵ニ詰ラス質問ニ長イ時間ヲ費
シマシタコトヲ恐縮ニ存ジマス、私ハ是デ
質問ヲ打切りマス

○**堀切委員長** ソレデハ中村君

○**中村委員** 私ハ内務大臣ニ御同致シマス、
昨日御提案ニナリマシタ地方稅法案、地方
分與稅法案竝ニ分與金特別會計法案ヲ一瞥
致シマス、地方財政竝ニ稅制上機械的ニ
整ツテ居ル、即チ機械的整備ヲセラレタ點
ヲ私ハ著シク發見スル、サウシテ國家ノ意思
ト、國家ノ計畫ニ依ツテ地方自治ト云フモ
ノヲ統制シテ行カウト云フ方向ニ内務省ハ
進ンデ來ラレツツアルノデハナイカト思フ
ノデアリマス、此ノ點内務省ハ從來ノ傳統
的自治精神ニ對シテ一ツノ國家意思、國家
ノ計畫ト云フモノヲ強ク、吹込マレテ自治
觀念ニ新ナル立脚點ヲ求メラレルヤウニ
見エ、今同ノ地方稅制改革ト地方自治ト
ノ關係如何、此ノ點ヲ明白ニ内務大臣ヨリ
御答アラントラ望ミマス

○**兒玉國務大臣** 自治觀念ニハ從前ト毫モ
異ツタ所ガナイノデアリマス、今回ノ稅制
ガ或ハ中央集權的ニ傾イテ居ルノデヤナイ
カト云フヤウナ御議論カラ、只今御話ニナ
リマシタヤウナ御説ノ出ルコトカト考ヘル

ノデアリマス、大體ニ於テ地方ニ有力ナル
稅源ヲ與ヘテ、サウシテ地方自治ノ振興ヲ
圖ルト云フ事柄ヲ目的ト致シテ居リマス、
自治精神ヲ重シズル點ニ於テハ毫モ變更ガ
ナイ、斯ウ考ヘテ居リマス

○**中村委員** 只今ノ内務大臣ノ御答辯ハ一
ツノ逃ゲ口上デアリマス、此ノ案ハ私ハ或
ル程度ニ於テ時代ニ合ツテ居ルト思フノデ
ス、繰返シテ申シマスガ、國家ノ意思ト國
家ノ計畫ヲ以テ、從來ノ自治的精神ヲ或ル
程度政府ノ方向ニ向ケテ行カレト云フコ
トハ一ツノ進歩ナノデアリマス、ソレナラ
ソレデハツキリ仰シヤレバ宜イノデアリマ
シテ、唯一方ニ攻撃ガアルノデ、自治觀念
ガ從來ト變リガナイト云フ御答辯ハ私ハ困
ル、此ノ立案ヲセラレタ内務省ノ若イ事務
官ハサウ云フコトヲ明白ニ言ツテ居ル、ソ
レヲ「カムフラージュ」シテ、吾々ノ間ニ對
シテ今ノヤウナ口吻ヲ漏サレコトハ、甚
ダ此ノ案ト違ツタ方向ニ御答ガ行ツテ居ル
ノデハナイデセウカ、私ハ今回ノ稅制改革
ノ根本ハ分與金特別會計ニアルト考ヘルノ
デアリマス、即チ地方稅制ノ「ブル」化ト
私ハ名ヅケテ居リマス、此ノ「ブル」ニ一切
合切ト言フト語弊ガアルカモ知レマセスガ、
兎ニ角オ入レニナル、其ノ貯水池カラ國家
ノ意思ト國家ノ計畫ヲ以テ、地方ニ一ツノ
水ヲ撒イテ行カウト、斯ウ云フノデアリマ
ス、隨テ若シサウ云フコトヲ斷行セラレ
ナラバ、所謂從前ノ自治觀念ト違ツタ所ヲ
明白ニセラレルノデナケレバ、吾々ハ此ノ
問題ハ判斷スルコトガ出來ナイ、尙ホ改メ
テ私ノ御話申シタコトニ關シテ御答辯願ヒ
タイ、飽クマデ從來ノ自治觀念ト違ツテ居
ルト云フナラ宜シイガ、併シサウナツテ居

ラス、私ノ御聽シテ居ルノハソコナノデア
ル

○**兒玉國務大臣** 自治ノ精神ヲ尊重シテ地
方ノ振興ヲ圖ルト云フ精神ニ於テハ毫モ變
リハナイノデアリマス、併シ地方財政ノ狀
況ヲ見マスルト、如何ニモ不均衡ノ狀態ニ
アリマシテ、此ノ不均衡ヲ直スニハ地方ソ
レ自身ニ依ツテ直スコトハ勿論デアリマス、
ソレガ今回國ノ力ヲ以チマシテ、サウシテ
是等ノ不均衡ヲ直スト云フ事柄ガ自治ノ振
興ヲ圖リ、而シテ只今申上ゲマス通りノ自
治ノ精神ヲ涵養シテ行ク所以ナリト考ヘテ
居ルノデアリマス

○**中村委員** 地方ノ財政狀態ヲ救済スル、
均衡ヲ保ツ、是ガ目的デアルトセラレナ
ラバ、私ハ何ト云ツテモ國家ノ意思ヲ從來
ヨリモ或ル程度強メテ行カナケレバハ出
來ヌデハナイカ、所謂地方稅制ニ於ケル中
央集權的傾向ヲ強クシテ行カナケレバナ
ラヌ、是ガ内務省ノ諸君ノ意見デハナイノデ
スカ、ハツキリ其ノ點ヲ明白ニシテ貫ヒタ
イ、是カラ吾々ノ論議ガ出テ來ルノデス、
唯從來ノ精神ナドデ「カムフラージュ」ナサ
ルコトハ卑怯千萬、ハツキリ斯ウ云フコト
ノ爲ニ吾々ハ今度ノ稅制改革ニ乘出シタト
云フコトヲ明白ニシテ戴キタイ、アナタハ
矛盾ニ陷ツテ居ル、何モ遠慮ナサラヌデモ
宜イ、從來ノ觀念ヲ變ヘテ、是ガ地方稅制
改革ニ吾々が乘出シタ所以ダト云フコトヲ
兒玉内務大臣、明白ニセラレテモ宜イデハ
アリマセヌカ

○**兒玉國務大臣** 遺憾ナガラドウモ其ノ意
見ヲ異ニシマスノデ、私ハ從來ノ自治ノ精
神トハ毫モ變リハナイ、唯自治ノ精神ヲ擴
充シテ行クニハ如何ナル方針ヲ執ツタラ宜

イカト云フ點ニ於テ、國家ノ意思ガ茲ニ強ク加ハツテ來タト云フコトハ認メマスケレドモ、自治ヲ尊重スルコトニ毫モ變リハナイ、斯ウ深ク信ジテ居ルノデアリマス

○中村委員 併シナガラ此ノ法案ヲ見マズレバ「プール」化ト云フコトハアナタノ仰シヤルヤウナモノデハナイ、此ノ點ハ意見ヲ異ニシマスルガ、少クトモ内務省ハサウ云フ方向ニ進シテ居ラレルノデアルト斷定シテ置キマス、次ニ稅收入十億三千二百萬圓ト云フノデスガ、是ハ明白デアリマスガ、稅外收入ハ十五年度ニ於テ幾ラ程御認メニナツテ、ソレニ依ツテ地方財政ヲ賄ウテ行クカ、斯ウ云フノデアリマス、稅外收入ヲ一ツ明白ニシテ戴キタイ、是ハ政府委員カラ御答ヲ願ヒタイノデス

○挾間政府委員 今回ノ稅制改正ハ、地方ノ稅負擔ノ均衡ヲ圖ルト云フコトガ主デアリマシテ、ソレニ依ツテ財政ノ基礎ヲ確立スルト云フ譯デアリマスカラ、稅外收入ニ付キマシテハ、此ノ稅制改正ニ當然ノ關聯性ハ持ツテ居ラナイ、隨テ稅外收入ノ點ニ付テハ從來ト異ツタ方針ヲ持マセヌ、歲入關係ハ從來ト同様デアルト云フ建前デ進ンデ居リマス

○中村委員 サウシマス地方財政ハ稅ノ收入ト、稅外收入トヲ包括的ニ見ナケレバ大體ノ傾向ハ分ラヌト思フノデアリマス、デアリマスルカラ稅外收入ニ於テ、例ヘバ今回ノ地方稅制ト云フモノハ結局中央ノ意思ガ加ツテ居ル、ソレヲ或ル點ニ於テ調整スル爲ニ、或ハ市營事業ト云フヤウナモノヲ盛ニ認メルトカ、或ハ公債、所謂地方ノ起債ニ於テモ必要ナモノニ對シテハ相當認メテヤラウトカ、少クトモサウ云フ聯

關性ハアルト思フ、此ノ意味ニ於キマシテ私ハ御伺シテ居ルノデアリマスガ、今ノ點ニ付テドウ云フ見透シヲ持ツテ居ラレルカ

○挾間政府委員 無論地方團體ノ財政經理ハ稅收入ト、稅外收入ト兩建デ行クコトハ御話ニナリマシタ通りデアリマス、唯自然増收等ノ關係ニ於キマシテ稅收入ト稅外收入トハ非常ニ相違ヲ致シテ居ル、十三年度ニ於ケル稅外收入總額ハ、十三億七千萬圓位ニナツテ居リマス、當時ニ於ケル稅收入總額ハ七億二千三百萬圓程度デゴザイマシテ、其ノ後經濟界ノ情勢ノ變化ニ伴ヒマシテ、稅收入ノ方ハ、十五年度ニ於キマシテハ、十億三千二百萬圓程度ニ上ラデアラウト思ヒマス、稅外收入ノ分ニ對シマシテハ、大體從來ノ情勢ヲ其ノ儘踏襲シテ、其ノ稅外收入ト、今回ノ稅收入ト合セマシテ、地方團體ノ經理ヲ爲スト云フコトニナツテ行ツテ差支ナイト思ヒマス

○中村委員 稅外收入ノ中ニハ地方債モ入レナケレバナラヌト思ヒマスガ、事變以來、即チ十二、十三、十四ノ地方債ノ高ハ幾許デアリマセウカ

○挾間政府委員 稅外收入ハ、昭和十三年度ニ付テ申シマス、少シク長クナリマシマス、財產收入ガ約二千七百六十萬圓、使用料、手数料ガ三億四千三百六十萬圓、補助金、交付金等ガ二億六千六百九十萬圓、寄附金ガ三千七百六十萬圓デアリマシテ、公債、地方債ハ三億一千三百四十萬圓トナツテ居リマス、前年度ノ繰越ガ九千三百六十萬圓デゴザイマス、其ノ他ノ諸收入ガ二億二千八百萬圓程度デアリマス

○中村委員 新規地方債ハ、最近ドウ云フ風ナ傾向ニナツテ居リマスカ、十二、十三、十四年ト比較シテ御説明ヲ願ヒマス

○挾間政府委員 公債増加ノ趨勢ハ十二年ハ四億……

○中村委員 新規地方債デス

○堀切委員長 間違ハナイヤウニ願ヒマス

○挾間政府委員 新規ガ大體四億デアリマス、十三年度ガ三億一千三百萬圓、十四年度ハマダ全部許可ニナツテ居リマセヌノデ、ハツキリ此處デ申上ル程度ニ至ツテ居リマセヌ

○中村委員 十四年度ハ相當抑制セラレルト思ヒマス、別ニ數字ハ御示ニナラヌデ宜シウゴザイマスガ、地方債ハ抑制セラレルト思ツテ居リマスガ、事實ハ如何デスカ

○挾間政府委員 地方債ノ許可ノ方針ト致シマシテハ、事變ガ發生致シマシテ以來、公債政策ナドノ關係デ、抑制ノ方針ヲ執ツテ居リマス、大體資金ノ需給關係等カラ致シマシテ、十四年度ノ起債總額ハ、十三年度ノ起債額ヲ基準トシテ抑ヘル方針デ進ンデ居リマス、唯時局關係デ色々生産力擴充トカ、其ノ他軍需關係等ノ關係ノ起債モゴザイマスノデ、相當骨ガ折レルトハ考ヘテ居リマスケレドモ、大體十三年度起債總額ヲ基準ト致シマシテ、許可スル方針デ進ンデ居リマス

○中村委員 後デ又私ハ御尋致シマスガ、是ハ別ダト言ヘナイノデス、今ノ稅外收入ト云フコトハ、是ハ地方財政全般ノ、包括的ノ觀察ハ、ドウシテモ稅外收入ヲ考ヘナケレバナラナイ、例ヘバ今仰シヤツタ使用料ト云フヤウナモノヲ、將來稅制改革案ヲ實施セラレルト共ニ、例ヘバ大都市ノ市營事業ト云フヤウナモノヲ、一ツ擴張シテ市ノ財源ヲ一層確保スルト云フ御方針ガ伴ツ

テ行クノデアリマスカ、ドウカ、稅外收入ヲ合理的ニ豐富ナラシメル爲ニ、如何ナル御方針ヲ御執リニナルノデアルカ、之ヲ御聽シタイノデアリマス

○挾間政府委員 市ノ財政經理ノ問題ト致シマシテハ稅收入ノ外ニ、稅外收入ノ主ナルモノト致シマシテ、使用料、即チ公營事業ヨリ生ズル使用料ノ問題ガアルコトハ御說ノ通りデアリマス、此ノ點ハ近代ノ社會經濟情勢カラ致シマシテ、地方團體ノ公營事業ヲ相當廣ク擴充シテ行クト云フゴトガ適當デアルト考ヘテ居リマス、同時ニ此ノ公營事業ノ經營方法ニ付キマシテ、從來ノ如キ謂ハバ官廳式ノヤリ方デハ、通常ノ民間事業ト並行シテ行クコトハ相當困難デアリマスカラ、此ノ點ニ付テ適當ナル是正ヲ加ヘ、公營事業ノ發達ヲ更ニ十分ナラシメルト共ニ、此ノ公營事業ヨリ生ズル收入ニ付キマシテモ、此ノ地方團體ノ公共性ト云フコトト離レマセヌ限度ニ於キマシテ、收益的ノ性質ヲ加ヘルヤウニ致シタイト云フ考ヲ當局トシテハ持ツテ居ルノデアリマス、此ノ點ハ地方制度ノ改正ヲ必要ト致シマスノデ、實ハ若シ出來マスレバ、先程大臣カラ御答ガゴザイマシタヤウニ、稅制ト地方制度ノ改正トヲ併セテ行フコトガ必要ダト考ヘマスルケレドモ、色々關係ヲ以チマシテ、地方制度ノ改正ハ、今回提案ニナリマセヌデシタガ、地方制度ノ改正ノ問題ト致シマシテハ、今御述ニナリマシタヤウナ公營事業ノ經營ニ付キマシテ色々點ヲ考慮シテ居ル積リデアリマス

○中村委員 簡單ニ申シマスガ、大都市ハ今回ノ稅制ニ依ツテ相當ノ減收ニナルノデアリマス、ソレヲ大都市將來ノ經營ノ爲ニ

或ル程度ノ善後策ヲ講ジナレバナラナイ、其ノ善後策ヲ講ズル一ツトシテ、今地方局長ガ言ハレマシタヤウナ收益主義ノモノヲ、將來決シテ不健全ナモノヲ許セトハ申シマセヌガ、一層擴張シテ、大都市ノ經營ニ萬全ヲ期セラレト云フ方ヘ進メラレ御考デアリマスカ、此ノ點確メテ置クノデアリマス

○挾間政府委員 只今御述ニナリマシタ點ニ付キマシテハ多少見方ヲ異ニシテ居ルカト存ジマス、今回ノ稅制改正ニ依リマスト大都市ガ非常ニ減收ニナルヤウニ私ハ拜聽シタノデアリマスガ、マア大都市ト申シマスレバ、大體六大都市ヲ押ヘテ考ヘマス、非常ニ稅收入ノ多イ團體ニ付キマシテハ、或ハ今回ノ稅制改正ニ依ツテ其ノ額マデハ稅收入ガナイカモ知レマセヌケレドモ、併シ六大都市ノ中ニモ稅收入ヲ増加スル團體モアルト思フノデアリマス、六大都市全體ヲ通ジマシテ減收ト云フコトニハナラスト考ヘマス、尙ホ今回ノ稅制ニ依リマシテ從來大都市ガ制限外課稅ヲシテ居リマシタモノヲ總テ包含シテ、今回ノ一定ノ賦課率ヲ規定致シテ居リマスノデ、更ニ必要ガゴザイマスレバ、ソレニ對シテ相當ノ伸縮性モ認メテ居リマスカラ、大都市ノ稅收入トシテハ左程ノ心配ハナイト考ヘテ居リマス、唯公營事業ノ經營ト云フ問題ニ付キマシテハ、是ハ今回ノ稅制改正ニ關聯ヲ致シマシテ、大都市ノ稅收入ノ減收ヲ、此ノ公企業ニ依ル一般會計ヘノ繰入ト云フ意味ニ依ツテ、補填セシメルト云フ意味トハ別個ノ意味ニ於キマシテ、公營事業ノ收益性ト云フモノヲ考ヘテ行ク方宜クハナイカト思ツテ居リマス

○小山委員 一寸關聯シテ……內務省ノ方針ハ公營事業ヲ段々擴張スル方針ダ、斯ウ承ツテ居リマスガ、公營事業ノ種類ハドウ云フモノデアリマスカ、大體ドウ云フ公營事業ヲ目標トシテ居リマスカ、大都市ニ於ケル公營事業ハ相當想像ガ付キマスガ、中市或ハ小都市ト云フ所マデ公營事業ヲ擴張スルト云フコトハ、丁度私ハ獨逸ノ共和黨時代ニ皆公營事業ヲヤツタ、其ノ公營事業ハ「ヒットラー」ノ統制時代ニ全部撤回シテ之ヲ民間ニ移シタト云フコトヲ聞イテ居リマスガ、日本ノヤリ方ハ統制ニセヨ、他ノヤリ方ニセヨ、寧ロ共和黨時代ノコトヲ踏襲シテ居ルヤウニ私ニハ思ハレルノデアリマス、私ハ此ノ點ニ付テハ他ノ機會ニ又御質問ヲ申上ゲ、私ノ議論ヲ述ベル時期モアラウト存ジマスルガ、稅外收入ヲ得ントシテ益、公營事業ヲ民間ニヤラセル、其ノ運用ニ付テハ民間ト到底競争ガ出來ナイカラ、相當ノ考慮ヲ加ヘルト仰シヤツテモ、官僚ノ考慮ナンテモノハ何ノ役ニモ立チマセヌ、考慮スルト云フコトヨリハ寧ロ實質的ニ其ノ組織ガドウカト云フコトガ問題デス、其ノ點ヲ伺ヒマス、ドウ云フコトヲ段々公營ニシヨウト御考ニナツテ居リマスカ、ドウ云フ方面ニ擴張ナサル考デ居ルカ、ソレヲ大臣ニ御伺致シマス

○兒玉國務大臣 私ヨリモ局長ノ方明白ニ御答出來マスカラ……
○挾間政府委員 公營事業ヲ擴張シテ、稅外收入ヲ以テ稅收入ノ減少ヲ補填スルト云フ點ニ付キマシテハ、先程御答申シマシタヤウニ、公營事業ノ收益性ト云フコトハ、決シテ之ニ依ツテ稅制改正ニ依ル稅收入ノ減少ヲ補填スルト云フヤウナ考デ居ルノデハナイノデアリマス、尙ホ公營事業ノ收益性ヲ認ムルト云フコトニ付キマシテハ、其ノ事業ノ性質ヲ考ヘナケレバナリマセヌノデ、例ヘバ瓦斯ノ供給ヲ致シマストカ、或ハ電力供給ヲ致シマスト云フヤウナ、收益ヲ伴フコトヲ社會通念上是ナリト認メラルル事業ニ於テノミ收益性ヲ加味スルコトヲ認メルノデアリマス、一般ノ公營事業ニ付テ廣ク收益ヲ認ムルト云フコトハ、其ノ性質上許スベカラザルモノデアルト思ヒマス

○小山委員 私ハ公營事業トシテドウ云フ御考ヲ持ツテ居ルカ、例ヘバ大都市、中市、小都市ニサウ云フコトヲ御考ニナツテ居ル以上ハ、具體的ニ案ガアルニ違ヒナイカラ、ドウ云フ種類ノモノマデ御進ミニナルカト云フ、其ノ限度ヲ大體伺ヒタイノデス、ドウ云フ「アイデア」ヲ御持チニナツテ居ルカ、ソレヲ伺ヒタイ

○挾間政府委員 公營事業ノ概念、範圍ニ付キマシテハ、從來ト變リハナイ譯デアリマス、唯公營事業ノ經營ニ付キマシテ、只今申上ゲマシタヤウナ範圍ヲ擴張スルコトヲ今日考ヘテ居ル、斯ウ云フ風ニ申上ゲタノデアリマス
○西川委員 關聯シテ一寸伺ヒタイノハ、只今地方團體ノ事業ニ對シテ積極主義ノ御意見ヲ御展開ニナツタヤウデアリマスカ、具體的ノ問題ニ付テ御伺シタイ、只今東京市ニ於キマシテハ、交通事業ノ統制ニ關シマシテ、交通事業ヲ市營デヤリタイト云フ熱烈ナル意見ガアリ、サウ云フ方針デ色々ナ計畫ガ行ハレテ居ルヤウデアリマス、是等ニ對シマシテ內務省ハドウ云フ方針デアリマスカ、特ニ國務大臣トシテ內務大臣ノ

御方針ヲ此ノ際承リタイ、更ニ只今地方局長カラ色々述ベラレマシタ公營事業ノ中ニハ、貯蓄銀行類似ノ業務、ツマリ貯蓄ノ獎勵ヲシタリ、或ハ金融事業ヲスルガ如キコトヲ大都市等ニ御許シニナル御意向ガアルカ、ソレヲ具體的ニ伺ツテ見タイノデアリマス

○兒玉國務大臣 前段ノ點ニ付テ御答申上ゲマス、東京市ヲ中心ト致シマスル交通統制ニ付キマシテ二ツノ議論ガアルコトヲ承知シテ居リマス、市營ニシヨウカ、或ハ半官半民ノ株式會社ニシヨウカト云フコトデアリマスガ、此ノ利害得失ニ付テハマダ委員會等ニ於テモ十分議論ガ盡サレナイヤウナ風ニ考ヘテ居リマスノデ、何レガ良イカト云フコトヲ今日言明スルコトハ差控ヘタイト思ヒマス、十分兩方ノ議論ヲ檢討致シマシテ、內務省トシテ執ルベキ所ノ方針ヲ定メタイト斯ウ考ヘテ居リマス、後段ノ分ニ付テハ政府委員カラ御答致シマス
○挾間政府委員 庶民銀行ノ經營ニ付テノ御意見デゴザイマスガ、現在考ヘテ居リマスノハ、公益質屋ノ如キモノハ、從來トモ地方團體ノ經營トシテ適當デアルト云フノデ承認シテ參ツテ居リマス、庶民金融機關トシテノ庶民銀行ヲ公共團體デ經營シテハドウカト云フ點ニ付キマシテハ、銀行業法トフ關係等モゴザイマシテ、只今ノ所デハ消極方針ヲ執ツテ居リマス
○中村委員 只今地方局長ハ、此ノ稅制改革案ノ結果、六大都市ニ減收ハナイモノト云フ御見込ノヤウデアリマス、是ハ私ガ自分デ算盤ヲ探ツタノデナイコトハ明白ニ致シテ置キマスガ、東京府ノ財務當局ノ調査ニ依リマス、東京市ニ於テハ約千三百萬

圓、大阪市ハ百八十万圓、京都市ハ七十一萬圓、神戸市ハ三百八十万圓、横濱市ハ三百十萬圓、名古屋市ハ九十一萬圓ガ減收ニ相成ルト云フ調査ガアル、是ハ數字ノコトデゴザイマスカラ、私ハ只今是非善惡ヲ茲ニ申シマセヌガ、此ノ數字ハ私ハマンザラ無責任ナモノデナカラウト思フノデス、私ハ地方局長カドレダケノ金額ガ是等ノ大都市ノ財政ニ於テ減收ニナルカト云フ言明ハ迫リマセヌ、併シ減收ニナルト云フ事實ハ御認ニナリマスカドウカ、ソレダケヲ一ツ御同致シマス

○**狹間政府委員** 只今御示ニナリマシタ數字ハ、果シテイツノ年度ヲ押ヘラレマシタ數字デアリマスカ、ソレカラ此ノ法律ヲ適用致シマシタ結果、ハツキリトサウ云フ數字ガ出ルカドウカ、一寸私モ受合ヒ兼ネルノデアリマス、唯今回ノ稅制改正ノ結果、所得稅附加稅ガナクナリマスカラ、其ノ點ニ於テ所得稅關係デ非常ニ自然増收ノアリマス團體ニ於テハ、大都市ト云ハズ、或ハ町村ニ於キマシテモ、所得稅附加稅ノ減收ニナルコトハ認メナケレバナラスト思ヒマス、併シナガラ營業收益稅、即チ今回ノ營業稅ガ、全額地方ニ委譲セラレマスノデ、其ノ點カラ致シマシテ相當ノ増額ヲ見ルコトニナル、尙ホ分與稅ニ付キマシテハ、市町村ノ配付稅ハ大都市配付稅、都市配付稅、町村配付稅ト云フ風ニ分レテ居リマシテ、之ヲ財政事情ト課稅力ト法律ノ規定ニ依ル分配標準ニ依リマシテ分與致シマシタ際ニ、ドノ程度ノ額ガ各都市ニ參リマスカ、是ハ全體ノ數字ヲ締メ上ゲタ上デナケレバ申上ゲラレマセヌカラ、ハツキリシタコトヲ私ハ申シ兼ネマススケレドモ、昭和十三年

度ヲ基礎トシテ考ヘマスト、其ノ當時ニ於ケル稅收入ヨリ減收ニナルト云フ團體ハナイト考ヘテ居リマス

○**中村委員** 地方局長ノ御説明ノヤウニ、所得稅附加稅ガナクナルト云フコトハ、或ル意味ニ於キマシテ都市ノ財政ノ伸縮性ヲ少クスルノデハナイカ、斯ウ私ハ解釋スルノデアリマス、成程今回ノ法案ヲ見マスト、最初內務省ガ否認セラレタ大都市配付ト云フコトガ、多少緩和セラレタヤウニ思ツテ居リマス、此ノ點私モ多少ノ進歩ト考ヘマスケレドモ、結局東京市財務局ノ調査ト云フモノハ、サウ架空ナモノデハナイト思フ、此ノ委員會進行中ニ於キマシテ、資料トシテ改メテ要求致シマスルノハ、此ノ稅制改革案ノ結果、六大都市ハドレダケノ減收ニナルカ、私ハ端的ニ數字ヲ示シテ戴キタイ、其ノ數字ヲ御示シ下サルコトダ、此ノ案ニ對スル吾々ノ考ガ決マル一ツノ資料ニナルカラデアリマス

次ニ今回ノ稅制改正ハ、中央地方ヲ通ジマシテ、國稅ハ人ヲ中心トスル、地方稅ハ物ヲ中心トシテヤル、斯ウ云フ行キ方ノヤウデアリマスガ、市町村民稅ハソコヘドウ云フ風ナ意味デ現ハレテ居ルカ、是ハ恐ラク一種ノ人頭稅デナイカ、斯ウ思フノデアリマスガ、市町村稅ノ意義、サウ云フ稅理論上ニ於ケル意義デス、ドウ云フ稅種デアリマスカ

○**兒玉國務大臣** 先程私ガ申上ゲマシタ通りニ、市町村民稅ハ見様ニ依リマシテ、多額ノ稅額ヲ目的トスルト云フヨリハ、寧ロ地方自治ニ對スル分擔の精神ヲ擴充シヨウト云フ意味合デアリマスノデ、稍、人頭稅の性質ヲ帶ビテ居ルト考ヘマス、併シナガラ

ソレトデモ最高千圓、普通ノ場合ニ於テハ極ク少額ノモノヲ課ケマスノデ、稅收入ヲ目的トシタヨリハ、寧ロ只今申上ゲマシタ精神的方面ヲ目的トシテ作ツタト云フコトニ、御諒解願ヒタイノデアリマス

○**中村委員** 是モ失禮ナガラ、私ハ戶數割ト云フモノヲ廢止スル、其ノ戶數割ノ短所ハ認メルガ、戶數割ノ妙所ヲ捨テ兼ネテ、斯ウ云フ市町村民稅ヲ持ツテ來ラレタ、一種ノ中間物デハナイカト思フノデアリマス、明ニ是ハ人頭稅デアリマス、其ノ人頭稅ヲ負擔分任ト云フ美言ヲ「オブラート」デ御包ミニナツテ、吾々ノ所ニ御示ニナツテ內務大臣ハ御説明ニナツテ居ル、ソコデ例ハバ東京市民稅ト云フモノガ、此ノ法案ガ出來レバ現ハレテ來ル、相當私ハ階級區分ガ出來ルノデハナイカト思ヒマス、皆ガ八圓デアルト云フコトハアリマスマイ、或ハ一圓カラ段々ニ一ツノ階級區分ト云フモノガ出テ來ルト思フ、大體ドウ云フ御見透シデアリマスカ

○**堀切委員長** 市町村民稅ト云フモノヲ、其ノ性質上人頭稅ト、內務省、大藏省ハ御認ニナルノデスカ、中村君ノ話ト一致ナサル譯デスカ

○**兒玉國務大臣** 地方稅ハ物稅ヲ中心トシテ定メタノデアリマスガ、其處ニ幾分ハ人頭稅的ナ性質ガ殘ルト云フコトハ、已ムヲ得ナイト思フノデアリマス、而シテ是ハ只今御話ノヤウニ、戶數割ノ短所ヲ除イテ、其ノ長所ヲ存續スルト云フ意味合ニ於キマシテ、此ノ地方稅ノ體系ノ上ニソレヲ認メルト云フ事柄ガ、地方自治精神ノ上カラ見マシテモ適當ナリト云フノデ、例外的ニ認メタ、斯ウ御承知ヲ願ツテ置キマス

○**中村委員** 其ノ解釋ハソレデ宜シウゴザイス、今申シマスノハ更ニ一步ヲ進メテ申シマス、例ハバ東京市民稅ト云フモノヲ御許ニナル、是ハ市町村條例決メルト思ヒマス、併シ市町村條例決メルニシテモ、內務省ノ肚ガ決ツテ居ラナケレバナラスト思ヒマスガ、大體何カ階級區分ガ出來ルノデアリマスカ、サウデナケレバナラスト思フ、最低五十錢トカ一圓トカ、五十錢ナドハ徵收費ガ大變ダト思ヒマスカラ、一圓位カラ階級ハ出來テ來ルノデハナイカト思ハレル

○**狹間政府委員** 私ヨリ御答致シマス、法律ニハ大體ノ基準ヲ定メルノデアリマシテ、如何様ニシテ課稅致シマスカト云フコトハ、各市町村條例ヲ以テ定メマス、其ノ内容ニ付キマシテハ各市町村ノ實情ニ應ジテ、法律ノ規定シタ以外ノ點ニ付キマシテハ、規定スルコトニナリマス、例ハバ賦課期日トカ、或ハ賦課ノ最高限ト云フヤウナモノ以外ニ付キマシテハ、例ハバ課稅標準ハ何ニ求メルカト云フヤウナコトニナリマス、大都市或ハ農村方面トデハ餘程事情ガ異ルト思ヒマス、團體ノ事情ニ依リマシテ、適宜ナル課稅標準ヲ定メテ差支ナイト思ヒマス、隨ヒマシテ例ハバ所得ト云フヤウナコトヲ押ヘルトシマスレバ、其ノ所得ニ從ツテ段階ガ設ケラレル、假ニ最低一圓ト致シマスレバ、最高千圓ト一圓トノ間ニ段階ガ付クト云フコトニナリマス

○**中村委員** サウシマス戸數割ノ短所ヲ今回ノ稅制ニ於テ全然除カレ、其ノ長所ヲ求メラレテ、市町村民稅ガ出來テ來ルトスルナラバ、今ノヤウナ方法ナラバ、大體戶數割ノ長所ヲ採ツタ一種ノ變形シタモノガ

市町村民税、斯ウ見テ宜シウゴザイマス

○**狭間政府委員** 見方トシマシテハ大體御述ニナリマシタ通りデ、私モ同感デゴザイマス、併シ戸數割ノ非常ニ缺點ト致シマス所ハ、負擔ガ非常ニ過重ニナルト云フ點デゴザイマス、隨テ今度ノ市町村民税ニ於キマシテハ、假ニ課税標準ヲ戸數割ト同ジヤウニ、從來ノ戸數割デハ見立割モゴザイマシタガ、サウ云フ風ナ區分ニ致シマシテモ、最高限ト云フモノヲ抑ヘテ居リマスノデ、負擔過重ト云フ最モ大キナ缺點ハ、戸數割ト違ヒマシテ、市町村民税ニハ存在シナイト云フコトニナルト思ヒマス

○**中村委員** 戸數割ノ一ツノ缺點トシテ指摘サレテ居ルノハ、例ヘバ其ノ地方ノ金持ニウント課カルカラ、是等ガ餘所ニ逃ゲテシマフト云フノガ戸數割ノ一ツノ缺點ノヤウニ從來指摘サレテ居ルト思ヒマス、今回ノ市町村民税ト云フモノハ最高千圓デゴザイマス、是ハチツト私ハ金持ナドニ安過ギルト思フ、又六大都市ノ如キハセメテ是等ノ點ニ於テモ多少ノ稅收入ヲ得ル爲ニ上ニ上ゲテモ宜イト思フ、二千圓カ三千圓位ニシテ宜イダラウト思フ、一體千圓ハ低過ギハシナイカト云フ私ハ感想ヲ持ツテ居ルノデアリマスガ、地方局長ハドウ御考デアリマスカ

○**狭間政府委員** 最高千圓デ抑ヘマシタコトハ、只今申上ゲマシタ通り負擔ガ過重ニナルト云フコトヲ避ケル積リデアリマス、併シナガラ東京邊リデハ最高千圓デハ安過ギハシナイカト云フ御尋デアリマスガ、納稅義務者ノ居住致シテ居リマス團體ニ依リマシテ、最高千圓ニナルト云フコトハ、

今回ノ市町村民税カラ考ヘマスト適當デナイト思ヒマスノデ、全國一律ニ千圓ト云フコトニ定メテ譯デアリマス

○**中村委員** ドウモ私ハ分ラナイノデス、何レ又同僚カラ議論ガ出ルダラウト思ヒマスカラ、私ハ是ダケ申上ゲテ置キマスガ、平均例ヘバ八圓、是ハ自然増收ナリガ出テ來テ、殊ニ東京市ナドノヤウナ人口ノ移動ガ激シイ場合ニ、是ガ平均八圓ヲ超過シテ、東京市ガ取ツタ場合ニハ是ハ返スノデスカ、或ハ後年度ニズツ造ツテ行クノデアリマスカ

○**狭間政府委員** 市町村民税ノ賦課ニ付キマシテハ、賦課率ハ全國一定致シテ居リマス、ソレニ依ツテ賦課ヲ實際致シマスノデ、八圓ヲ超過スルト云フヤウナコトハ起ラナイヤウニ賦課サレルト思ヒマス

○**中村委員** 私ハサウ云フコトハアリ得ルト思ヒマス、十月一日ニ賦課スル、其ノ間ノ人口ガ變動スルコトニ依ツテ今言ツタヤウナコトハアリ得ルト思フノデス、絕對ニナイトハ言ヘナイ、ソレデスカラ八圓ニスルガ爲ニハ七圓七八十錢位デ計算シテ置カナケレバナラス、是ハ超エタ場合ニハ法律ノ平均八圓ニ違フノデアリマスカラ、返スカ或ハ後年度ニ送ツテ行クカ何トカシナケレバナラスヤウニ私ハ思フノデス、ドウモ常識的ニサウ考ヘルノデスガ、此ノ點ハ如何デゴザイマスカ

○**狭間政府委員** 人口ノ移動デ稅額ガ上下スルト云フコトハ賦課率ガ一定シテ居リマスカラナイ譯デゴザイマス、實際ノ賦課ニ付キマシテハ御心配ノヤウニ稅額ガ超過スルト云フコトハ起ラスト思ヒマス

○**中村委員** 私ハアルト思フノデス、ソレ

カラ十月一日ノ賦課期日以前ニ東京市ノ人ガ郡部ニ行ツテシマツタト云フ場合ハ東京市ハソレヲ追掛ケテ取り得ルコトガ出來ルノデスカ

○**狭間政府委員** 賦課期日ガ十月一日ニナツテ居リマスカラ、十月一日以前ニ郡部ニ移リマシタ者ニ對シマシテハ、東京市ハ賦課スルコトガ出來ナイ譯デアリマス

○**中村委員** ソレカラ市町村民税ト云フモノガ大體五千萬圓、大都市ニハドレ位ニナルカ、ソレヲ一ツ資料ヲ御出シニナツテ下サイ、恐ラク一世帶ト、ソレカラ「カード」階級ト云フモノヲ御引キニナルノダラウト思ヒマス、何カ法律ニ書イテアルコトモ私ハ「カード」階級ダト解釋シテ居リマス、大都市バカリデハアリマセス、或ル町村ニ是ダケノ世帯ガアツテ、「カード」階級ト云フモノヲ差引イテ、ソレニ平均八圓トカ、六圓トカ、四圓トカヲ課ケテ來ルノダト思ヒマスガ、此ノ點ヲ御示ヲ願ヒタイ、ソレカラ殊ニ六大都市ノ市町村民税ガ五千萬圓ノ中ドレダケ出テ來ルカ、急ギマセス、委員會中ニ資料ノ御示ヲ願ヒタイ

○**狭間政府委員** 先程森サンカラモ御質疑ガゴザイマシタカラ、大體ノ稅額ノ見込ヲ申上ゲテ置キタイト思ヒマス、市町村民税ノ總額ハ五千萬圓ノ見込デアリマスガ、只今ノ見込額トシマシテハ、六大都市ニ於キマシテ大體千六百萬圓程度、其ノ他ノ都市ニ於キマシテ千百萬圓、町村デ二千三百萬圓位ニ稅額ガナルノデハナイカト考ヘテ居リマス、尙ホ「カード」階級等ガ納稅義務者カラ除外サレルコトニ付キマシテハ、法律ニ左様ナ簡條ヲ設ケテ居リマス

○**中村委員** 六大都市ハ千六百萬圓、是ハ

少イデス、ソレダカラ特ニ六大都市ダケハ千圓ヲ二千圓ニ上ゲルトカ三千圓ニ上ゲルトカシテ宜イト思フノデス、全國一律ニセヨトハ私ハ言ヒマセス、斯ウ云フ點モ必要ダト思フノデス、必要ダト思フノデスガ、是等ハ別ニ御意見ハ聽キマセス、吾々ノ態度ヲ決メタル場合ノ吾々ノ覺悟ナンデスカラ、(笑聲)私ハ此ノ點ハ此處デ聽キマセス

ソレカラ次ニ私ガ御伺シテ置キタイノハ、一體大都市ノ獨立稅ハ別トシ、特別稅ミタイナモノデアリマスガ、或ハ船ノ稅、デアルトカ、犬ノ稅、デアルトカ、金庫稅、デアルトカ、扇風機稅ト云フヤウナモノヲ法律ニ盛ツテ、一體コンナ貧弱ナモノヲ與ヘテ宜イノデアリマスカ、私ハチトビドイデヤナイカト思ヒマスガ……

○**狭間政府委員** 今回ノ稅制ニ依リマシテ市町村獨立稅ノ法定課目トシテハ全國共通ニ只今御指摘ニナリマシタヤウナ各稅目ヲ掲ゲテ居リマス、併シナガラ許可稅目ト致シテハ主務大臣ノ許可ヲ受ケテ適當ナル獨立稅ヲ起スコトモ出來ル譯デアリマス、尙ホ都市ノ事業ニ於テ非常ニ大キナ問題デアリマス、都市計畫ニ付キマシテハ、都市計畫稅トシテ都市ニハ府縣都市計畫稅ノ半額ヲ委讓スルヤウニ致シテ居ルノデアリマス

○**中村委員** 大都市ニ特別課目ノモノトシテ御許シニナルモノト傳ヘラレテ居リマスノハ土地増價稅、ソレカラ間地稅、庭園稅、廣告稅、溫泉稅ガアルヤウニ私共ハ聞イテ居ルノデス、サウ云フモノハ果シテ今後行ハレル御積リデアルカ、伺ヒタイ

○**狭間政府委員** 許可課目ニ屬シマス市町村獨立稅ハ各團體ノ意思ニ依ツテ決メマシテ許可ヲ受ケルノデアリマスカラ、コチラ

デソレヲ豫定スル譯ニハ參リマセヌガ、土地増價稅其ノ他只今御述ニナリマシタヤウナ稅ニ付キマシテモ、其ノ課稅ノ方法等ニ付テ十分吟味シナケレバナラヌト思ヒマスガ、ソレガ適當ナモノデゴザイマスレバ許可スル方針デ居リマス

○中村委員 成程許可事項デアルト云フコトハ私モ承知シテ居リマス、恐ラク只今東京市ナラバ東京市會ガ定メテ內務大臣ニ申請スルノデアリマセウ、ソレハ事務的ニハサウナルノデス、併シ今ノ御答辯デ逃ゲラレルコトハ、是ハ餘リニ無責任デアリマス、少クトモ地方稅制改革ト云フ劃期的ナ事業ヲナサレル場合ニ於テハ、斯ウ云フ場合ハ斯ウスルンダ、アアスルンダト云フコトノ私ハ目標ト基礎ヲ御決メナツテ、例ヘバ今言フ許可課目ニ付テハ私ノ申上ゲタモノハ許スンデアル、斯ウ云フコトヲ私ハハツキリトシテ戴カナケレバ、是ハ都市ノ財政ト云フモノニ付テハ將來安全感ヲ得ルコトハ出來ナイ、改メテサウ云フモノヲ大都市等ニ於テ御許ニナル方針デアリマスカドウカ、其ノ方針ヲ仰シヤツテ戴キタイ

○狹間政府委員 其ノ方針ニ付キマシテハ、其ノ課稅方法ニ付テ研究ヲスル必要ガアルト思ヒマスガ、内容ガ適當デアレバ許可スル方針デアルト云フコトハ申上ゲテ宜イト思ヒマス

○中村委員 許可ノ方針デアルト云フコトハ、稅制改革ニ伴フアナタ方ノ見透シノ勘ト私ハ解釋シテ居リマス、又サウデナケレバिकासト思ヒマス、其ノ次ニ大都市ニ配付稅ト云フモノヲ御拵ヘニナツタ、是ハ一ツノ進歩ダト思ヒマスガ、ドウ云フ風ナ標準デ配付セラレマスカ、他ノ都市ノ配付、町

村ノ配付ニ付テハ同僚ノ他ノ方カラ仰シヤルデセウガ、私ハ大都市配付稅ノ標準ヲ承リタイ

○狹間政府委員 大都市配付稅ノミナラズ、他ノ道府縣市町村、何レモ此ノ配付稅ノ分與ノ方法ハ同一デゴザイマス、大都市ニ付キマシテハ、地方分與稅法ノ第二十一條ニ規定致シテアリマシテ、第一種配付額ト第二種配付額トニ分ケマス、第一種配付額ハ大都市ノ課稅力ヲ標準トシ、第二種配付額ハ大都市ノ財政需要ヲ標準トシテ分ケル譯デアリマス、即チ第一種配付額ハ課稅力ノ強弱ニ從ヒ、弱イ方面ニ多額ノモノヲ分ケ、強イ方面ニ少額ニスル、第二種配付額ノ方ハ財政需要デ、大體割増人口ヲ基ニスルト云フ方針ヲ執ツテ居ルノデアリマス、其ノ内容ニ付テハ同法ノ第二十三條、第二十四條ニ規定シテアル通りデアリマス

○瀧澤委員 一寸關聯シテ只今ノ點デ御伺シタイノデスガ、例ヘバ遊興稅ヲ昨年ハ取ツタダケハ原地還付シテヤリ、アトハアトト云フコトニナツテ居リマスガ、例ヘバ今度遊興稅ガ非常ニ多クナリマス、東京市ノ場合ニ於テハ、其ノ一種二種ト云フコトハ私能ク分リマセヌカラ、是ハドウ云フ風ニナルカト云フコトヲ御話戴ケレバ結構デアリマス

○狹間政府委員 只今ノ御尋ハ第一種配付額、第二種配付額ノ分與方法ノ御尋ネノヤウニ存ジマシタガ、少シ複雑シマスガ申上ゲマス、第一種配付額ハ課稅力ニ依ツテ分ケルノデアリマス、先ヅ各都市ノ單位稅額ヲ算出致シマス、單位稅額ト云フノハ其ノ市ノ關稅附加稅ヲ其ノ都市ノ人口デ割ルノデアリマス、サウスルト人口一人當リノ國

稅附加稅額ガ出ルカラ、ドレダケ擔稅力ガアルカト云フコトガ各都市ニ付テ出テ參リマス、一面ニ於テ今度ハ大都市全體ノ標準單位稅額ヲ算出スルノデアリマス、標準單位稅額ト云フノハ、其ノ年度ニ於テ六大都市ト申シマスレバ、六大都市全體ノ國稅附加稅ノ總額ト其ノ年度ニ於テ大都市配付稅トシテ決定セラレタ總額ヲ合算致シマシテ、ソレヲ大都市ノ全人口デ割ルノデアリマス、サウスルト大都市ノ一ツノ「ブロック」トシテ考ヘマス、大都市市民ニ稅ガ幾ラ落ちルカト云フ總額ガ出ルノデアリマス、此ノ標準單位稅額カラ各都市ノ單位稅額ヲ控除スルト、ドレダケ稅ガ不足スルカト云フコトガ各都市一人當リニ付テ出マス、其ノ出タ額ニ對シテ各都市ノ人口ヲ乘ジマスト、各都市ニ付テドレダケノ稅ヲ必要トスルカト云フ假想的ノ稅額ガ出デ參リマス、之ニ按分シテ大都市配付稅トシテ分ケラレタ分額ヲ分ケルノデアリマス、隨ヒマシテ只今御述ノ各稅ニ付テ、ソレガ原地ニ還付スルト云フ問題ハ起リマセヌ、又遊興飲食稅ニ付テハ現在モ原地還付ハ致シテ居ラスノデアリマス

○瀧澤委員 只今ノ御說明ハ租稅ノ簡易化ト云フ目的ニモ拘ラズ、隨分複雑デアリマスカラ資料トシテ御配付ヲ願ヒマス、モウ一ツ御聽シタイノハ、今ノ戶數割デアアルガ、東京市ノ如キハ私ノ調査ニ依ルト年々二割ノ移動ヲ致シマス、デアアルカラ例ヘバ或ル區ニ人口三十万アル、サウスルト五年經テバ三十万全部移動シタコトニナツテ居リマスケレドモ、實ハ移動スルノハ其ノ半數デアリマスガ、サウ云フヤウナコトデ此ノ戶數割ヲ取ルノハ非常ニ困難デ、殆ド取レナ

イモノガ多イノデアリマス、モウ一ツ只今東京市ノ如キハウント取ツタ宜イダラウト云フコトデアリマスカラ、ウント取ルコトモ決シテ否ム者デハアリマセヌガ、少サイ方カラハ取レマセヌシ、ウント取ル方ハ所得稅ガウント課カルノデアリマス、モウ一ツ憂ヘテ居ルノハ、一圓取ル者ト、八圓取ル者ト、千圓取ル者ト、階級別ガソコニ起ルデハナイカ、折角普選デ階級ヲナクシタモノガ、又コソ階級別ガ起ルデハナイカト云フコトデアリマス、大キナモノハ所得稅ドウント取ラレ、小サナモノハ斯様ニ移動スルノガ非常ニ多イノデアリマスカラ、今ノヤウナ配付稅ガアルノナラバ、寧ロ斯ウ云フモノハ御廢メニナツテ、所得稅ドウント御取リニナツテ配付シタ方ガ有利デアル、斯ウ云フ複雑ナル手數ヲ故ラ御掛ケニナルノハ、實際上困難デハナイカト私ハ思ヒマス

○中村委員 課稅力ト云フノハ、地租、營業收益稅、家屋稅、斯ウ云フヤウナモノガ實質ニナルノデアリマスカ

○狹間政府委員 是ハ府縣都市町村トデ多少變ヘテ居リマスガ、府縣ニ付テハ御話ノヤウニ三收益稅、地租、營業稅、家屋稅ノ附加稅ト還付稅ガゴザイマス、其ノ額カラ府縣ノ災害土木ノ起債額ノ十五分ノ一ヲ控除スルコトニ致シテ居リマス、是ハ課稅力ヲソレダケ減殺致シマスカラ、ソレヲ控除シテ、其ノ額ヲ府縣ノ人口ヲ以テ割リマシテ得タ何圓ト云フノガ、各府縣ノ人口一人當リノ品位稅額ト云フ風ニ考ヘテ居リマス、市町村ニ付キマシテハ、災害土木費ハ其ノ算定ガ非常ニ困難デアリマスカラ、除キマシテ、是ハ第三種配付額ノ方デ考慮スルコ

トニシ、還付税ハゴザイマセスカラ、專ラ國稅附加税ノ人口一人當リ額ト云フコトニ規定致シテ居リマス

○中村委員 私ハ此ノ配付税ノ標準ハ課税力ト人口、此ノ二ツガ大動脈トナツテ行ハレルモノデハナイカト解釋シテ居ルノデアリマス、然ラバ其ノ人口ト云フテモ、唯漢ト人口デハ分ラナイ、ドウ云フ人口ノ階層ヲ標準トシテ居ラレルカ、例ヘバ大都會ヲ見デミマスルト、是ハ私ノ記憶デ多少的確デナイカモ知レヌガ、青年ガ多イ、二十カラ三十位ノ者ガ多イ、斯ウ云フ人ハマダ擔稅能力モナイ、而モ都市ノ色々ナ施設ハ極度ニ利用スルト云フコトモアリ得ル、私ハ人口ト云フモノハ單ナル人口數デヤアルマイト思フ、多少サウ云フ人口構成ト云フコトモ考ヘテ居ラレルンデヤナイカト思ヒマ

スガ……

○挾間政府委員 今ノ御話デハ、課税力ハ國稅附加税ト人口ト合セテ見ルト云フ御考ノヤウデゴザイマスガ、課税力ノ問題ハ專ラ其ノ團體ニ於テ、例ヘバ地租申シマストドレダケノ賃賃價格ガアルカ、ドレダケノ營業ノ純益ガアルカ、家屋ニ付テハドレダケノ家屋ノ賃賃價格ガアルカ、ソレニ對シテ一定率ノ課率ヲ乘ジマシタモノノ一人當リガ課税力ニナルト思ヒマス、併シナガラ御話ノ人口ハ別個ノ問題トシテ考ヘナケレバナラナイ、即チソレハ其ノ團體ニ於テドレダケノ財政上ノ需要ガ必要デアルカ、詰リ課税力ニアラズシテ、財政需要ノ問題トシテ人口ヲ考ヘタイト思ヒマス、同時ニ人口ハナマノ人口ヲ用ヒルト云フコトハ適當デナイト思ヒマス、先程モ申シマシタヤウニ各團體ニ付テ割増人口ト云フコト

ヲ考ヘテ居リマス、此ノ割増人口ハ各團體別ニ府縣或ハ大都市、都市、町村ヲ通ジマシテ平均ノ人口ノ五分ノ一ヲ抑ヘル、詰リ府縣デ申シマスト、各府縣ノ人口平均ハ百五十万デゴザイマスガ、ソレノ五分ノ一、即チ三十万ヲ割増スルコトニシテ、ソレニ加ヘマシテ小學校兒童ノ數ガ全國平均ヲ超過シテ居ル部分ニ付テハ、其ノ超過部分ノ一定數ヲ割増人口トシテ加ヘルト云フ方針デ來テ居リマス

○中村委員 サウスルト六大都市ナドハ大體五百万トカ、三百万トカ、百万ト云フ人口數ガアルカラ、分與稅ガ此ノ人口標準ニヤハリ分與セラレル、從來內務省ハ六大都市ノ人口標準ノ分與稅ヲ否定シテ居ラレタヤウデス、恐ラクソレガ今度ノ法律デ變ツテ居ルノデハナイカト思フ、デゴザイマスガ、其ノ點一ツ明白ニ願ヒタイ

○挾間政府委員 是ハ稅制調查會當時カラ色々議論ガゴザイマシテ、內務省トシマシテハ人口ニ依ツテ大都市ニ分與稅ヲ分與シナイト云フ態度ハ一度モ執ツテ居リマセヌ、今回ノ法律案ニ規定致シテ居リマセヌ、大都會ニ對シテモ課税力ト財政需要ノ方面デハ、即チ人口ヲ標準トシテ分與稅ヲ分與スルト云フ方針デ進ンデ居ルノデアリマス

○中村委員 モウ一ツ御同致シマセガ、都市計畫ノ爲ニドウ云フ稅ガ大都市ニ得ラレルノデアリマセウカ

○挾間政府委員 地方稅法七十六條ニ規定致シテ居リマス、地租割、家屋稅割、營業稅割、府縣稅獨立稅割、市町村稅獨立稅割、斯樣ナモノデアリマス、尙ホ是以外ニ市町村ガ別ニ稅目ヲ起シテ都市計畫稅ニ課税スルコトモ出來マス

○中村委員 是ハ經常費ニモ充テルノデゴザイマス

○挾間政府委員 御述ニナリマシタ通りデス

○中村委員 次ニ目的稅デゴザイマス、是ハ御說明ニ依リマスト、例ヘバ何カ共同ノ施設ノモノデアリマスガ、大都市等ニ於テハドウ云フモノデアリマス、町村ト同ジヤウナモノヲ豫想シテ居ラレルノデアリマスカ

○挾間政府委員 大都市ニ付キマシテハ大體都市計畫稅ガ最モ「デビカル」目的稅デアルト思ヒマス

○中村委員 私ハモウ一ツ最後ニ伺ツテ置キタイノデスガ、人稅ヲ地方ヘ分與セラレル、其ノ中ニ遊興飲食稅、入場稅ト云フモノガアリマス、所謂所得稅、法人稅ト云フモノハ相當力強イ內務省ノ言ハレル豐富ナ稅源ダト思ハレマスガ、遊興飲食稅、入場稅ト云フモノハ相當浮動性ヲ持ツテ居ルノデハナイカト思ヒマス、斯ウ云フモノヲ分與稅ニセラレル中ヘドウシテ入レラレタノデスカ、內務省ノ言ハレル豐富ナ稅源ヲ分與スルト強調サレテ居ル點ガ多少弱マツテ居ルノデハナイカト思ヒマス、恐ラク從來ノモノヲ返シテヤルト云フ意味デスカ

○挾間政府委員 分與稅ノ稅源ト致シマシテ如何ナル稅種ヲ選ブカト云フコトハ色々ノ見方ガアルト思ヒマス、其ノ中デ所得稅、法人稅等ハ最モ伸張力ガ強イ稅デゴザイマスカ、之ヲ分與稅ノ稅源ト申シマスカ、分與稅ト致シマスカトハ最モ適當デアルト思ヒマス、尙ホ遊興飲食稅、入場稅等ニ付キマシテモ相當ノ稅額ヲ上ゲ得ルノデアリマス、御述ニナリマシタ通り浮動性ハ相當強

イト存ジマスケレドモ、是等ノ稅ヲ選擇スルノガ適當ダト認メマシテ斯ウヤツタ次第デアリマス

○中村委員 サウスルト分與稅ト云フモノハ新シイ地方稅ト云フコトニナルノデスカ、形式ダケナンデスカ

○挾間政府委員 分與稅ハ間接課徵ニ依ル新規ノ地方稅ト云フヤウニ考ヘテ居リマス

○堀切委員長 ソレデハ此ノ際地方稅ニ關シマスル參考資料ノ御請求ヲ願ヒマス、同時ニ一般稅制ノ方ニ對シマシテモ其ノ後必要ナ資料ハドウゾ御申出ヲ願ヒマス

○高橋委員 地方稅ニ關スル資料ヲ要求致シマス

一、地方財政概要

二、現行地方稅種目並課率表

三、兵庫愛知兩縣ニ於ケル市部負擔及郡部負擔ニ屬スル縣債總額

三部經濟廢止ニ依ル公課負擔異動ニ關スル調査表

四、地方稅制改正法ニ於ケル地方財政計畫表（各地方別財政計畫ヲ知ルニ足ルモノヲ要ス）

五、地方分與稅第二十條ニ依ル大都市、都市、町村ノ配付稅ノ各配分額及第一種、第二種、第三種ノ各配付額、以上

○堀切委員長 他ニゴザイマセヌカ——委員長カラモ一ツ御願ヲシテ置キタイコトガアリマス、此ノ官公吏ノ中ノ小額收入者、即チ判任官其ノ他雇員等ノ數ガ是ガ全國ニ何人アリマスカ、ソレヲ百圓、七十圓、五十圓、斯ウ三ツニ區分シテ一ツ御調ヲ願ヒタイ、同時ニ官吏減俸、アレヲ今ノ官吏數ニ依ツテ之ヲ元ニ復舊シマシタラ、ドレ程ノ金額ニナリマスカ、之ヲ一ツ御調ヲ願

ヒマス

○中村委員 私ガ今質問中申上ゲマシタ資料ハ、是ハ一ツ確實ニ御示ヲ願ヒタイ、改メテ念ヲ押シテ置キマス

○堀切委員長 ソレデハ今日ハ此ノ程度デ散會致シマス、ソレカラ明日、明後日ハ豫算ノ都合ガアリマスノデ休ミマシテ、二十日ノ午前十時ヨリ開會致シマス
午後五時四十一分散會

〔参照〕

青木委員要求ノ參考資料

一、各府縣ノ昭和十五年度稅收入總額
其ノ内殘存スベキ稅額ノ總高

還付稅配當總高

附加稅總額

配付稅總高

小學校教員俸給負擔額

政府補給金

警察費補給増額

二、右配付稅ヲ配當セラレサル場合最モ歲入歲出ニ不足スル府縣三ツ、金額及第一種、第二種配付額ヲ受ケタル場合ノ數字
三、一、二ト同様ノ數字ヲ大都市、都市及市町村ニ付提出アリタシ
市町村ニハ人口ヲ記入ノコト
最惡ノ町村三ツ宛